

人権問題に関する市民意識調査 報告書

平成 24 (2012) 年 3 月

豊後大野市

豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例

平成 17 (2005) 年 7 月 19 日
豊後大野市条例第 279 号

(目的)

第 1 条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下での平等を定める日本国憲法並びに自由及び平等を定める世界人権宣言の基本理念に基づき、市及び市民の責務等に関し必要な事項を定めることにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護を図り、もって平和な明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(市の責務)

第 2 条 市は、前条の目的を達成するため、第 4 条に規定する施策の推進を図り、市民の人権意識の高揚及び人権の擁護に努めるものとする。

(市民の責務)

第 3 条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する施策に協力するとともに、自らも差別及び差別を助長する行為をしないよう努めるものとする。

(市の施策)

第 4 条 市は、あらゆる差別を撤廃し、人権を擁護するための教育、啓発及びそれらに必要な施策の推進に努めるものとする。

(実態調査)

第 5 条 市は、前条に規定する施策の策定及び推進に反映させるため、必要に応じて実態調査等を行うものとする。

(審議会)

第 6 条 市は、この条例の目的を達成するために必要な施策の推進に関する事項を審議するために、豊後大野市差別撤廃・人権擁護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 前項の審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

はじめに

21世紀は、「人権の世紀」といわれるように、人権尊重の意識の高まりは世界的な潮流になっているものの、依然としてさまざまな人権に関する問題が存在しています。

豊後大野市では、平成17（2005）年に「豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例」を制定し、平成18（2006）年12月には「豊後大野市人権教育・啓発基本計画」を策定してあらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざして、人権教育・啓発の取り組みを推進しているところです。

このほど、豊後大野市が推進してきた様々な取り組みの成果や課題を明らかにし、よりいっそう効果的なものにしていくための基礎的な資料を得ることを目的として、市制施行後2回目となる「人権問題に関する市民意識調査」を実施いたしました。

今回の調査で得た市民の皆様のお考えやご意見を、今後の基本計画に反映し、実効性のある人権施策を推進してまいりたいと考えております。

終わりに、調査の実施、報告書の作成にあたり、多大なご尽力、ご協力を賜りました市民の皆様や市民意識調査検討会委員の方々に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成24（2012）年3月

豊後大野市長 橋本 祐輔

目 次

第1部	調査の概要1
第2部	調査結果の分析	
問 1	あなたの性別は3
問 2	あなたの年齢は4
問 3	女性の人権問題に関心をもっていますか6
問 4	あなたの身の回りでは、一般的に男女平等が実現していると思いますか8
問 5	女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか12
問 6	結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうか13
問 7	女性が社会のあらゆる分野で平等になるために、早急に取り組んでほしいものは何ですか18
問 8	子どもに関する人権問題に関心をもっていますか19
問 9	今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください21
問10	子どもの人権上、問題があると思うことはどのようなことですか24
問11	近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、どのような行動をとると思いますか25
問12	高齢者の人権問題に関心をもっていますか26
問13	今の高齢者がおかれている状況をどう感じていますか28
問14	高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますか31
問15	障がい者に関する人権問題に関心をもっていますか32
問16	今の障がい者の人権が保障されていると思いますか34
問17	障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか37
問18	もし、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか38
問19	同和問題(部落差別問題)に関心をもっていますか40
問20	同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか42
問21	部落差別(同和問題)が起こっている場面はどのようなときでしょうか45
問22	家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうか46
問23	部落差別をなくす方法についてどう思いますか48
問24	学校で「人権・同和教育」が行われているが、どのような考えですか49
問25	日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることをどう思いますか52
問26	日本に住む外国人の人権を守るための意見について、どのように思いますか54
問27	職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますか55
問28	友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか。57
問29	日本に古くからある言い伝えや考え方についてのあなたの考え方についておたずねします59
問30	最近(2,3年)自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか63
問31	大分県や豊後大野市で実施している人権啓発活動に、どの程度参加していますか64
問32	人権問題の講習会や研修会に参加したきっかけは何ですか65
問33	あなたは見聞きしたことがありますか66
問34	人権問題で関心のあるものは、何ですか67
第3部	調査結果のまとめと課題68
第4部	年代別自由回答集71
第5部	単純集計表77
第6部	参考資料(調査票)	

第 1 部
調査の概要

1 調査の目的

本調査は市民の様々な人権に関する意識の現状を調査・分析し、今後の人権施策のあり方、方向性等を考える基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 調査の対象

平成23年6月30日現在の豊後大野市民のうち、20歳以上の中から性別、年代別、地域別に人口構成比率に合わせて1,500人を無作為に抽出しました。

3 調査の方法

郵送による配布、回収。

4 調査の期間

平成23年8月1日（木）～平成23年8月31日（水）まで。

5 回収結果

調査票は1,500通配布し、704通の返信がありました。1,500通配布した調査票のうち6通が先不明により不到達だったため、実質1,494通の配布となります。回収率は47.1%でした。

【内訳】

年代・性別		配布数	不到達数	回収数	年代・性別 回収率 (%)	年代別 回収率 (%)
20歳代	男性	71		11	15.5	27.7
	女性	66		27	40.9	
30歳代	男性	84		20	23.8	38.9
	女性	83		45	54.2	
40歳代	男性	78		22	28.2	38.2
	女性	79		38	48.1	
50歳代	男性	118		37	31.4	44.7
	女性	119		69	58.0	
60歳代	男性	132		71	53.8	57.8
	女性	143		88	61.5	
70歳代	男性	204		100	49.0	50.3
	女性	323		165	51.1	
	無回答		5			
	無効		1			
無回答	女性		1			
	無回答		4			
合計		1,500	6	704	47.1	

6 その他

- (1) 集計グラフは、回収調査票数（704）を基数とした百分率（%）で表示しています。
- (2) 複数回答を求めた質問では、合計が100.0%を超えます。
- (3) 各質問の「無効」回答は、グラフに表示していません。
- (4) グラフ上の（N）は、「無効」回答を除いた回答者数です。
- (5) 図表において、設問や選択肢を簡略化して表記している場合があります。
- (6) 第5部に単純集計表を掲載しています。小数点第2位を四捨五入していますので、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (7) 巻末に参考資料として「人権問題に関する市民意識調査」調査票を掲載しています。

7 人権問題に関する市民意識調査検討会委員及び検討会開催状況

【市民意識調査検討会委員】

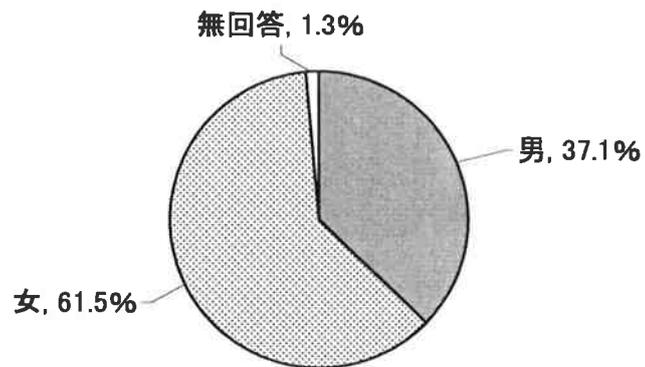
氏名	所属	備考
芦刈 政治	豊後大野市人権問題研修講師	委員（座長）
安藤 恒美	豊後大野市人権問題研修講師	委員
河野 宗雄	豊後大野市人権問題研修講師	委員
神田 幸子	豊後大野市人権問題研修講師	委員
三宮 信雄	豊後大野市社会教育指導員	委員

【検討会開催状況】

第1回検討会	調査票項目の検討	平成23年 6月 3日
第2回検討会	調査結果の分析	平成23年 11月 18日
第3回検討会	調査結果の分析	平成23年 11月 22日
第4回検討会	調査結果の分析	平成23年 12月 9日
第5回検討会	調査結果の分析	平成23年 12月 12日
第6回検討会	調査結果の分析	平成23年 12月 16日
第7回検討会	調査結果の分析・まとめ	平成24年 1月 6日

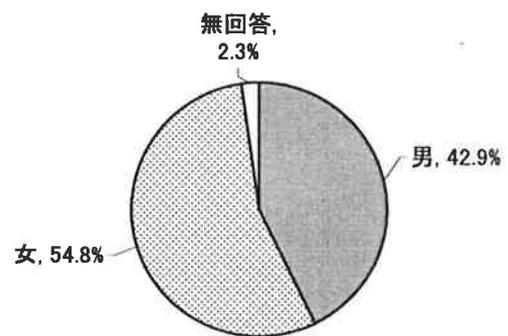
第 2 部
調査結果の分析

問1 あなたの性別は



N=703

<H19年調査>

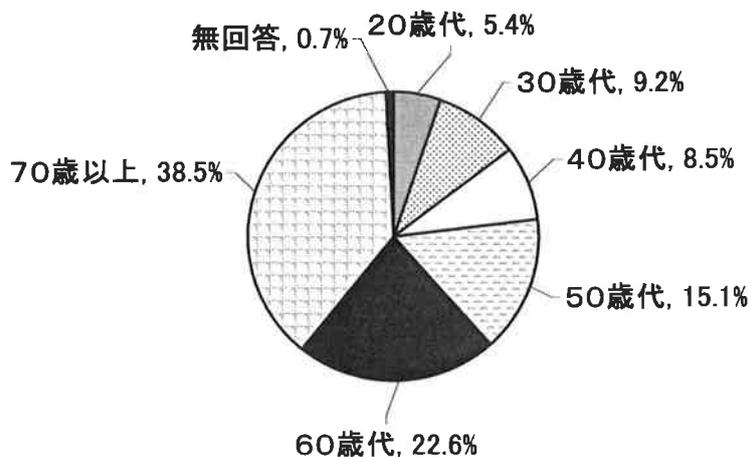


N=524

男女別回答率は、「男」が37.1%、「女」が61.5%となっており、男性に比べ女性の方が回答者の割合が高くなっています。

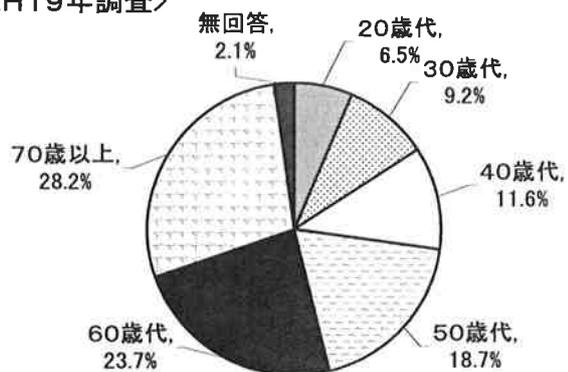
前回（平成19年）調査に比べると、男性は減少し、女性は増加しています。

問2 あなたの年齢は(7月1日現在の満年齢)



N=704

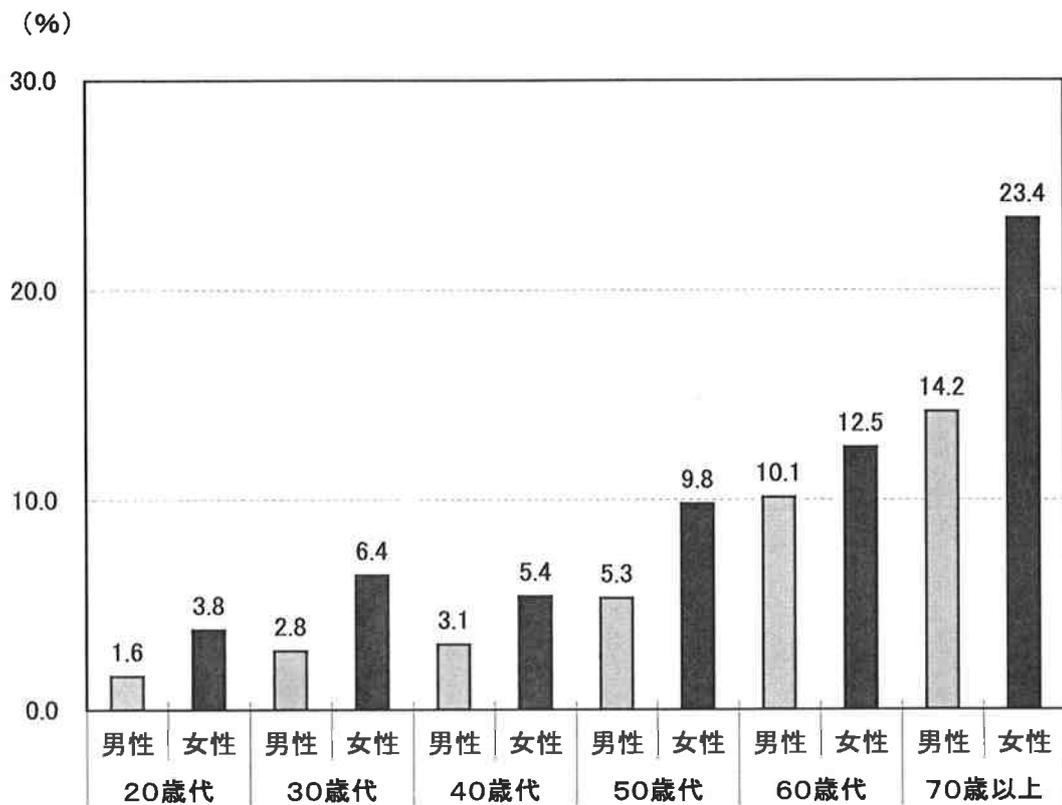
<H19年調査>



N=524

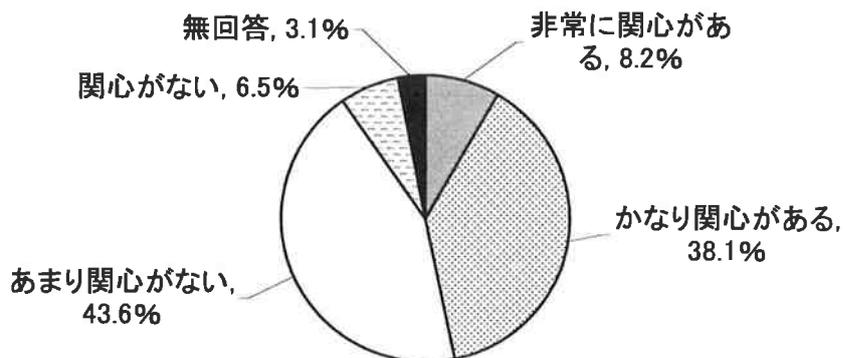
年代別の回答率は、「70歳以上」と回答した人の割合が38.5%と最も高くなっています。年齢が低くなるに従って、回答者の割合が低くなり、「60歳代」22.6%、「50歳代」15.1%、「40歳代」8.5%、「30歳代」9.2%、「20歳代」5.4%となっています。前回（平成19年）調査に比べると、「70歳以上」と回答した人の割合が増加しています。

問2 男女年代別の回収数に対する割合



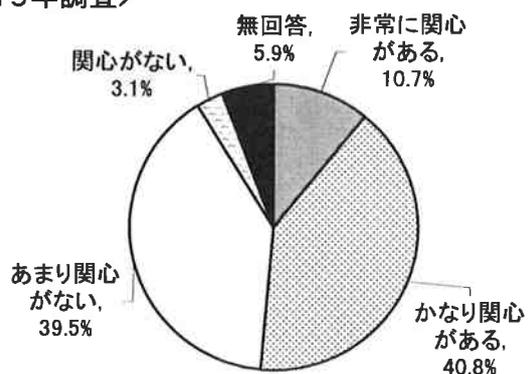
男女年代別の回答率は、男性より女性の方が高くなっています。
70歳代の女性の割合が最も高く23.4%、20歳代の男性の割合が最も低く1.6%でした。

問3 女性の人権問題に関心をもっていますか



N=701

<H19年調査>



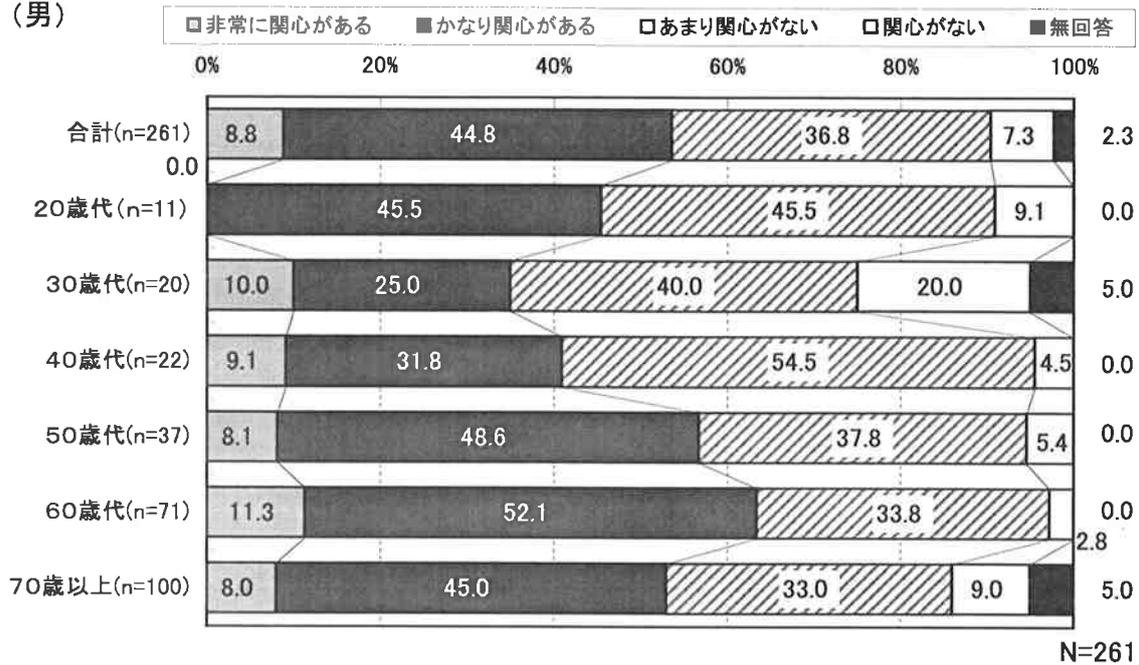
N=524

女性の人権問題に関心をもっているかについてたずねたところ、「非常に興味がある」8.2%、「かなり興味がある」38.1%、「あまり興味がない」43.6%、「関心がない」6.5%となっています。

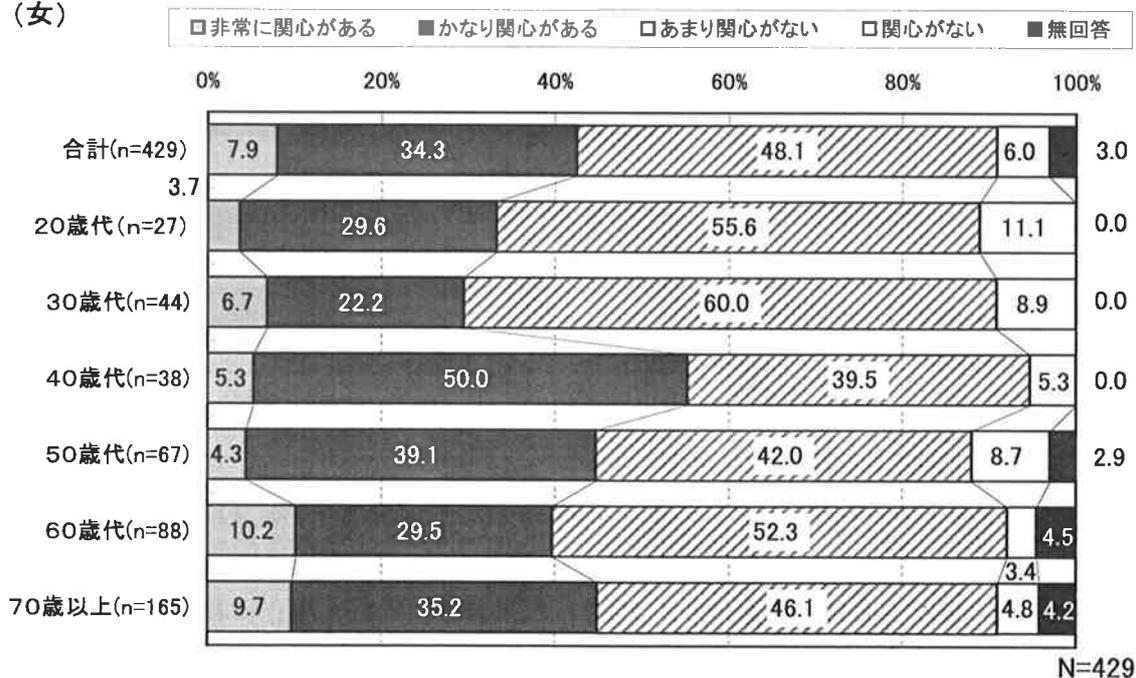
前回（平成19年）調査に比べると、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は5.2%減少し、「あまり興味がない」又は「関心がない」と回答した人の割合は、7.5%増加しています。

問3 女性の人権問題に関心を持っていますか

(男)



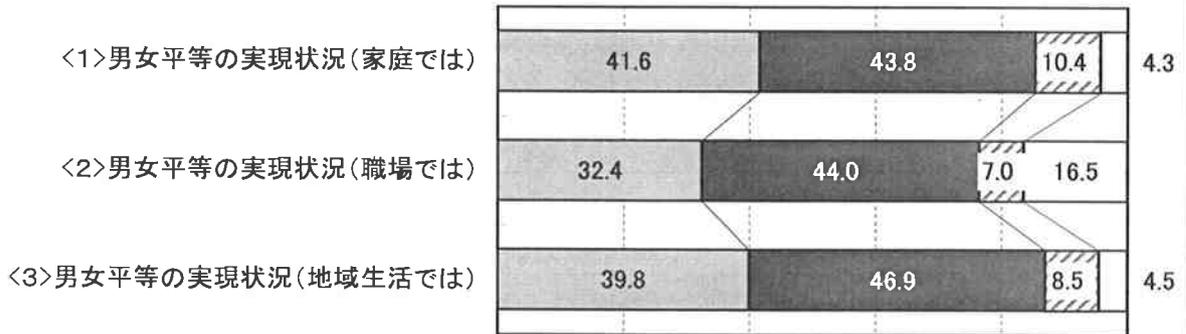
(女)



女性の人権問題に関心をもっているかについて男女別にみところ、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は、男性53.6%に対し、女性42.2%となっています。男性では60歳代が63.4%、女性では40歳代が55.3%と高くなっています。

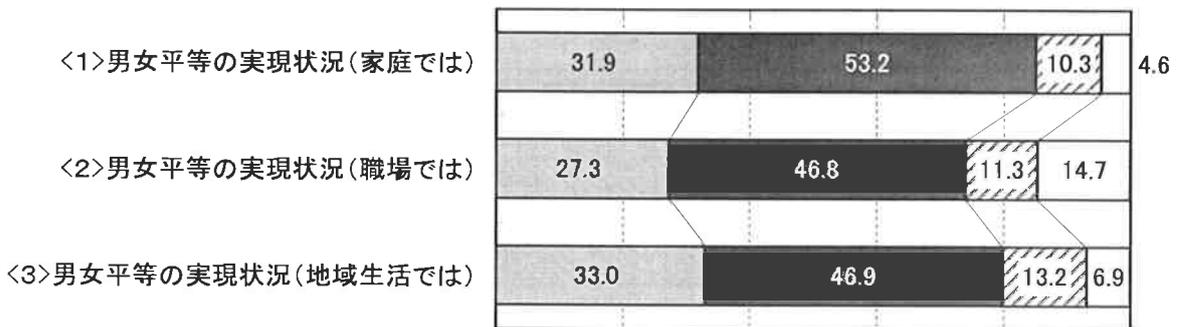
問4 あなたの身の回りでは、一般的に男女平等が実現していると思いますか

□男女平等が実現していると思う ■やや女性に不利益だと思う
 □女性に不利益だと思う □無回答



<H19年調査>

□男女平等が実現していると思う ■やや女性に不利益だと思う
 □女性に不利益だと思う □無回答

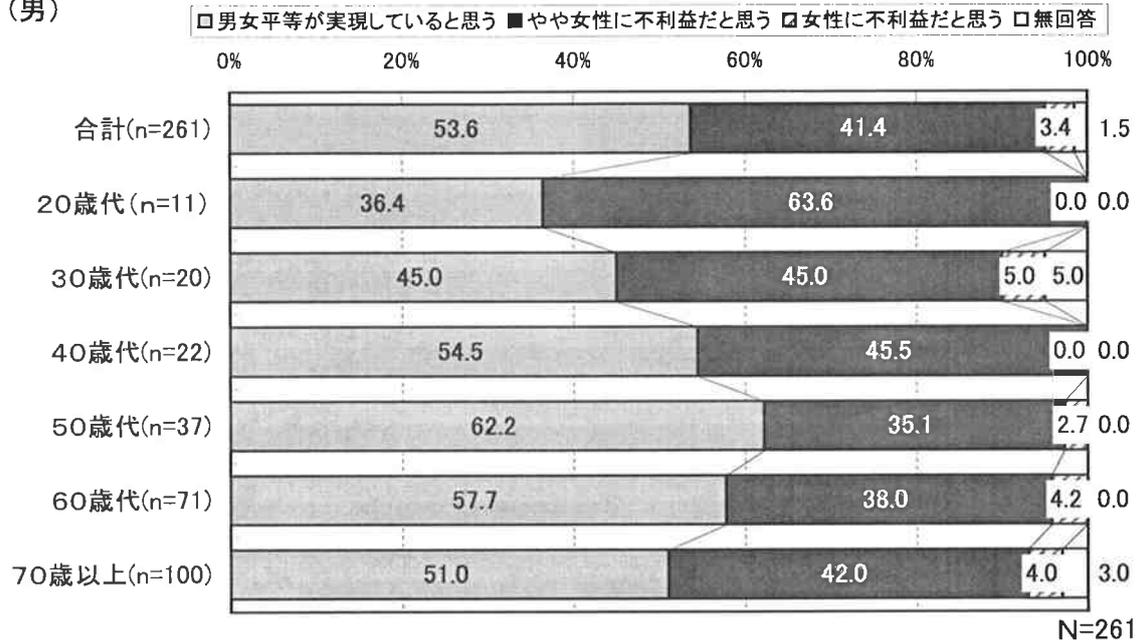


男女平等の実現状況についてたずねたところ、「実現していると思う」と回答した人の割合は、「家庭では」41.6%、「職場では」32.4%、「地域生活では」39.8%となっています。

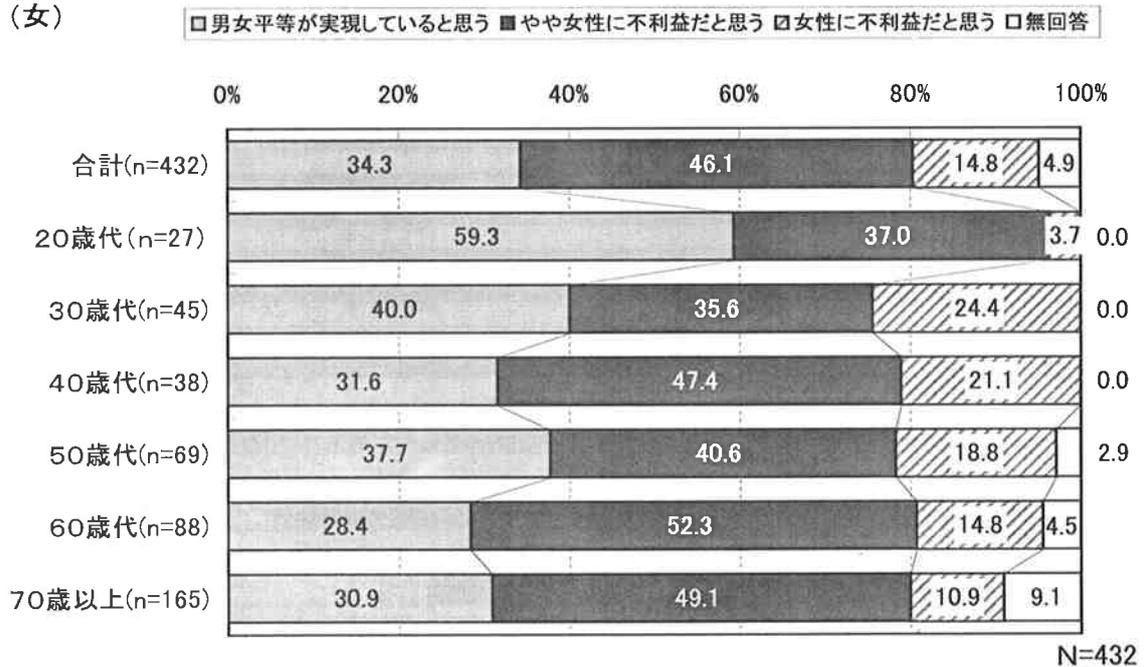
前回（平成19年）調査に比べると、「家庭」「職場」「地域生活」において、「実現していると思う」と回答した人の割合は増加しています。

問4<1> 「家庭では」男女平等が実現していると思いますか

(男)

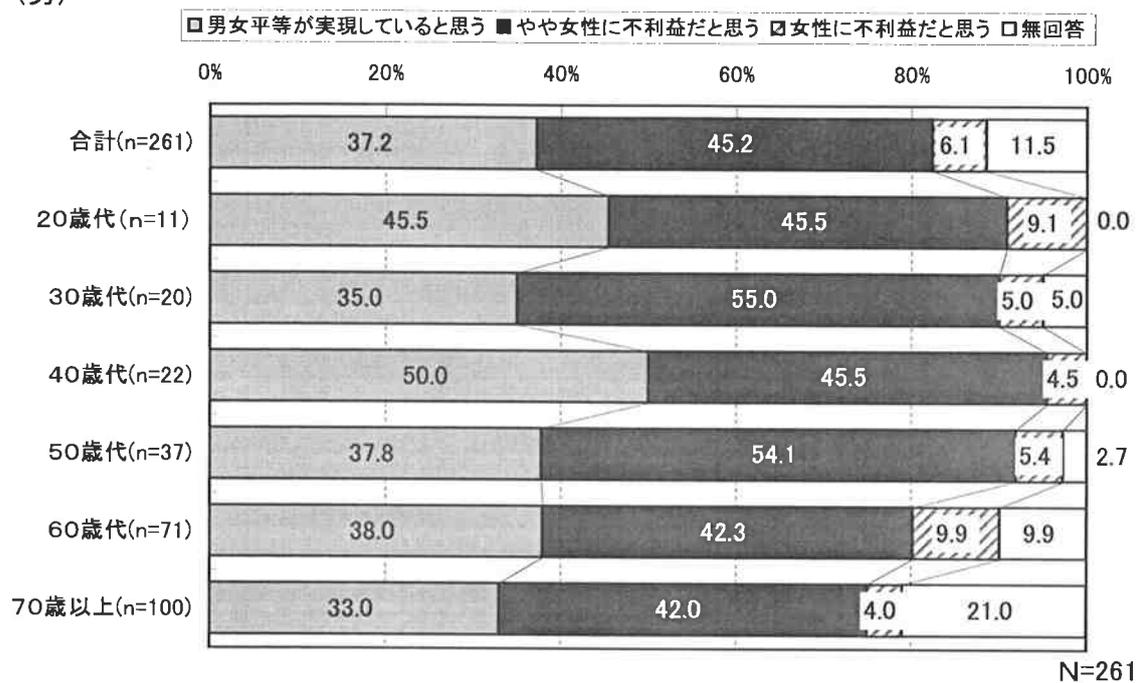


(女)

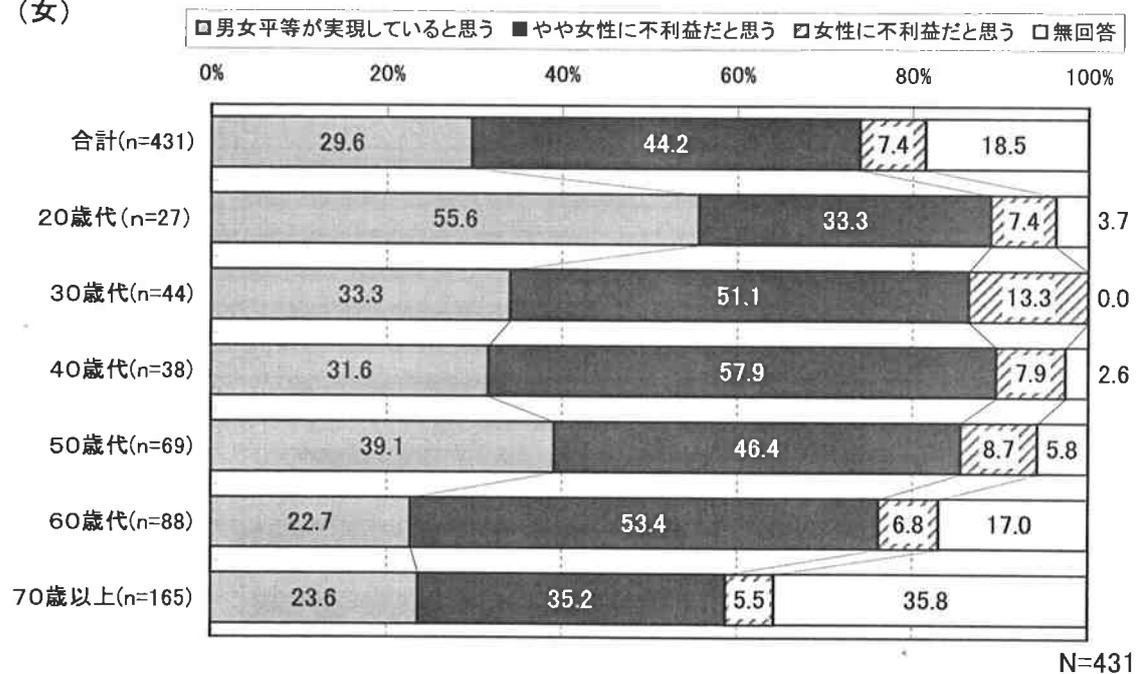


家庭における男女平等の実現状況について男女別にみたところ、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性53.6%に対し、女性34.3%となっています。男性では50歳代が62.2%、女性では20歳代が59.3%と高くなっています。

問4<2> 「職場では」男女平等が実現していると思いますか
(男)



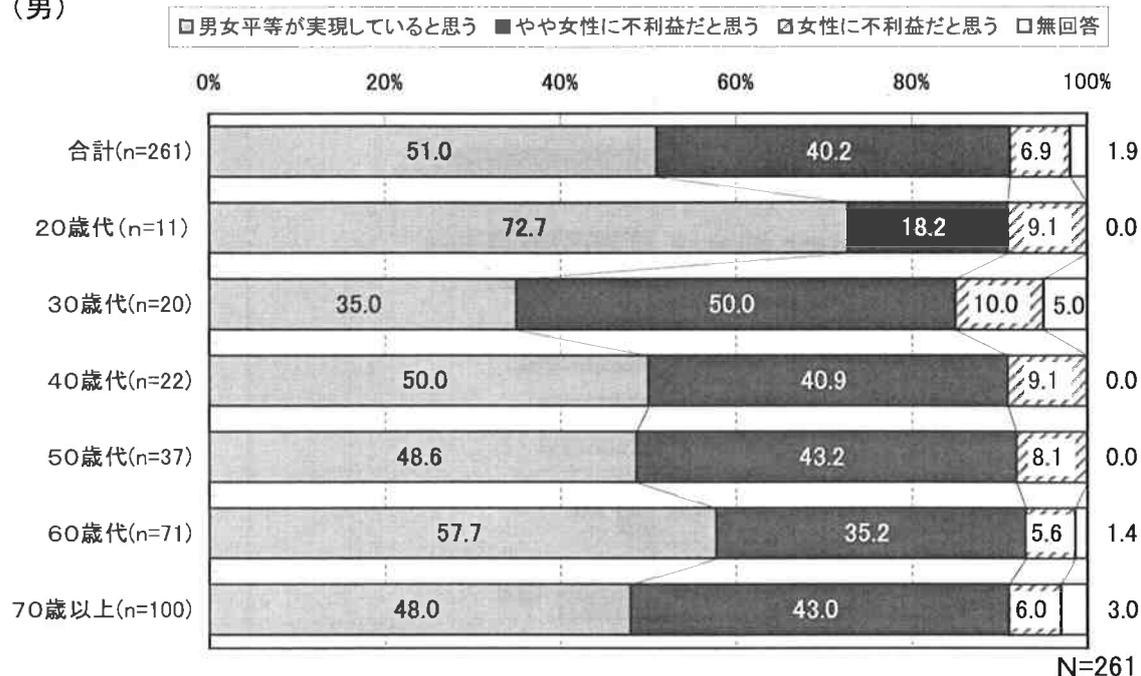
(女)



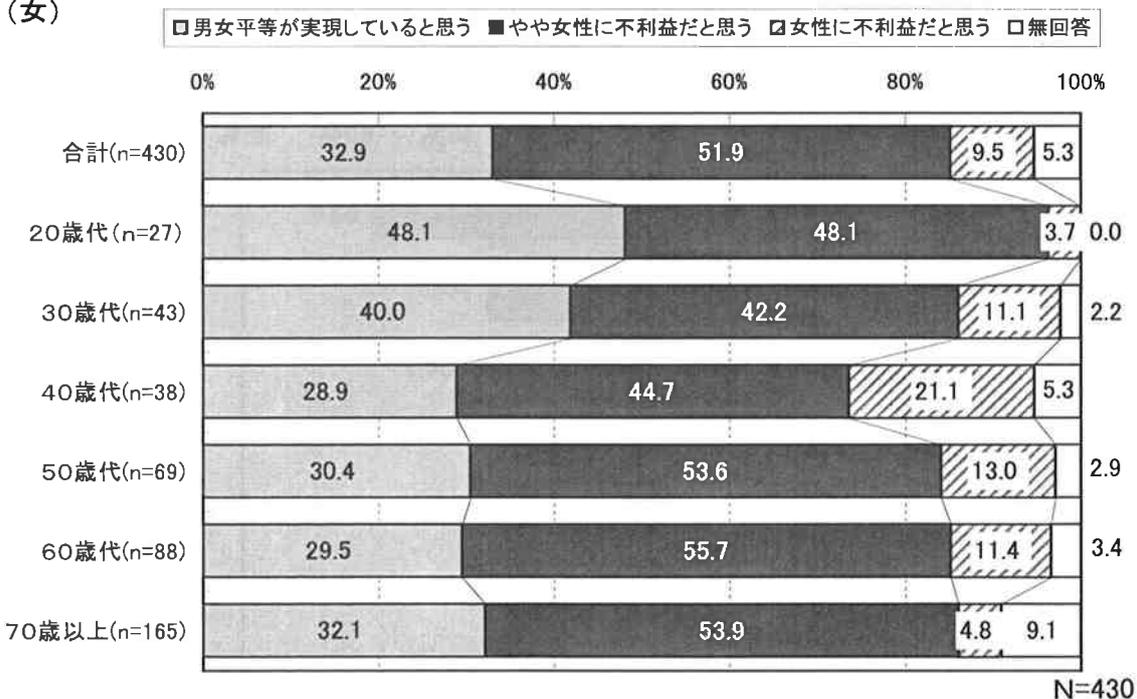
職場における男女平等の実現状況について男女別にみたところ、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性37.2%に対し、女性29.6%となっています。男性では40歳代が50.0%、女性では20歳代が55.6%と高くなっています。

問4<3> 「地域生活では」男女平等が実現していると思いますか

(男)

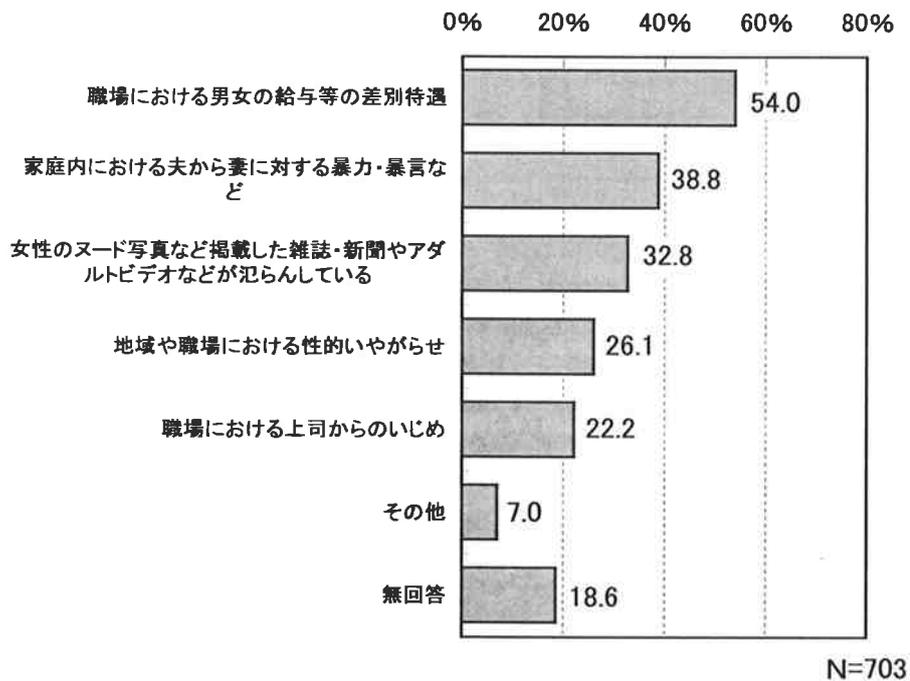


(女)

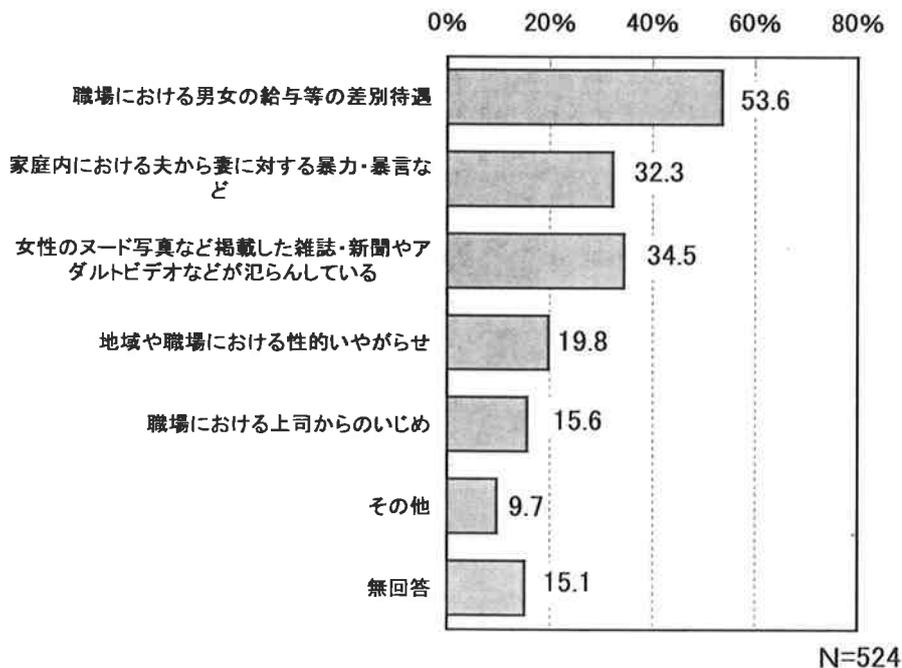


地域生活における男女平等の実現状況について男女別にみたところ、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性51.0%に対し、女性32.9%となっています。男女共に20歳代が男性72.7%、女性48.1%と高くなっています。

問5 女性の人権上、問題があると思われることはどのようなことですか



<H19年調査>

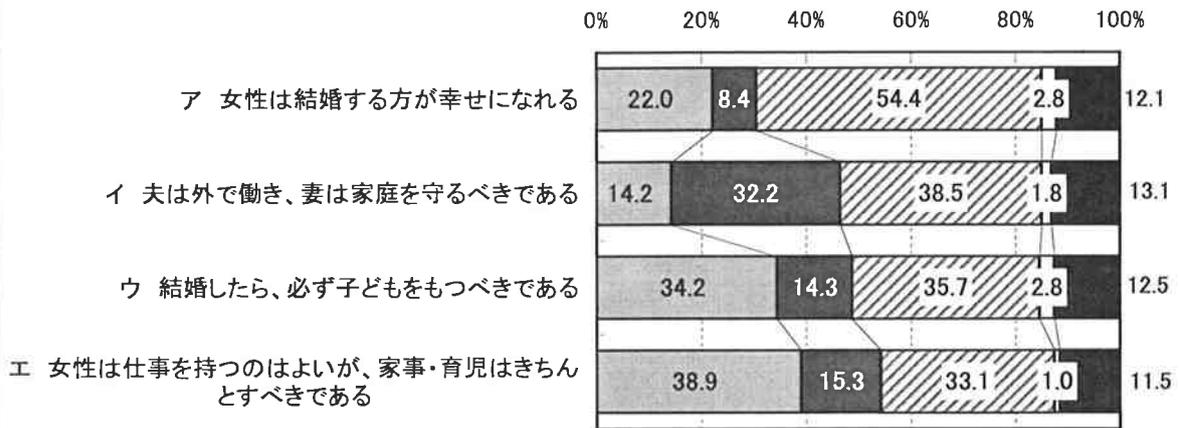


女性の人権上、問題があると思われることについてたずねたところ、「職場における男女の給与等の差別待遇」と回答した人の割合が最も高く54.0%でした。

前回（平成19年）調査に比べると、「家庭内における夫から妻に対する暴力、暴言など」が38.8%と2番目に高くなっています。

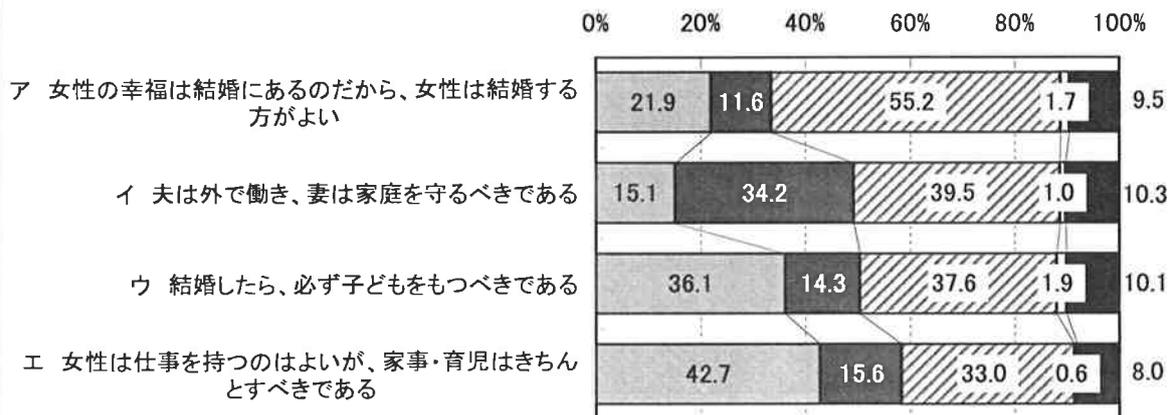
問6 結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのは
どれでしょうか

□ そう思う ■ そう思わない □ いちがいにはいえない □ わからない ■ 無回答



<H19年調査>

□ そう思う ■ そう思わない □ いちがいにはいえない □ わからない ■ 無回答

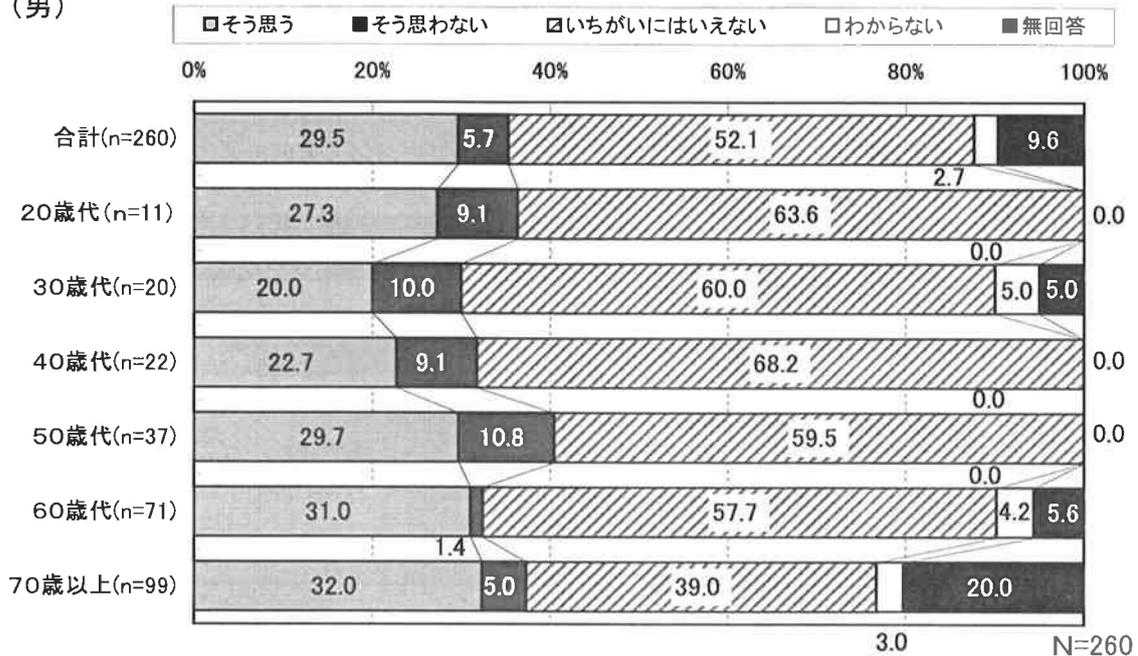


結婚、家庭、出産、子育てについての考えをたずねたところ、「そう思う」と回答した人の割合は、「エ 女性は仕事を持つのはよいが家事・育児はきちんとすべきである」では38.9%、「ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである」34.2%、「ア 女性は結婚する方が幸せになれる」22.0%、「イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」14.2%となっています。

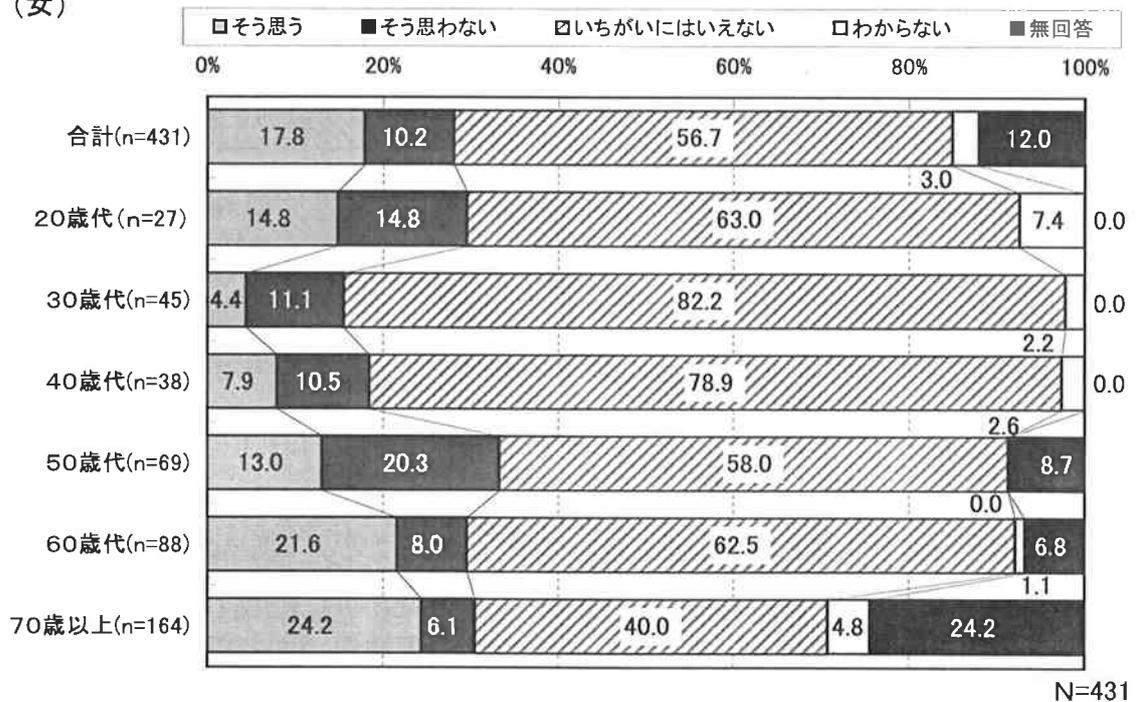
前回（平成19年）調査と比べると、「女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである」という考え方が3.8%減少しています。

問6ア 女性は結婚する方が幸せになれる

(男)

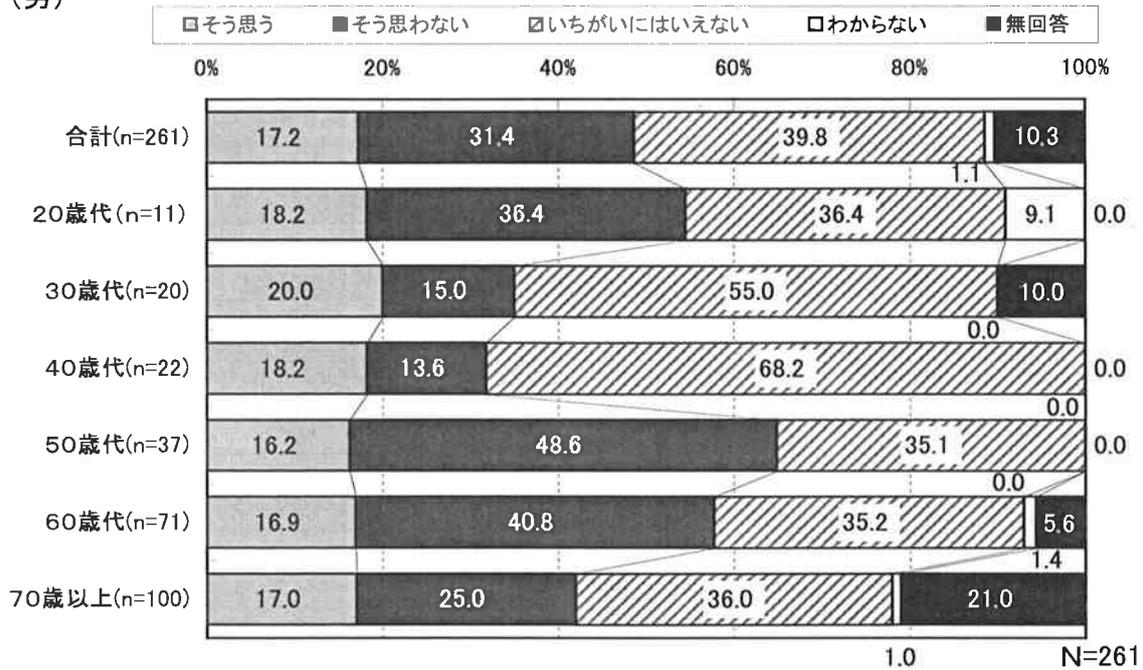


(女)

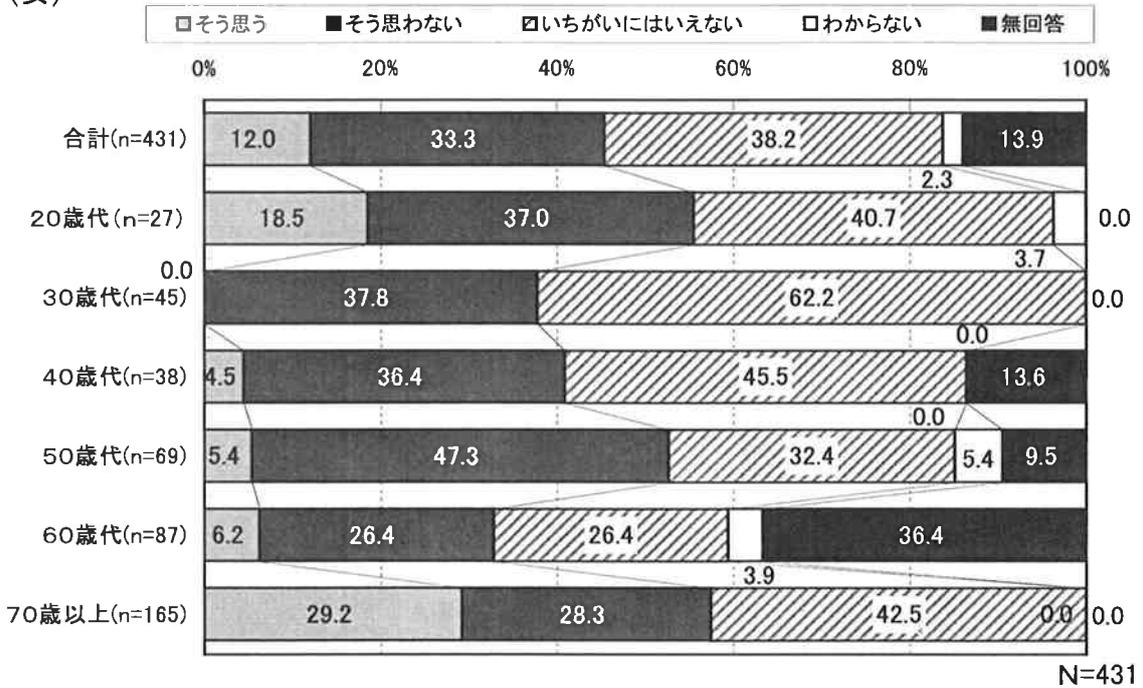


「女性は結婚する方が幸せになれる」という考えについて男女別にみたところ、「そう思う」と回答した人の割合は、男性29.5%に対し、女性17.8%となっています。20歳代を除く男女共に年代が高くなるにつれて割合も高くなっています。

問6イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである
(男)



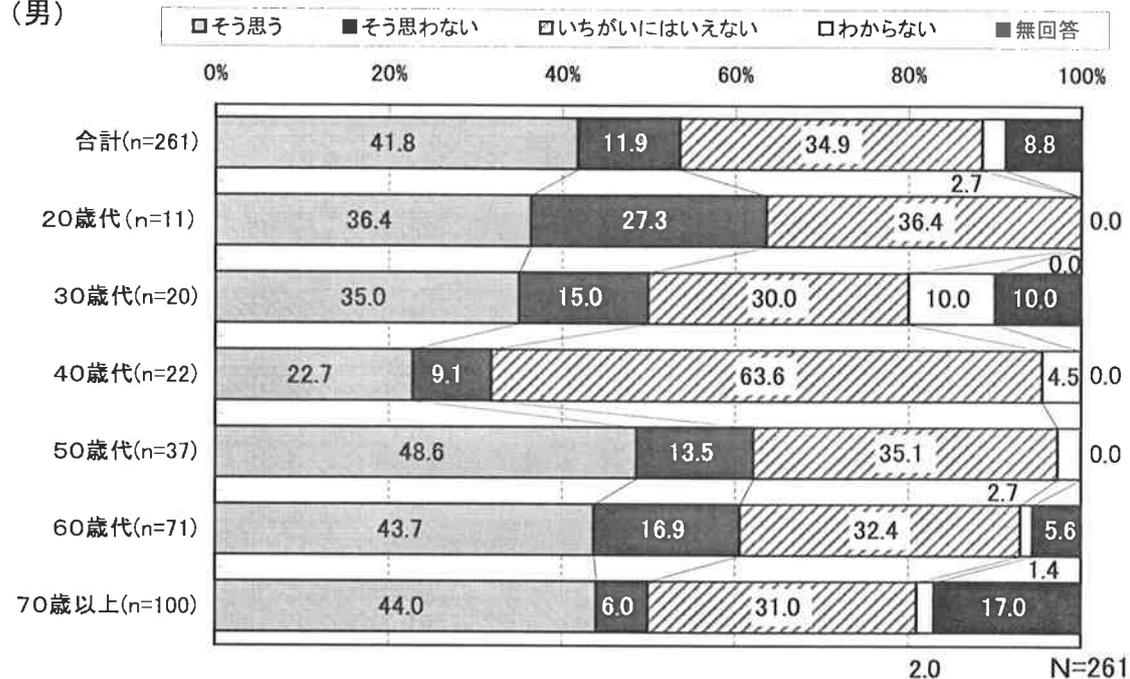
(女)



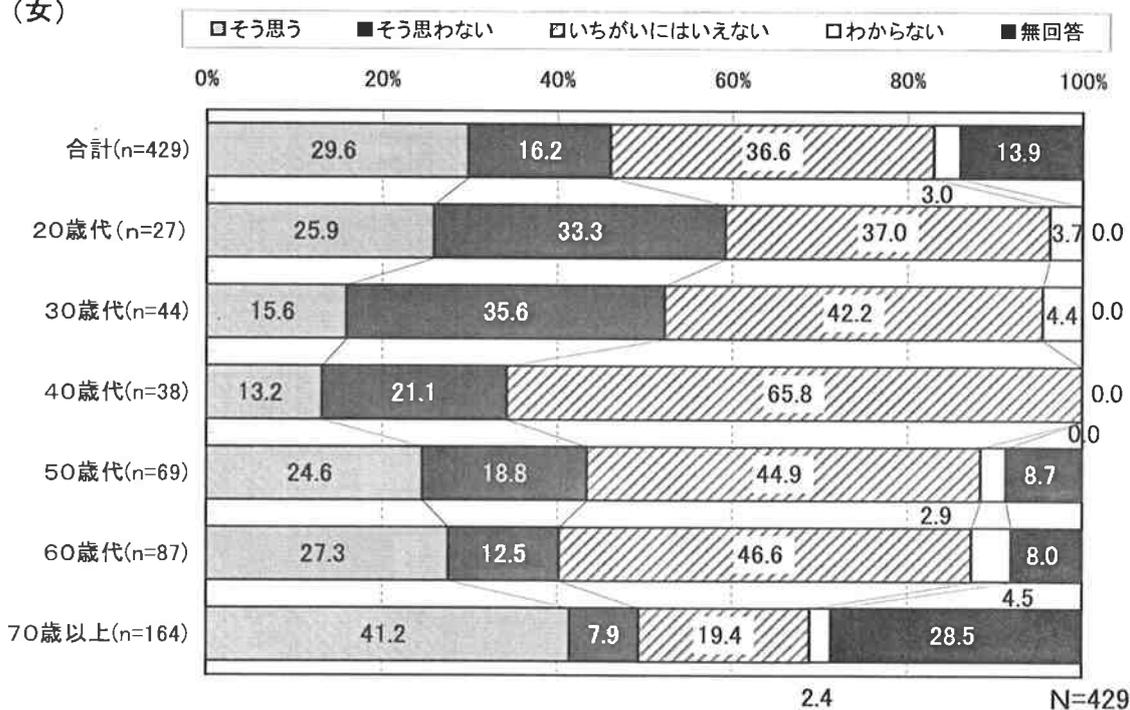
「夫は外で働き妻は家庭を守るべきである」という考えについて男女別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、男性17.2%に対し、女性12.0%となっています。女性を年代別にみると意識の差が大きくなっています。

問6ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである

(男)

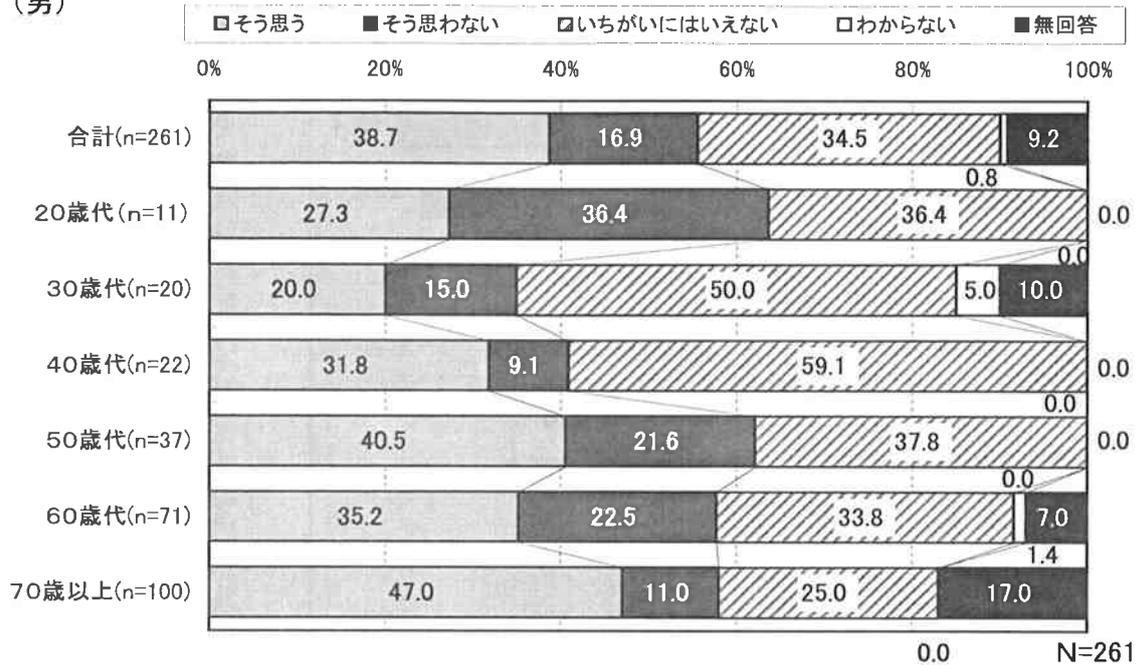


(女)

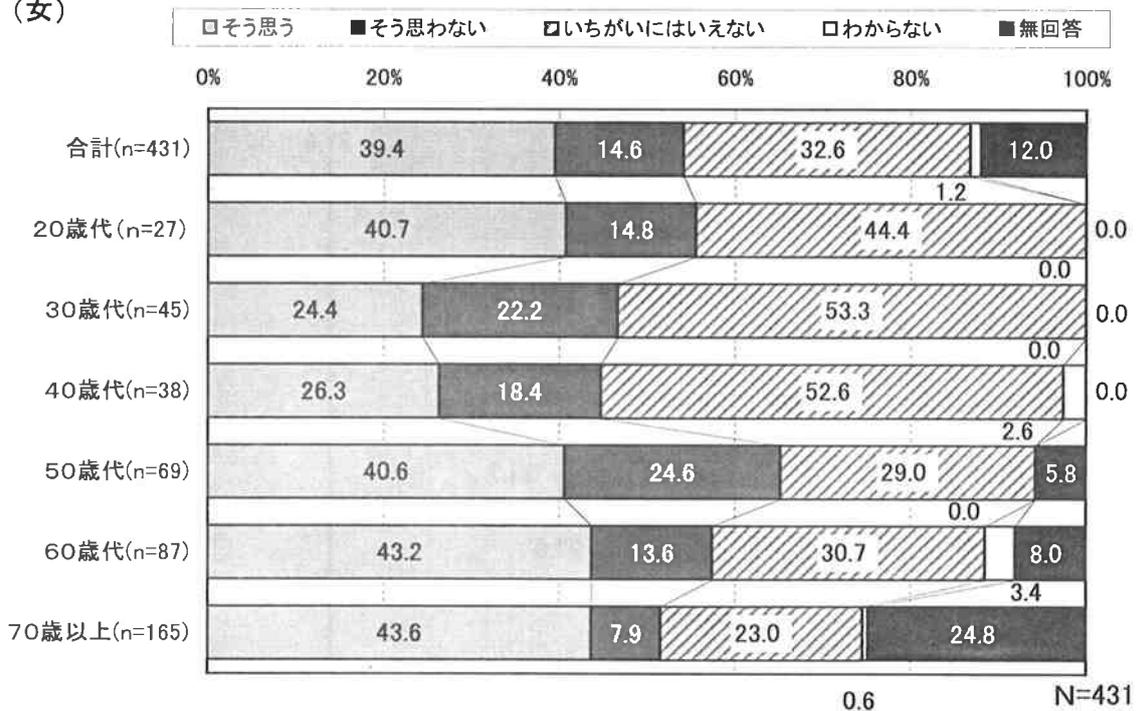


「結婚したら、必ず子どもをもつべきである」という考え方について男女別にみたところ、「と思う」と回答した人の割合は、男性41.8%に対し、女性29.6%となっています。男性では50歳代が48.6%、女性では70歳代が41.2%と高くなっています。

問6エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである
(男)

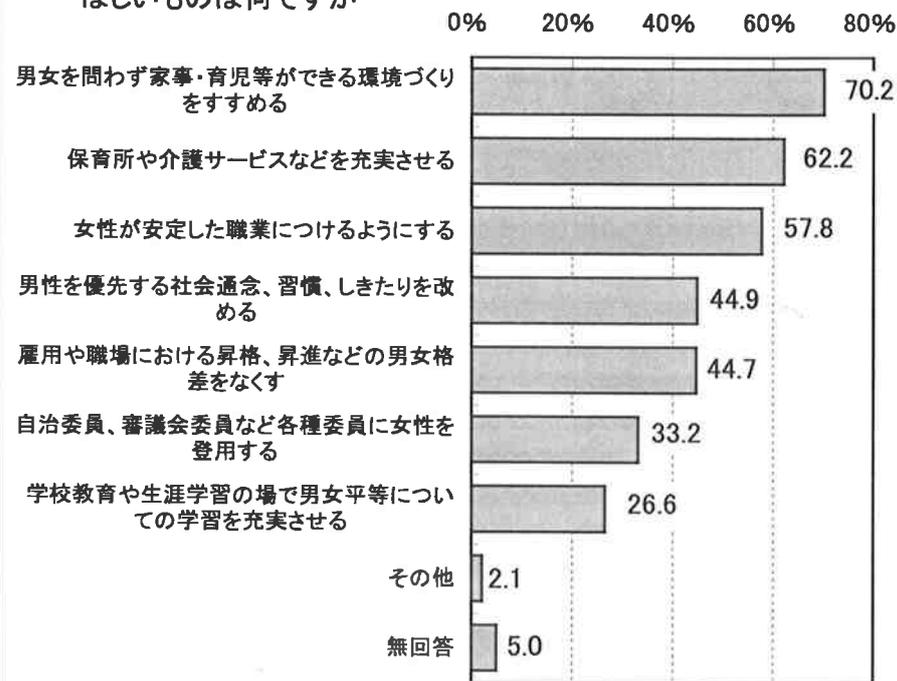


(女)



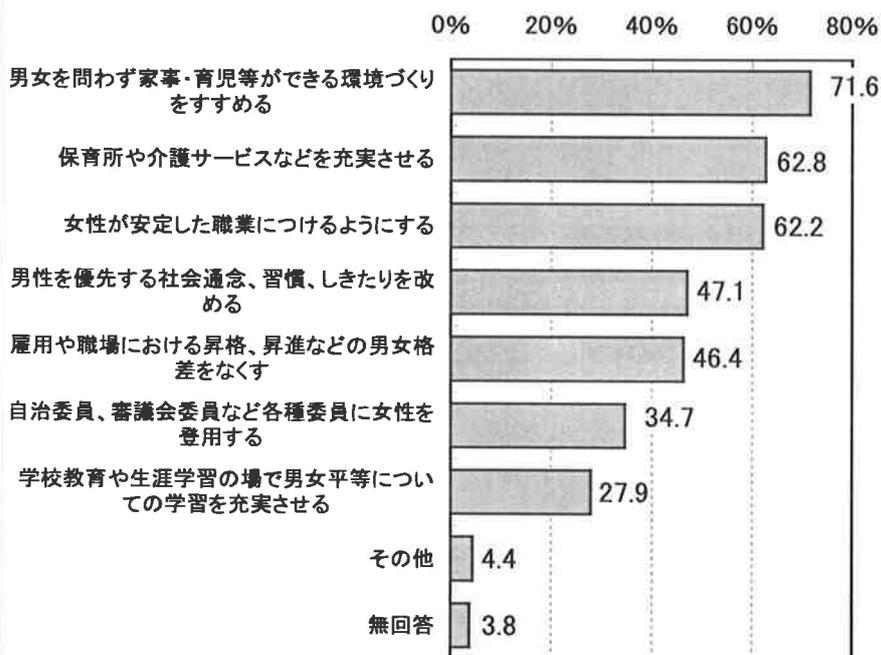
「女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである」という考えについて男女別にみたところ、「そう思う」と回答した人の割合は、男性38.7%に対し、女性39.4%となっています。男女共に70歳以上が男性47.0%、女性43.6%と高くなっています。

問7 女性が社会のあらゆる分野で平等になるために、早急に取り組んでほしいものは何ですか



N=697

<H19年調査>

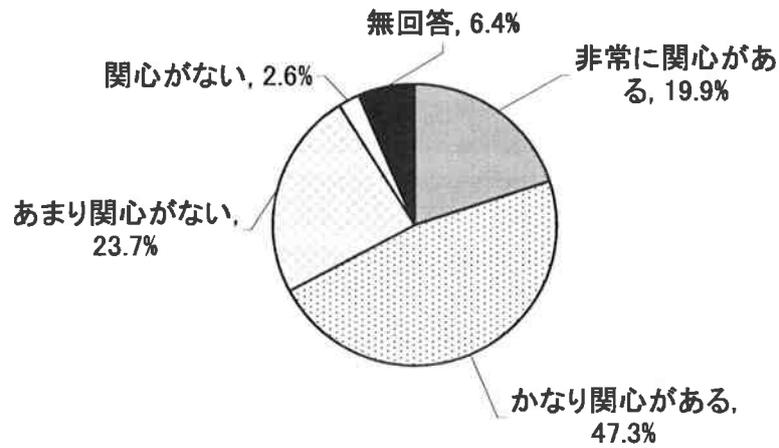


N=524

女性が社会のあらゆる分野で平等になるために早急に取り組んでほしいものについてたずねたところ、「男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる」と回答した人の割合が70.2%、「保育所や介護サービスなどを充実させる」62.2%、「安定した職業につけるようにする」57.8%と続いています。

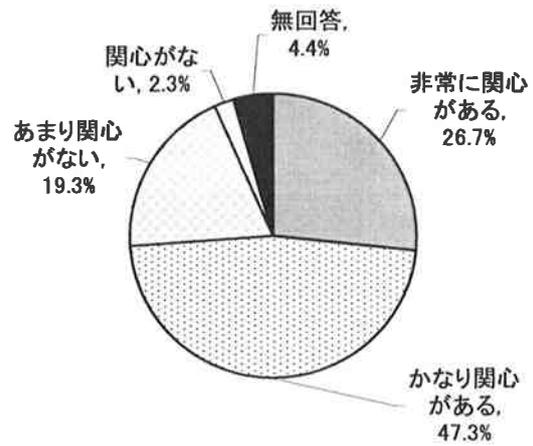
前回（平成19年）調査と比べると、わずかながら、女性を取り巻く環境が整備されているといえます。

問8 子どもに関する人権問題に関心をもっていますか



N=703

<H19年調査>



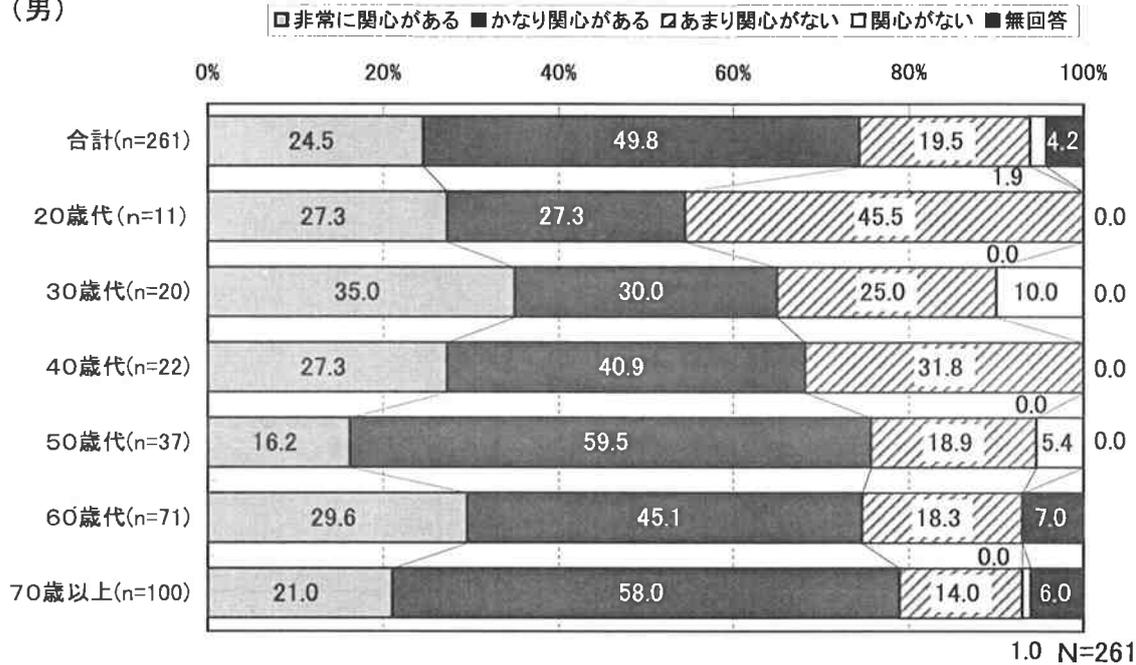
N=524

子どもに関する人権問題に関心をもっているかについてたずねたところ、「非常に興味がある」19.9%、「かなり興味がある」47.3%、「あまり興味がない」23.7%、「関心がない」2.6%となっています。

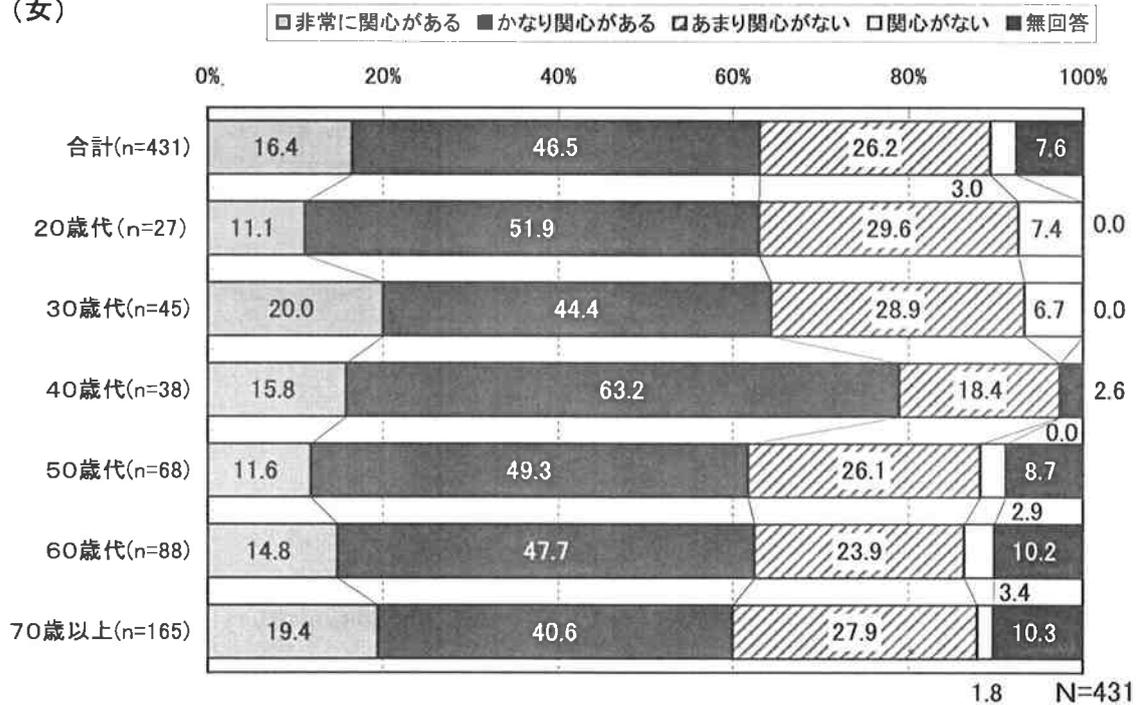
前回（平成19年）調査に比べると、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は6.8%減少し、「あまり興味がない」又は「関心がない」と回答した人の割合は4.7%増加しています。

問8 子どもに関する人権問題に関心をもっていますか

(男)



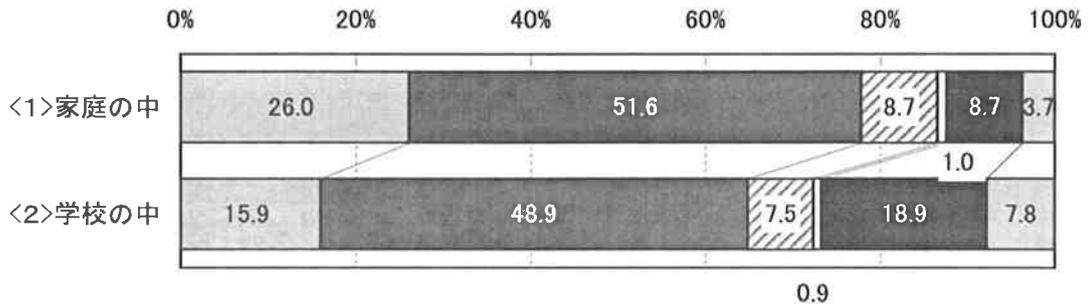
(女)



子どもに関する人権問題に関心をもっているかについて男女別にみると、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は、男性74.3%に対し、女性62.9%となっています。男性では70歳以上が79.0%、女性では40歳代が79.0%と高くなっています。

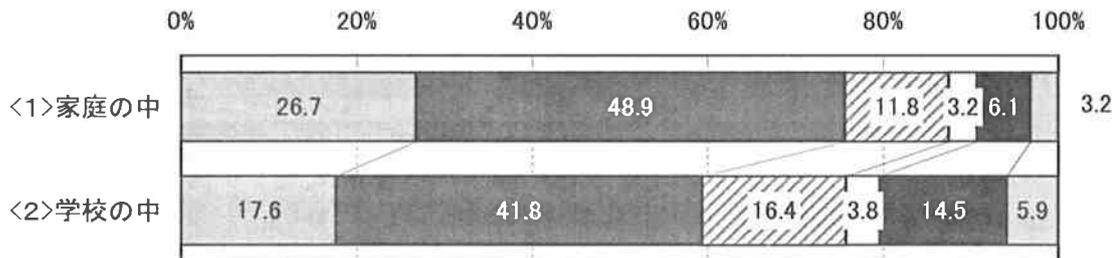
問9 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください

- 幸せな生活を過ごしているように思う
- だいたい幸せなように思う
- ▨ あまり幸せではないように思う
- 幸せではないように思う
- わからない
- 無回答



<H19年調査>

- 幸せな生活を過ごしているように思う
- だいたい幸せなように思う
- ▨ あまり幸せではないように思う
- 幸せではないように思う
- わからない
- 無回答

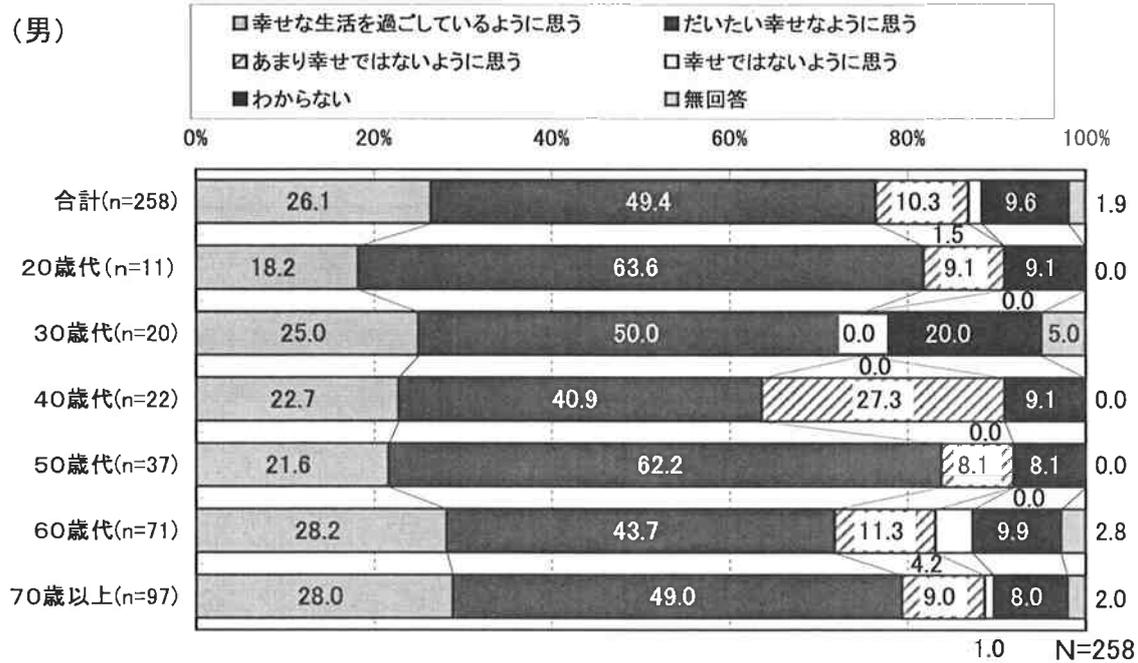


今の子どもがおかれている状況をどう感じているかについてたずねたところ、「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合は、「家庭の中」では26.0%に対し、「学校の中」では15.9%となっています。

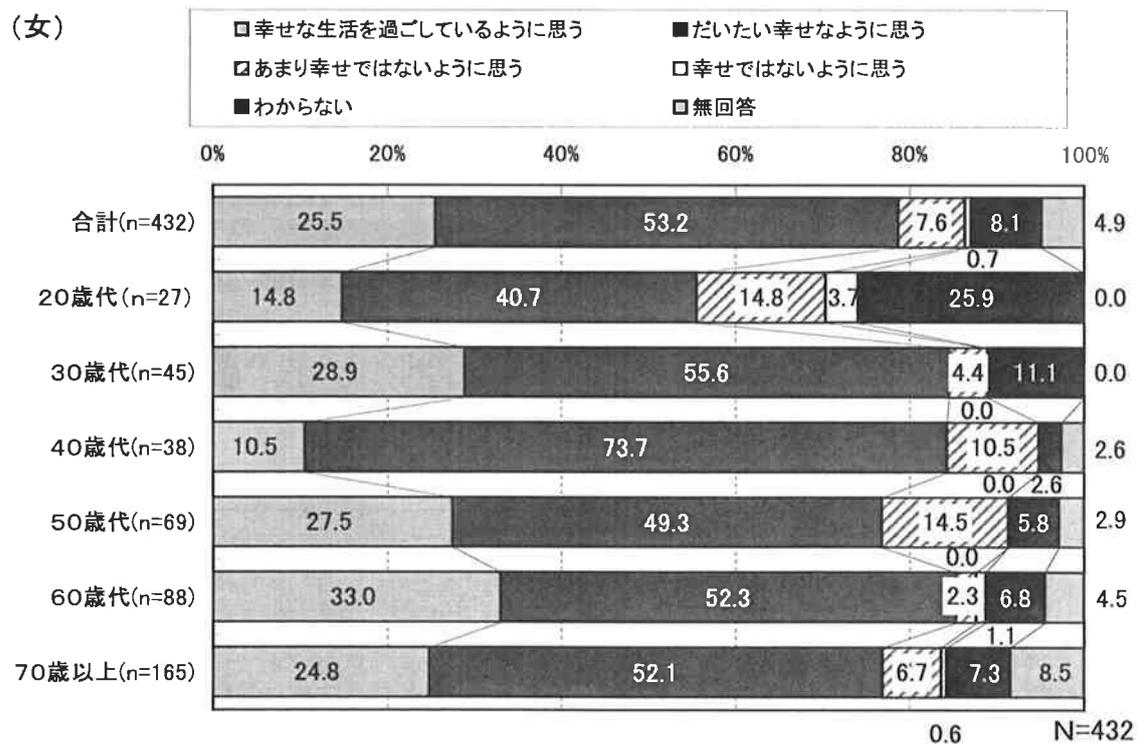
前回（平成19年）調査に比べると、「幸せな生活を過ごしているように思う」又は「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合は、「家庭の中」では2.0%、「学校の中」では5.4%増加しています。

問9<1> 家庭の中で今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください

(男)



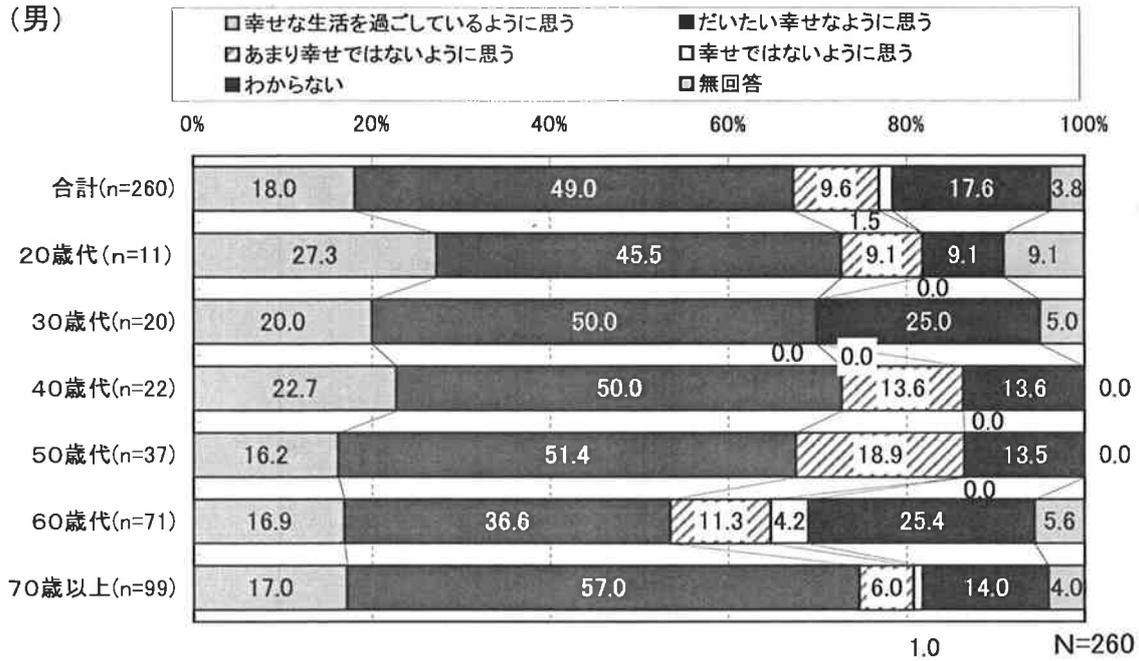
(女)



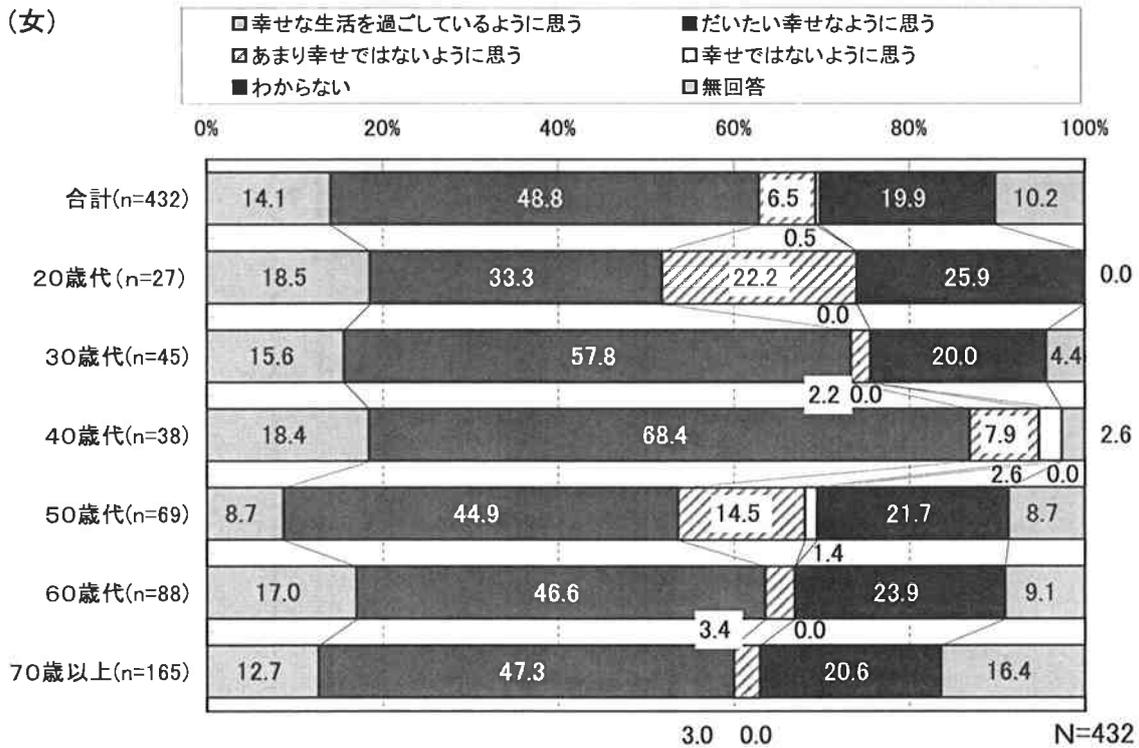
家庭の中で今の子どもがおかれている状況をどう感じているかについて男女別にみたところ、「幸せな生活を過ごしているように思う」又は「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合は、男性75.5%、女性78.7%となっています。男性では50歳代が83.8%、女性では60歳代が85.3%と高くなっています。

問9<2> 学校の中で今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください

(男)

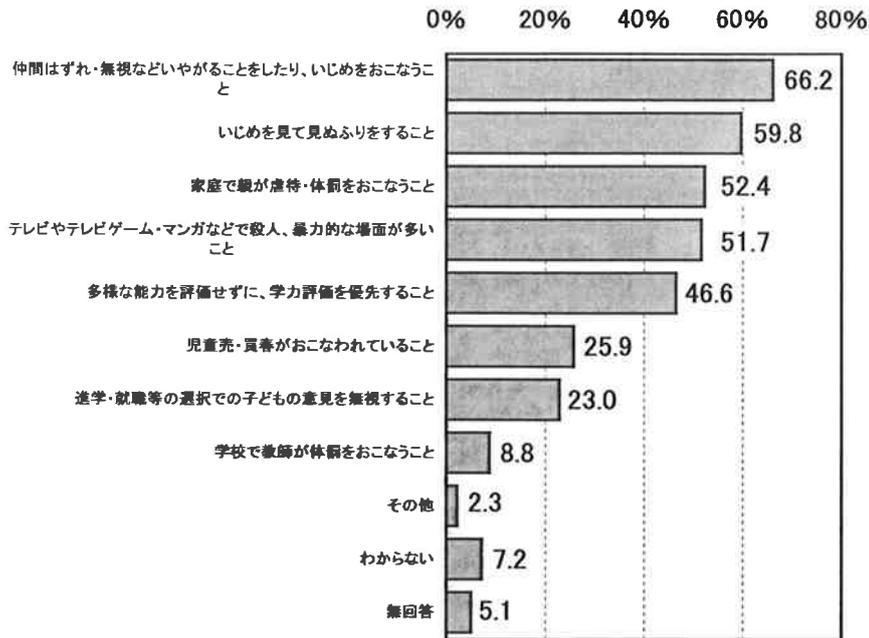


(女)



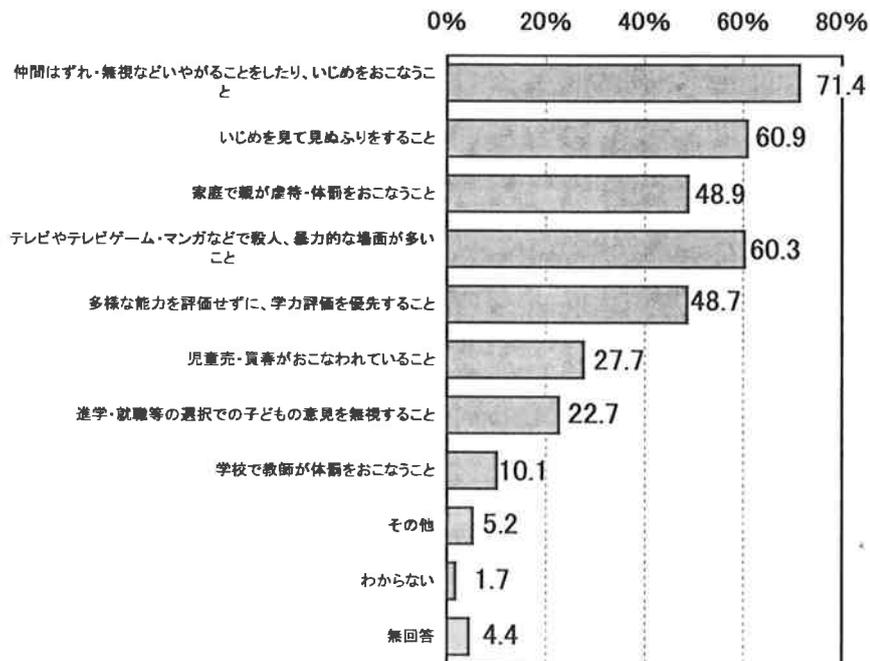
学校の中で今の子どもがおかれている状況をどう感じているかについて男女別にみたところ、「幸せな生活を過ごしているように思う」又は「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合は、男性67.0%、女性62.9%となっています。男性では70歳以上が74.0%、女性では40歳代が86.8%と高くなっています。

問10 子どもの人権上、問題があると思うことはどのようなことですか



N=697

<H19年調査>

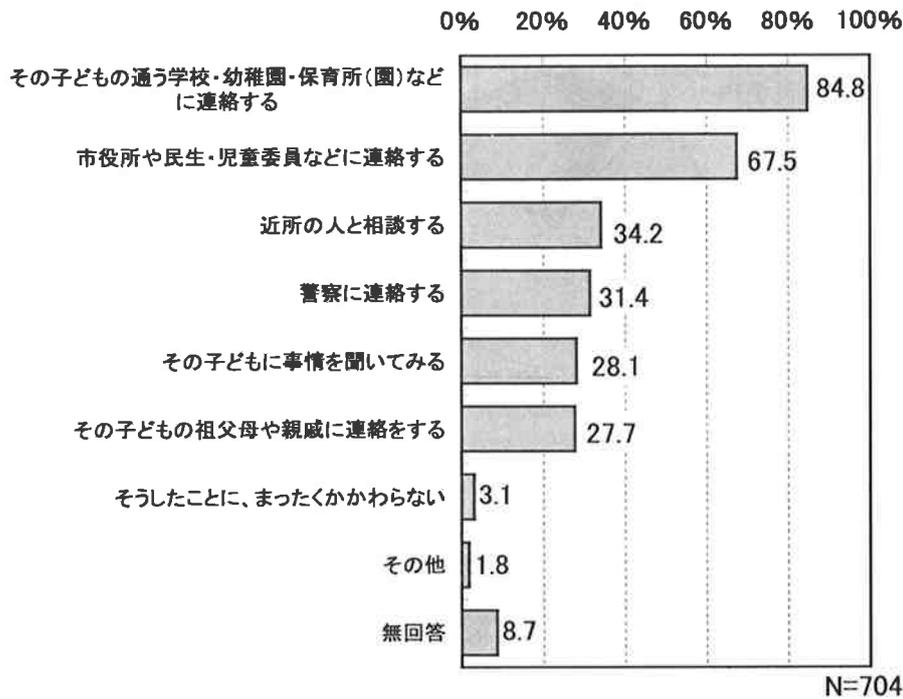


N=524

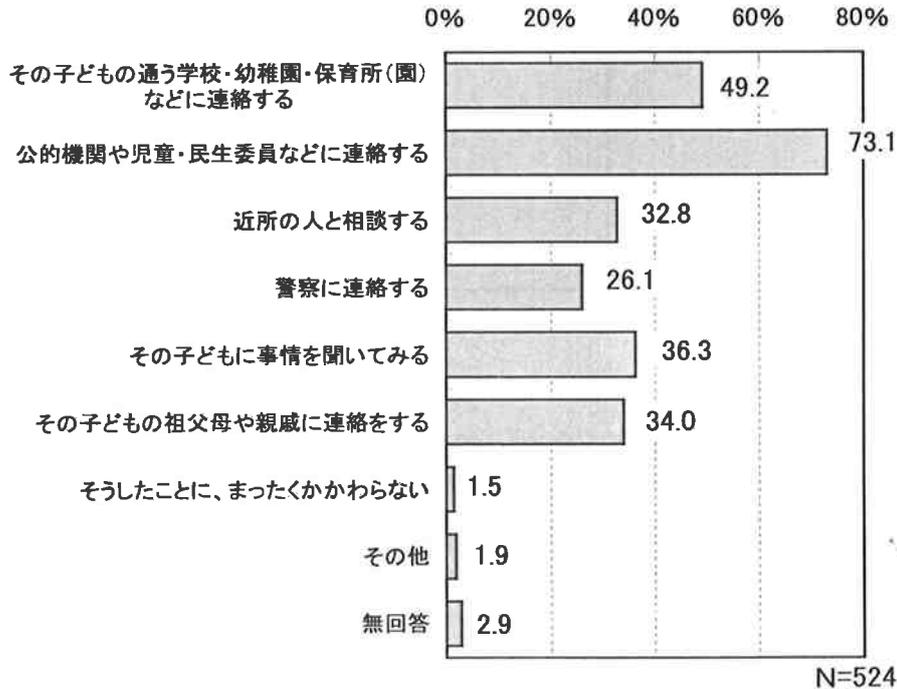
子どもの人権上、問題があると思うことについてたずねたところ、「仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと」が66.2%と最も高く、「いじめを見て見ぬふりをする」59.8%と続いています。

前回（平成19年）調査に比べると、「家庭で親が虐待・体罰をおこなうこと」が52.4%と3番目に高くなっています。

問11 近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、どのような行動をとると思いますか

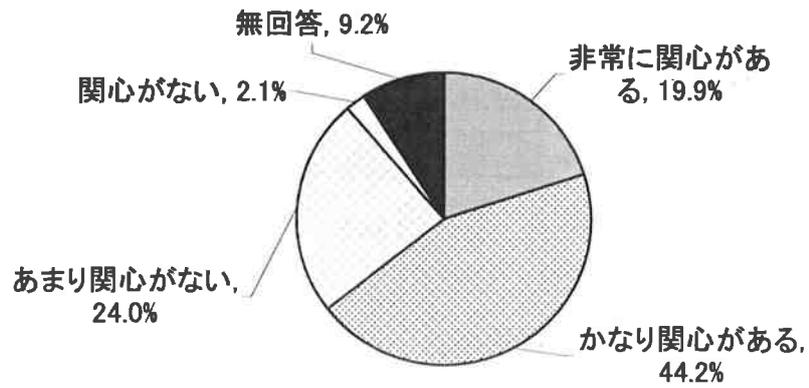


<H19年調査>



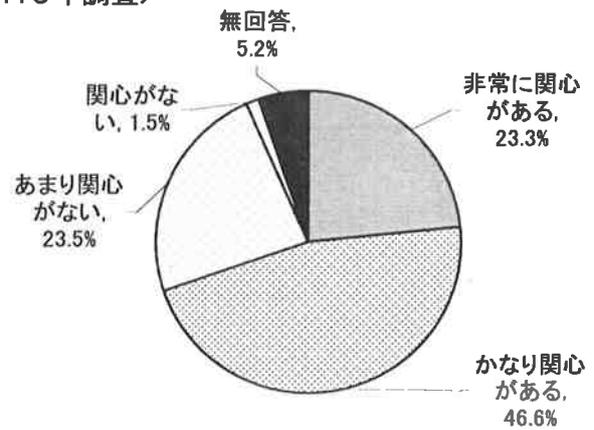
近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、どのような行動をとるかたずねたところ、「その子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する」と回答した人の割合が最も高く84.8%となっています。次いで、市役所や民生・児童委員などに連絡する67.5%、近所の人と相談する34.2%となっています。前回(平成19年)調査に比べると、「子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する」と回答した人の割合が大幅に増えています。

問12 高齢者の人権問題に関心をもっていますか



N=700

<H19年調査>



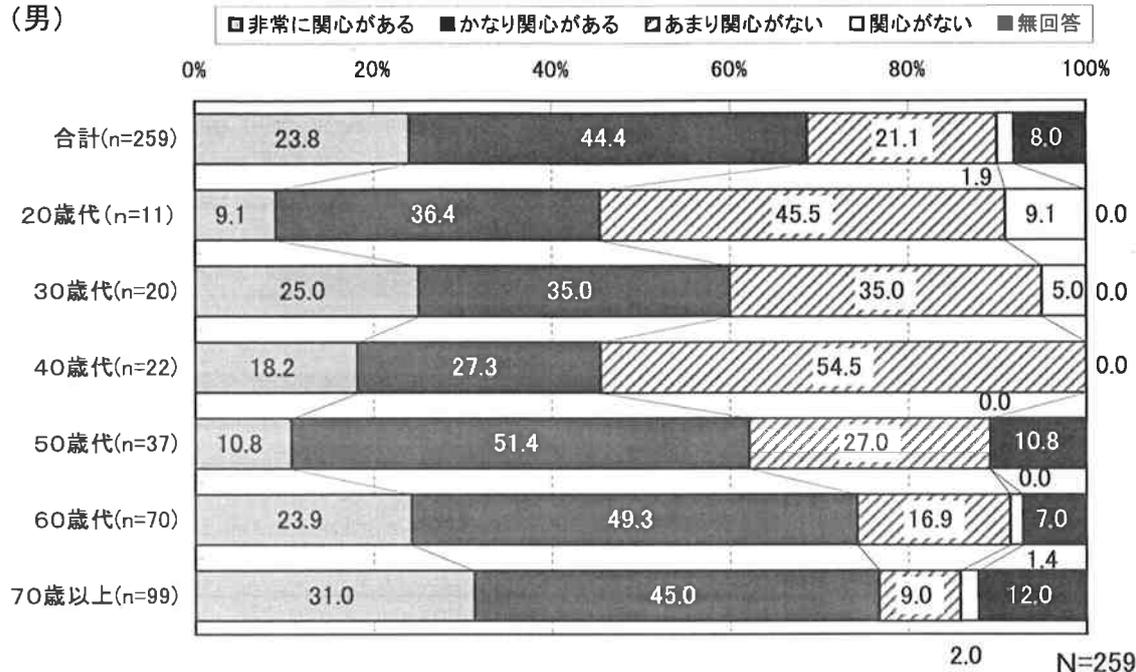
N=524

高齢者の人権問題に関心をもっているかについてたずねたところ、「非常に興味がある」19.9%、「かなり興味がある」44.2%、「あまり興味がない」24.0%、「関心がない」2.1%となっています。

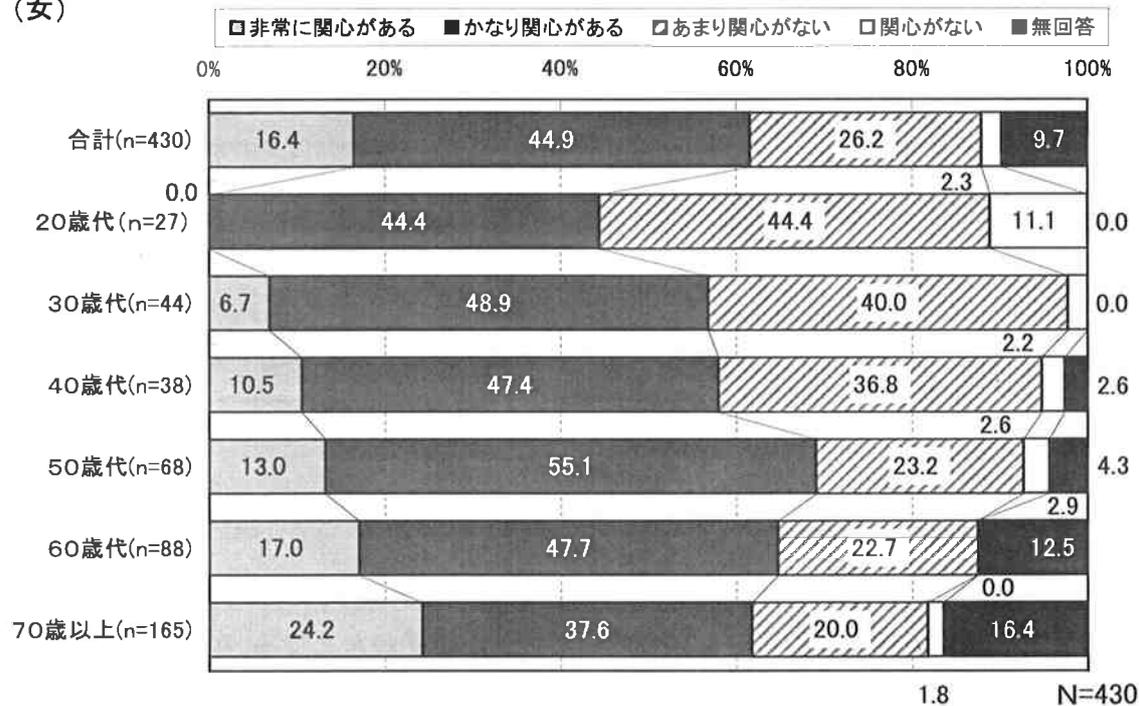
前回（平成19年）調査に比べると、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は5.8%減少し、「あまり興味がない」又は「関心がない」と回答した人の割合は1.1%増加しています。

問12 高齢者の人権問題に関心をもっていますか

(男)



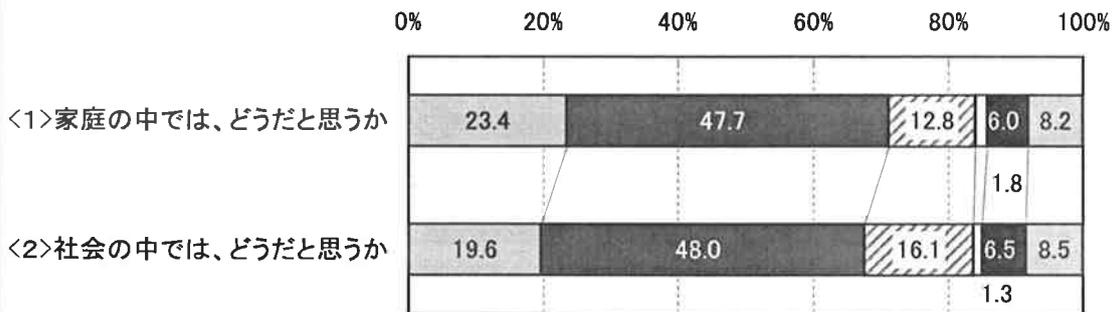
(女)



高齢者の人権問題に関心をもっているかについて男女別にみたところ、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は、男性68.2%に対し、女性61.3%となっています。男性では70歳以上が76.0%、女性では50歳代が68.1%と高くなっています。

問13 今の高齢者がおかれている状況をどう感じていますか

- 大切にされていると思う
- まあ大切にされていると思う
- ▨ あまり大切にされていないと思う
- 大切にされていないと思う
- わからない
- 無回答



N=704

<H19年調査>

- 大切にされていると思う
- まあ大切にされていると思う
- ▨ あまり大切にされていないと思う
- 大切にされていないと思う
- わからない
- 無回答



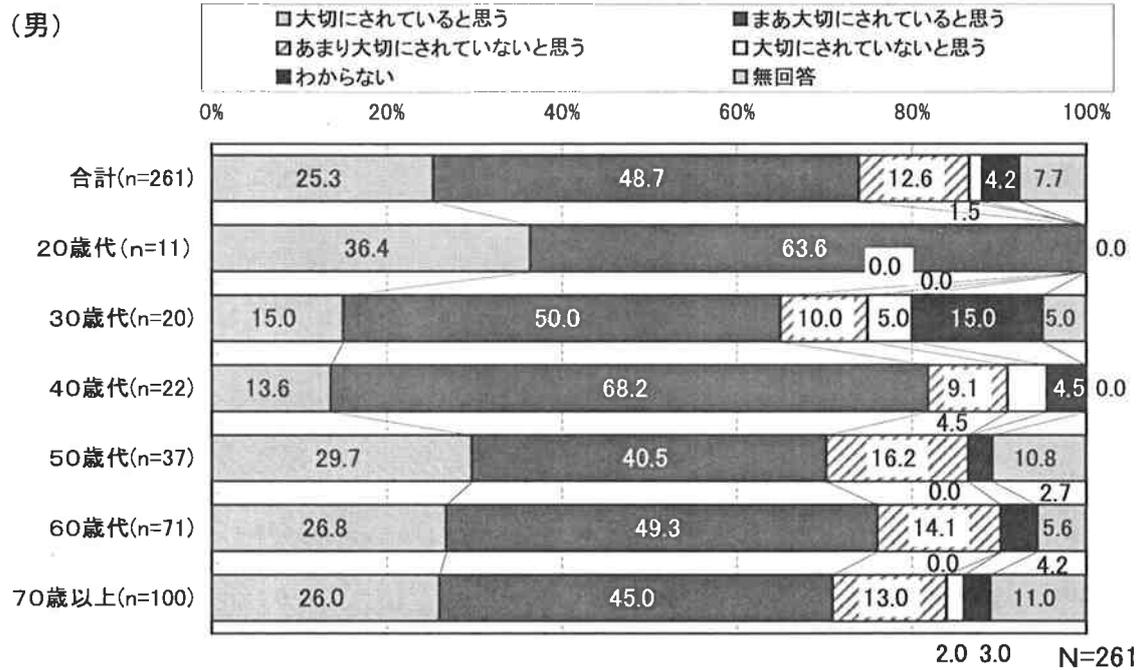
N=524

今の高齢者がおかれている状況をどう感じているかたずねたところ、「大切にされていると思う」と回答した人の割合は、「家庭の中では」23.4%に対し、「社会の中では」19.6%となっています。

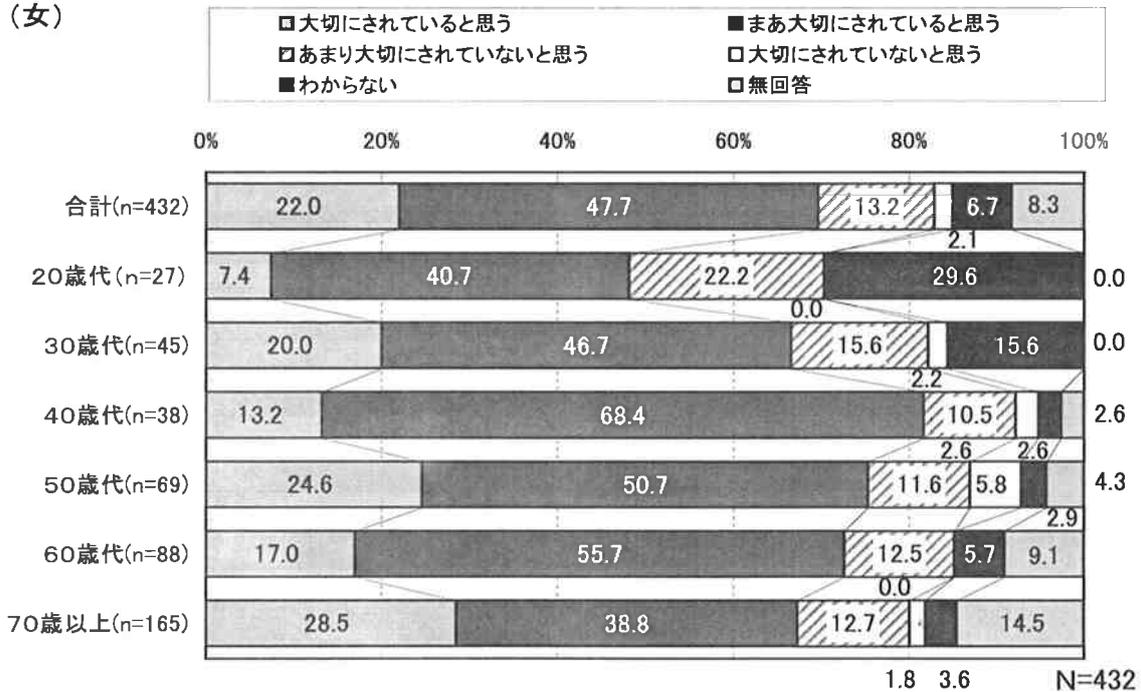
前回（平成19年）調査に比べると、「大切にされていると思う」又は「まあ大切にされていると思う」と回答した人の割合は、「家庭の中では」1.0%、「社会の中では」0.9%減少しています。

問13<1> 家庭の中で今の高齢者がおかれている状況をどう感じていますか

(男)



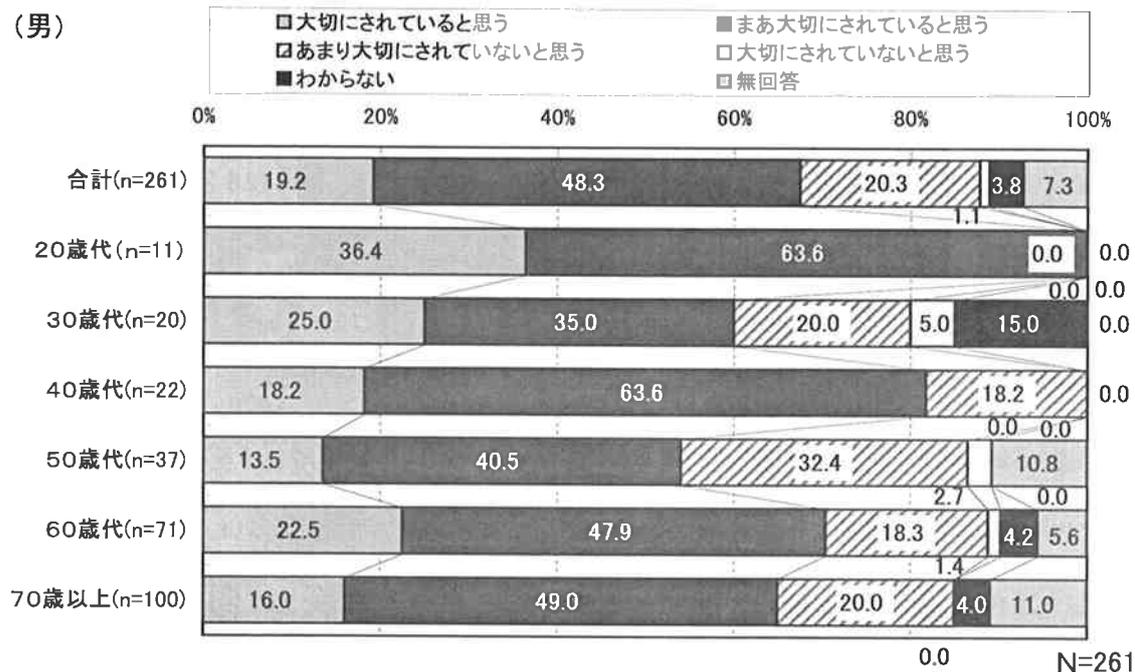
(女)



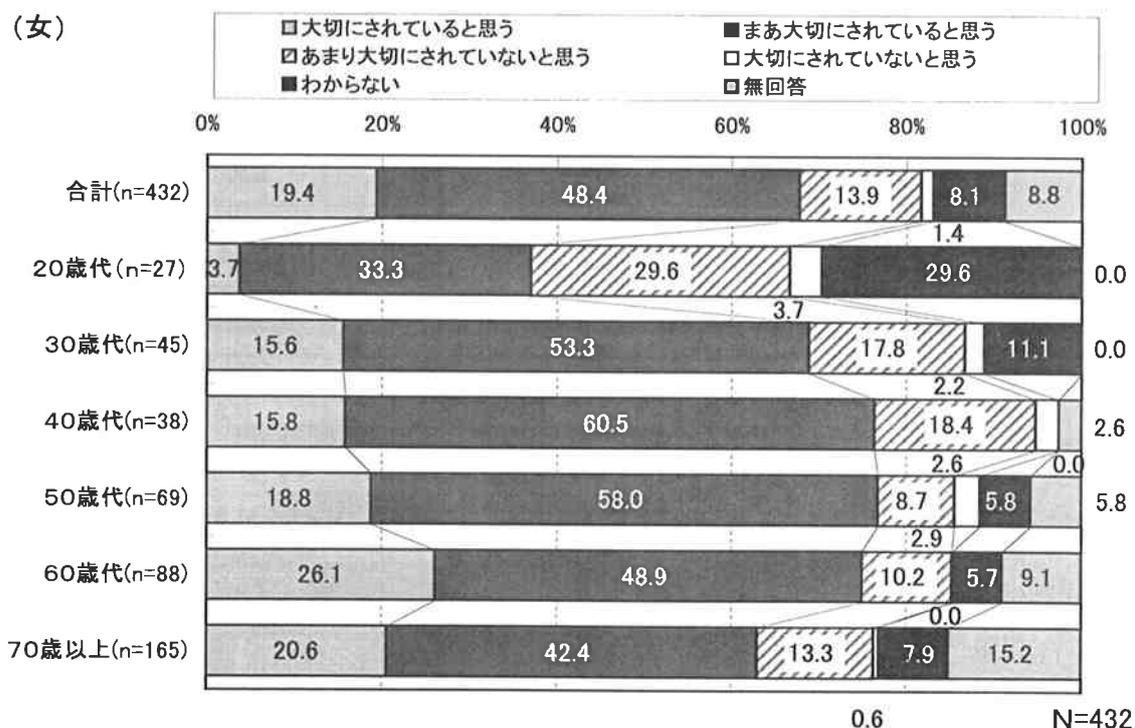
家庭の中で今の高齢者がおかれている状況をどう感じているかについて男女別にみたところ、「大切にされていると思う」又は「まあ大切にされていると思う」と回答した人の割合は、男性74.0%に対し、女性69.7%となっています。男性では20歳代が100%、女性では40歳代が81.6%と高くなっています。

問13<2> 社会の中で今の高齢者がおかれている状況をどう感じていますか

(男)

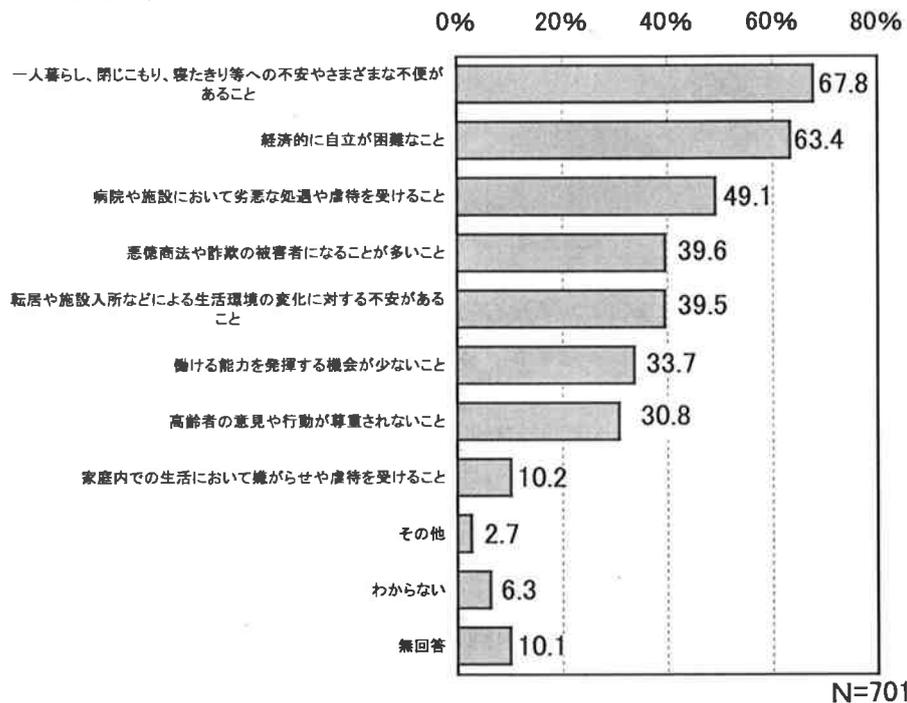


(女)

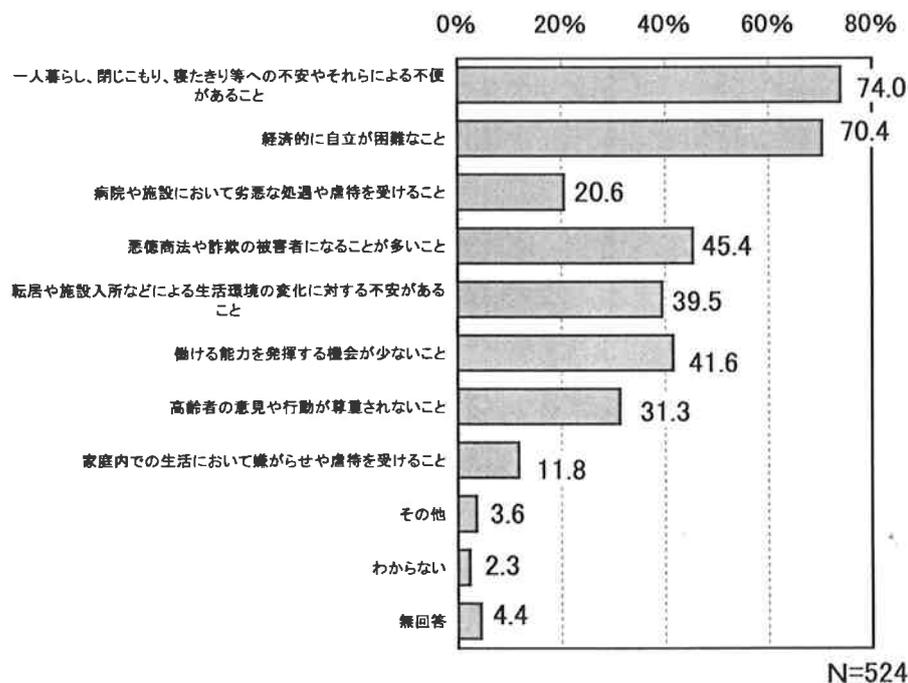


社会の中で今の高齢者がおかれている状況をどう感じているかについて男女別にみたところ、「大切にされていると思う」又は「まあ大切にされていると思う」と回答した人の割合は、男性67.5%に対し、女性67.8%となっています。男性では20歳代が100%、女性では50歳代が76.8%と高くなっています。

問14 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と
考えますか



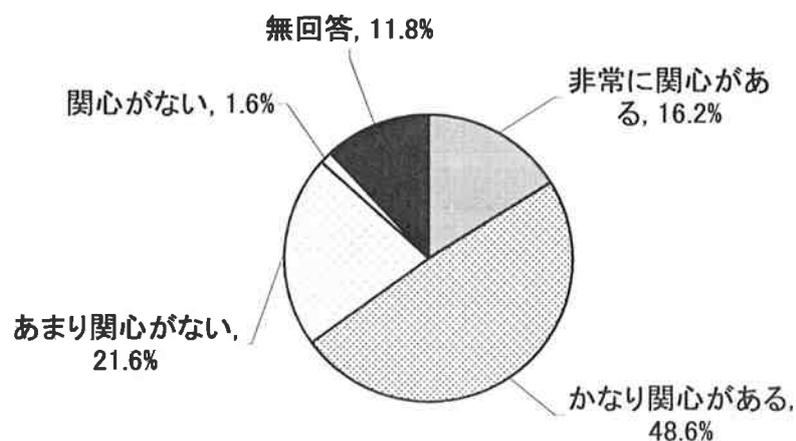
<H19年調査>



高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えるかについてたずねたところ、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること」が67.8%と最も高く、「経済的に自立が困難なこと」63.4%と続いています。

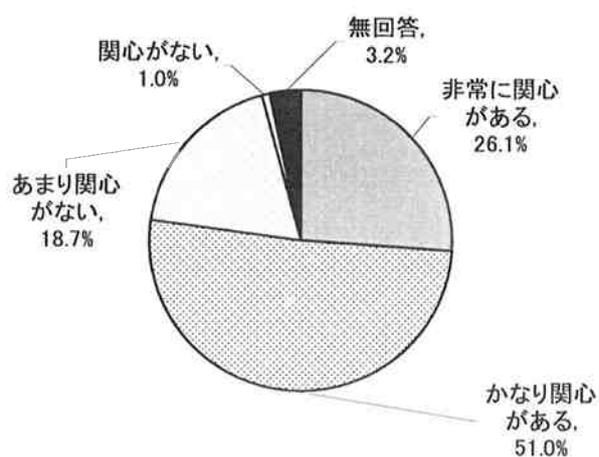
前回（平成19年）調査に比べると、「病院や施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」が大幅に増えています。

問15 障がい者に関する人権問題に関心をもっていますか



N=702

<H19年調査>



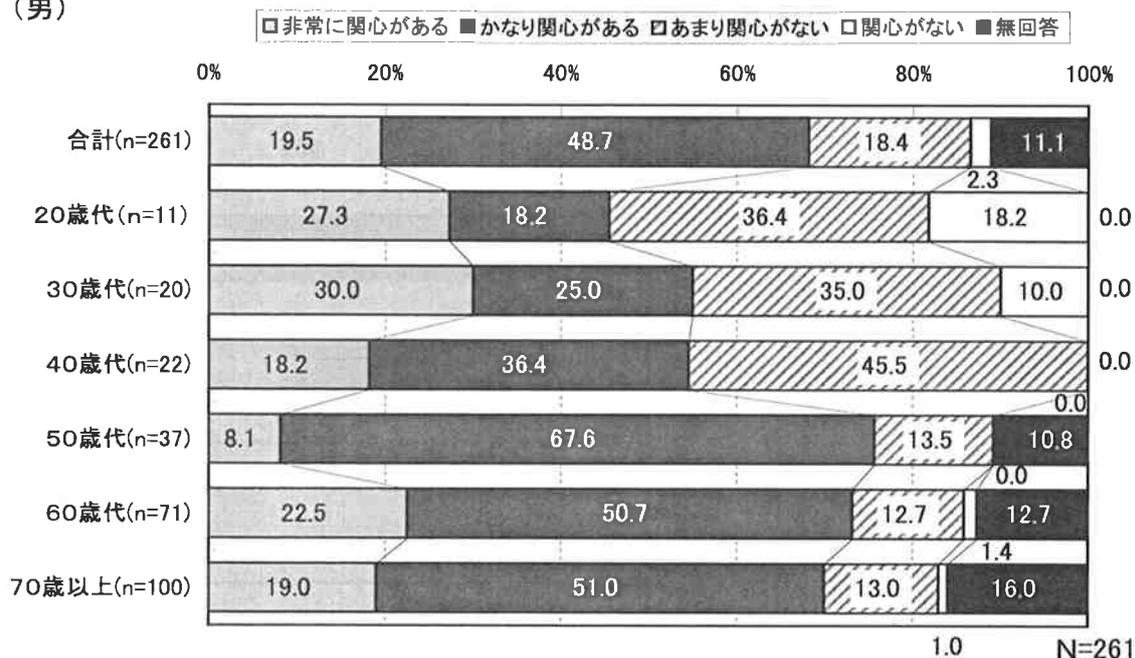
N=524

障がい者に関する人権問題に関心をもっているかについてたずねたところ、「非常に関心がある」16.2%、「かなり関心がある」48.6%、「あまり関心がない」21.6%、「関心がない」1.6%となっています。

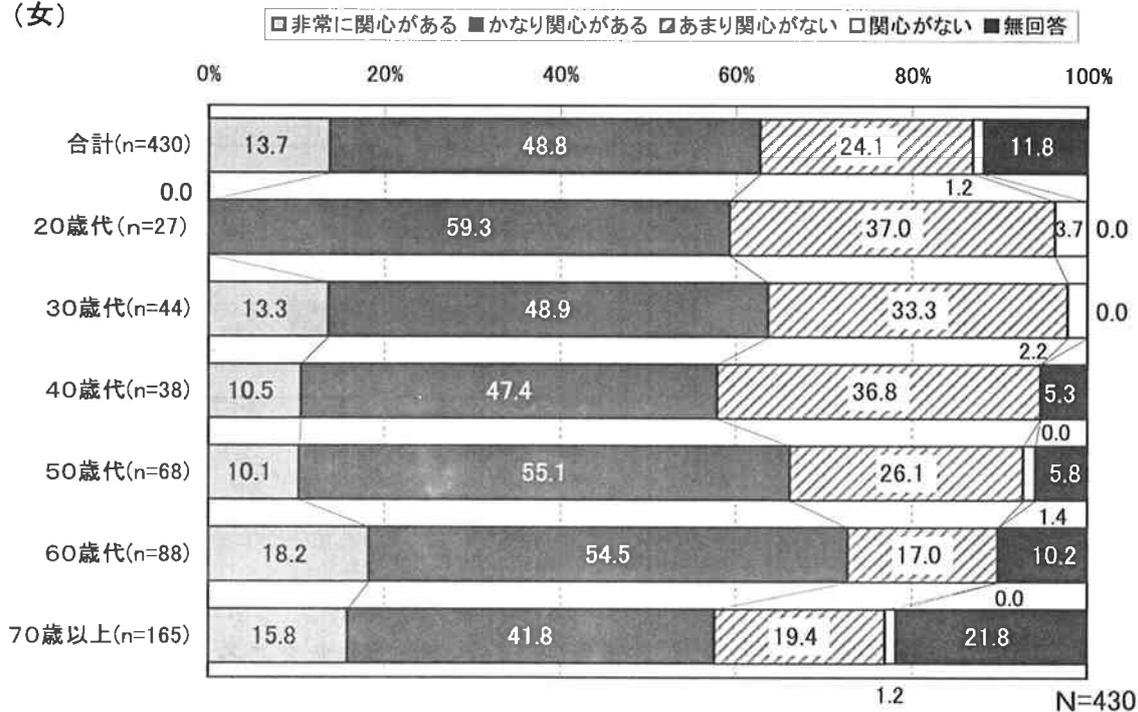
前回（平成19年）調査に比べると、「非常に関心がある」又は「かなり関心がある」と回答した人の割合は12.3%減少し、「あまり関心がない」又は「関心がない」と回答した人の割合は3.5%増加しています。

問15 障がい者に関する人権問題に関心をもっていますか

(男)



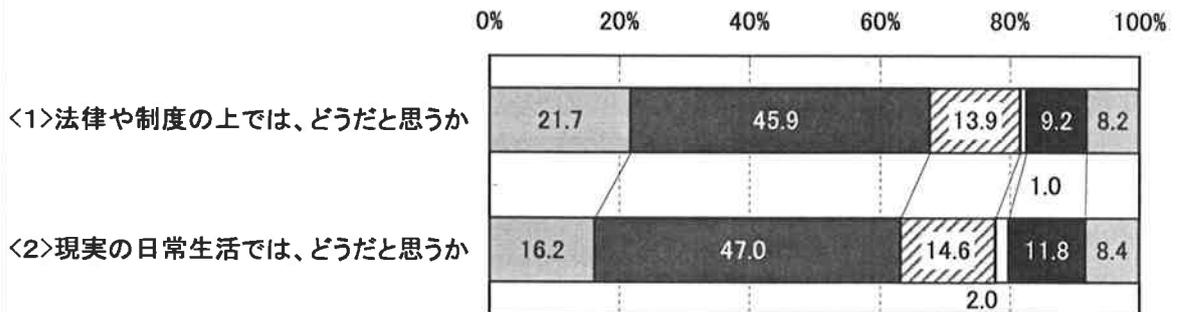
(女)



障がい者に関する人権問題に関心をもっているかについて男女別にみところ、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は、男性68.2%に対し、女性62.5%となっています。男性では、50歳代が75.7%、女性では、60歳代が72.7%と高くなっています。

問16 今の障がい者の人権が保障されていると思いますか

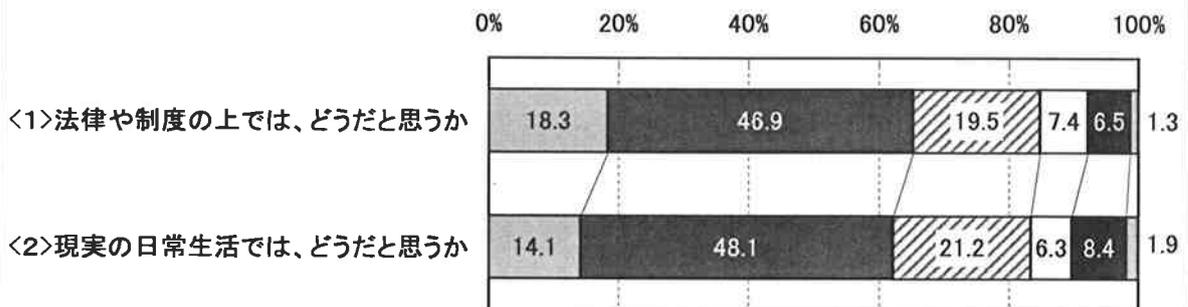
- 保障されていると思う
- まあ保障されていると思う
- ▨ あまり保障されていないと思う
- 保障されていないと思う
- わからない
- 無回答



N=704

<H19年調査>

- 保障されていると思う
- まあ保障されていると思う
- ▨ あまり保障されていないと思う
- 保障されていないと思う
- わからない
- 無回答



N=524

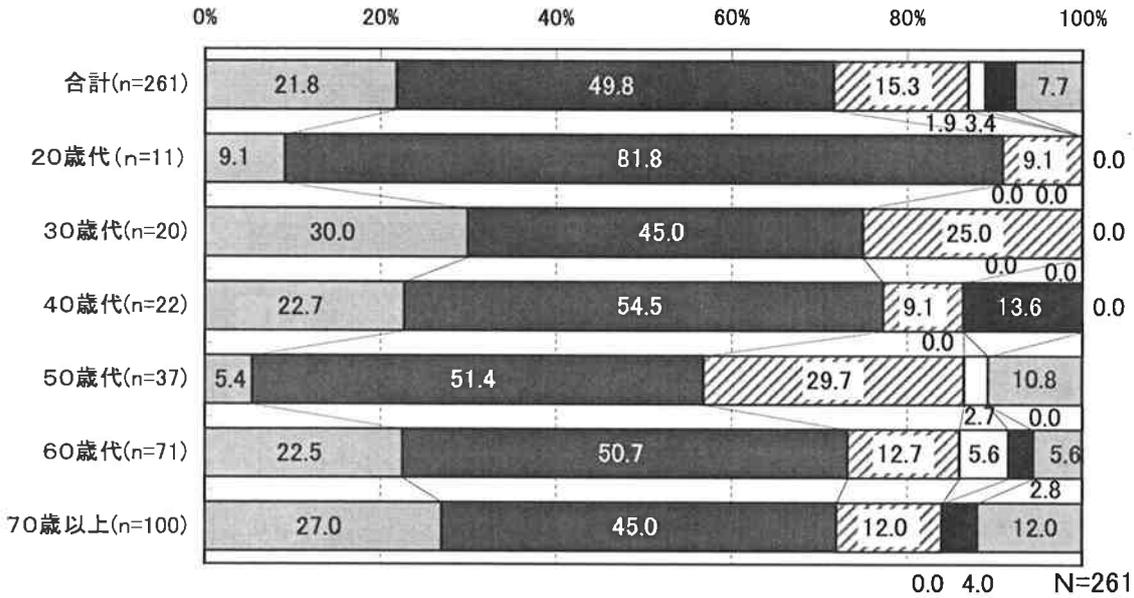
今の障がい者の人権が保障されていると思うかについてたずねたところ、「保障されていると思う」と回答した人の割合は、「法律や制度の上」では21.7%に対し、「現実の日常生活」では16.2%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると、「保障されていると思う」又は「まあ保障されていると思う」と回答した人の割合は、「法律や制度の上」では2.4%、「現実の日常生活」では1.0%増加しています。

問16<1> 法律や制度の上で、今の障がい者の人権が保障されていると思いますか

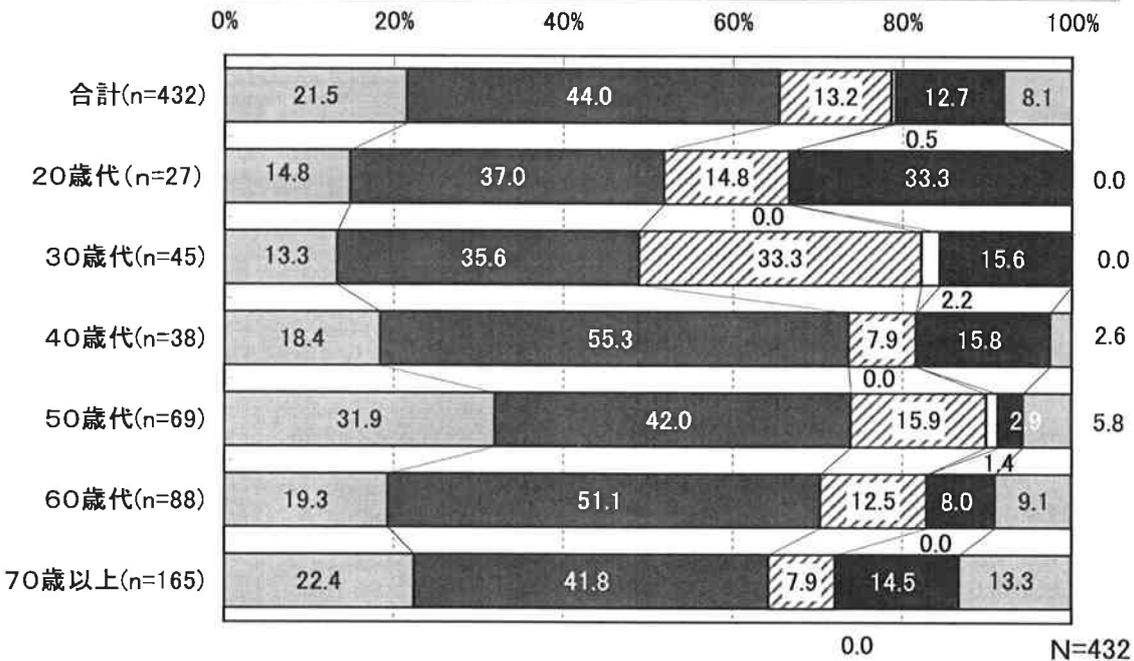
(男)

□ 保障されていると思う ■ まあ保障されていると思う ▨ あまり保障されていないと思う
 □ 保障されていないと思う ■ わからない □ 無回答



(女)

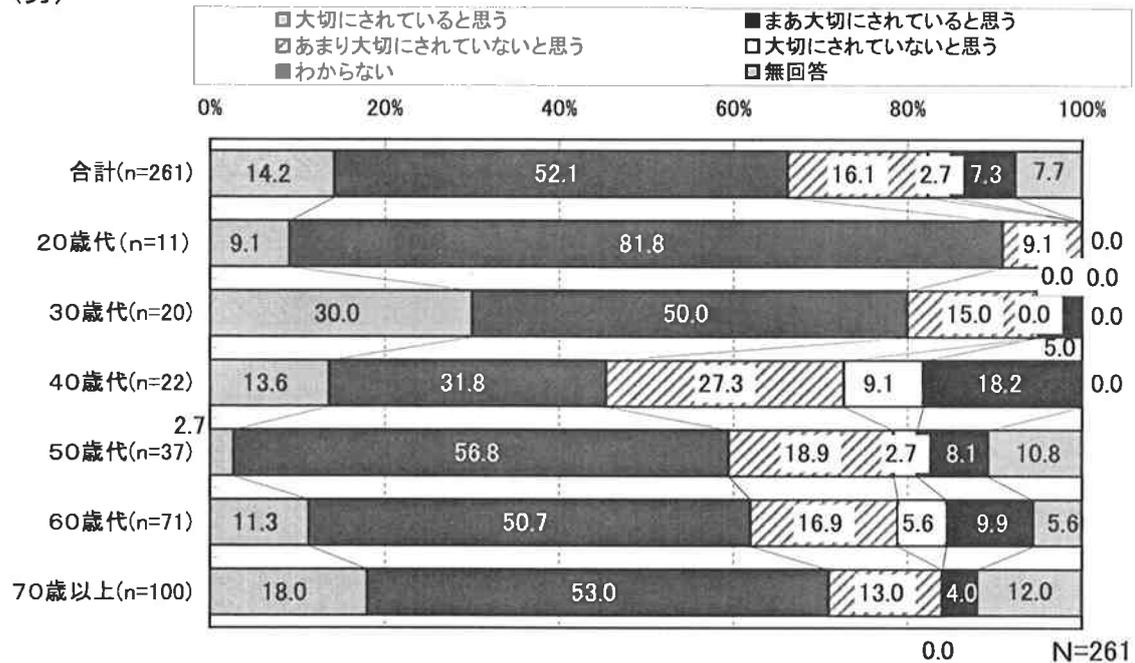
□ 保障されていると思う ■ まあ保障されていると思う ▨ あまり保障されていないと思う
 □ 保障されていないと思う ■ わからない □ 無回答



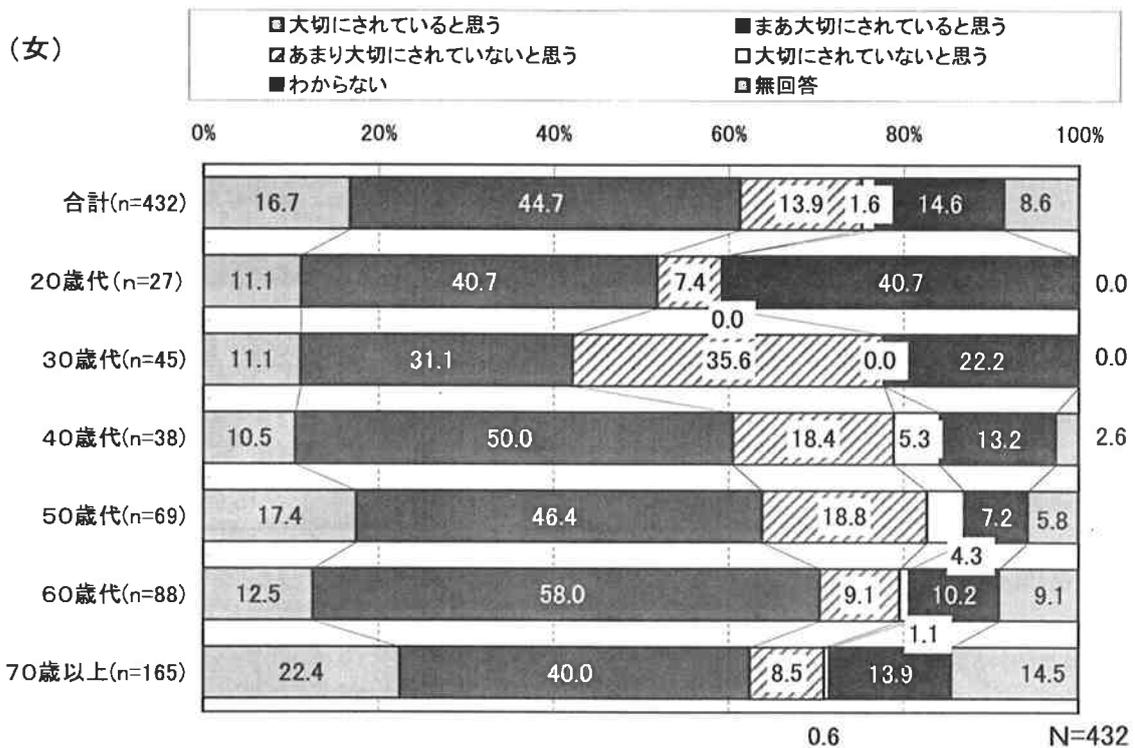
法律や制度の上で今の障がい者の人権が保障されていると思うかについて男女別にみたところ、「保障されていると思う」又は「まあ保障されていると思う」と回答した人の割合は、男性71.6%に対し、女性65.5%となっています。男性では、20歳代が90.9%、女性では、50歳代が73.9%と高くなっています。

問16<2> 現実の日常生活で、今の障がい者の人権が保障されていると思いますか

(男)

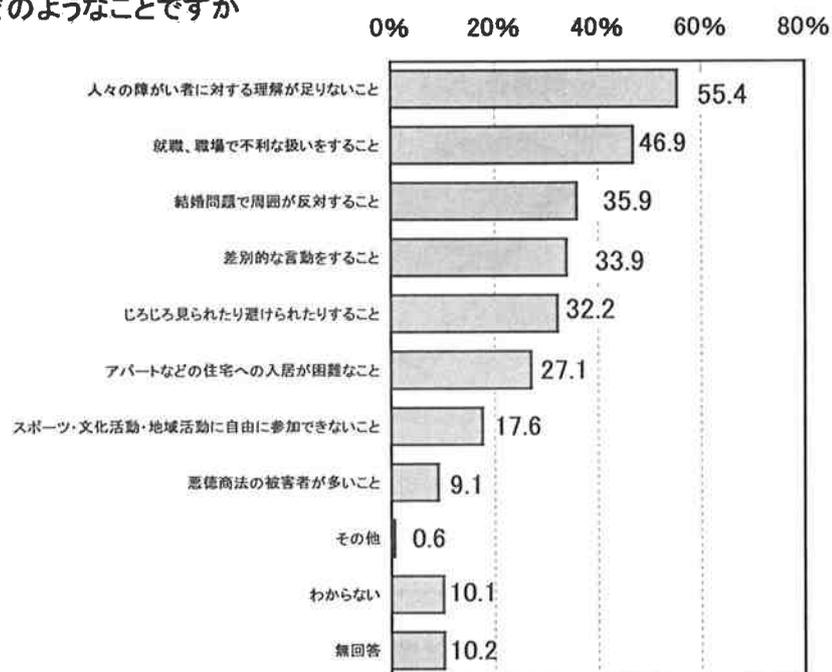


(女)



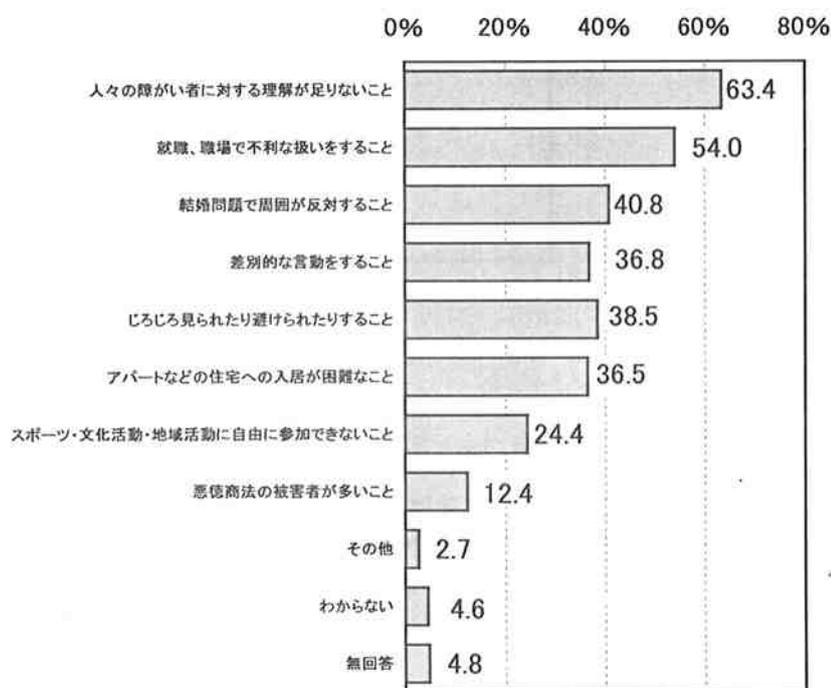
現実の日常生活で今の障がい者の人権が保障されていると思うかについて男女別にみたところ、「大切にされていると思う」又は「まあ大切にされていると思う」と回答した人の割合は、男性66.3%に対し、女性61.4%となっています。男性では、20歳代が90.9%、女性では、60歳代が70.5%と高くなっています。

問17 障がい者の人権上、問題があると思われるのは
どのようなことですか



N=703

<H19年調査>

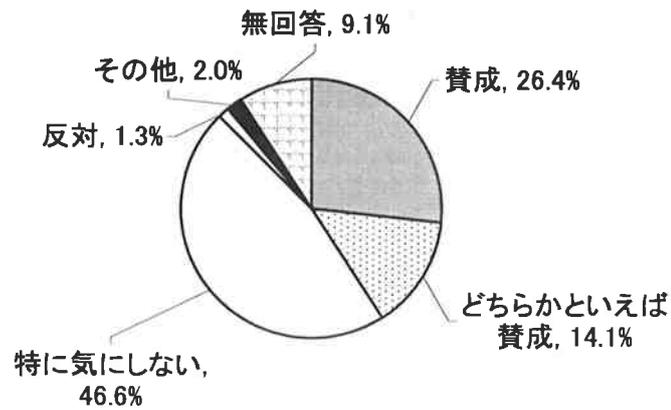


N=524

障がい者の人権上、問題があると思われることについてたずねたところ、「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」と回答した人の割合が55.4%と最も高く、「就職、職場で不利な扱いをすること」46.9%、「結婚問題で周囲が反対すること」35.9%と続いています。

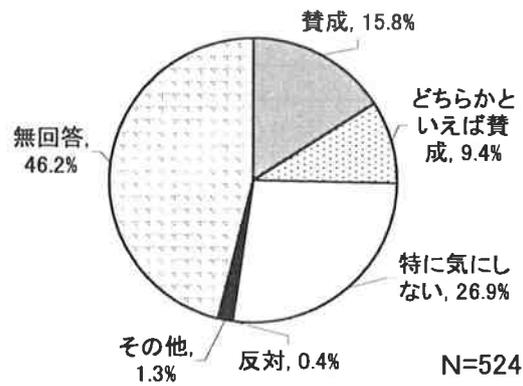
前回（平成19年）調査に比べると、全体的に減少しています。

問18 もし、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか



N=700

<H19年調査>



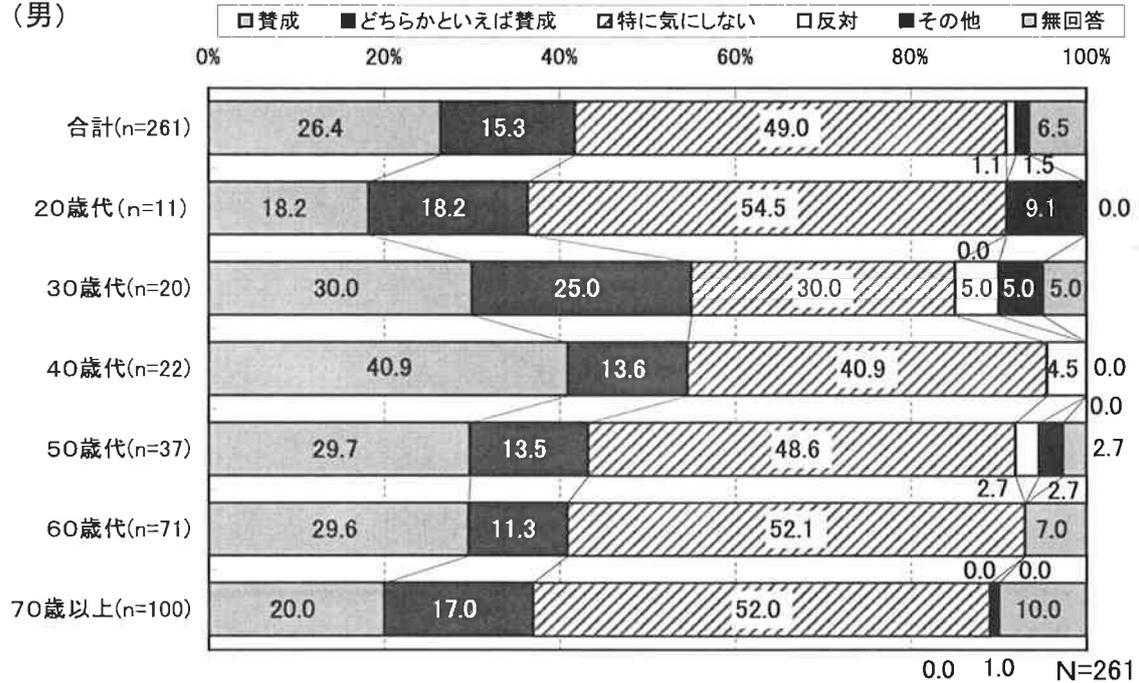
N=524

職場で障がい者と一緒に働くとしたらどのように思うかについてたずねたところ、「賛成」26.4%、「どちらかといえば賛成」14.1%、「特に気にしない」46.6%、「反対」1.3%となっています。

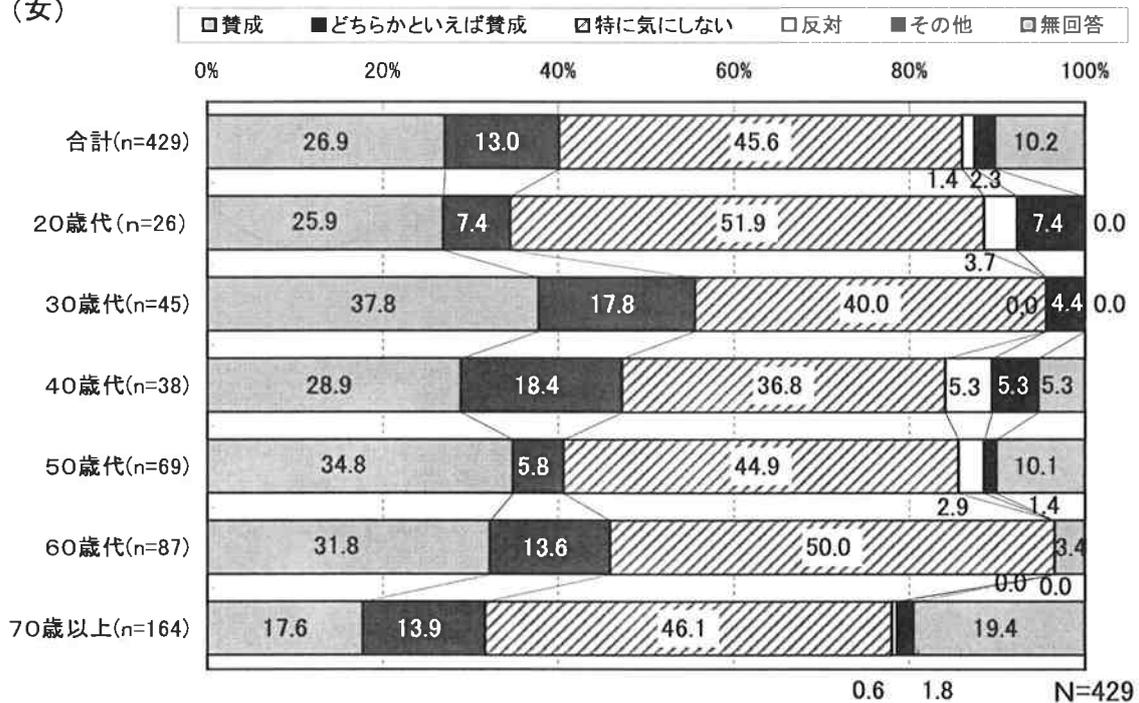
前回（平成19年）調査に比べると、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は15.3%、「特に気にしない」は19.7%増加しています。

問18 職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか

(男)

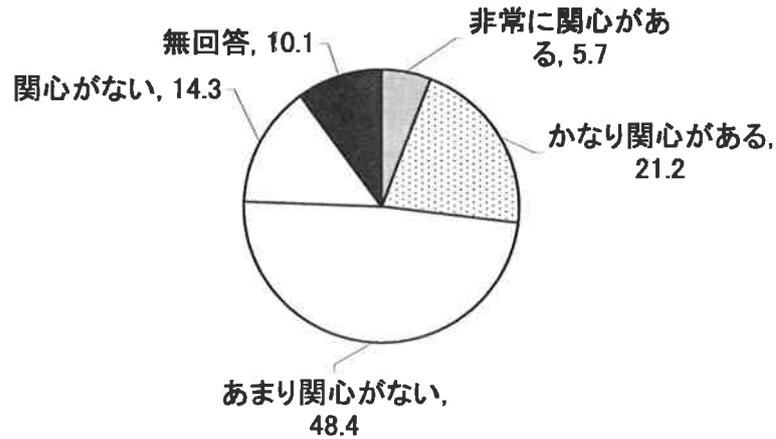


(女)



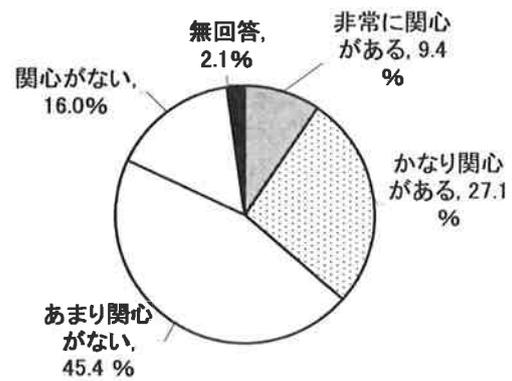
職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思うかについて男女別にたずねたところ、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は、男性41.7%に対し、女性39.9%となっています。男女共に30歳代が男性55.0%、女性55.6%と高くなっています。

問19 同和問題(部落差別問題)に関心をもっていますか



N=702

<H19年調査>



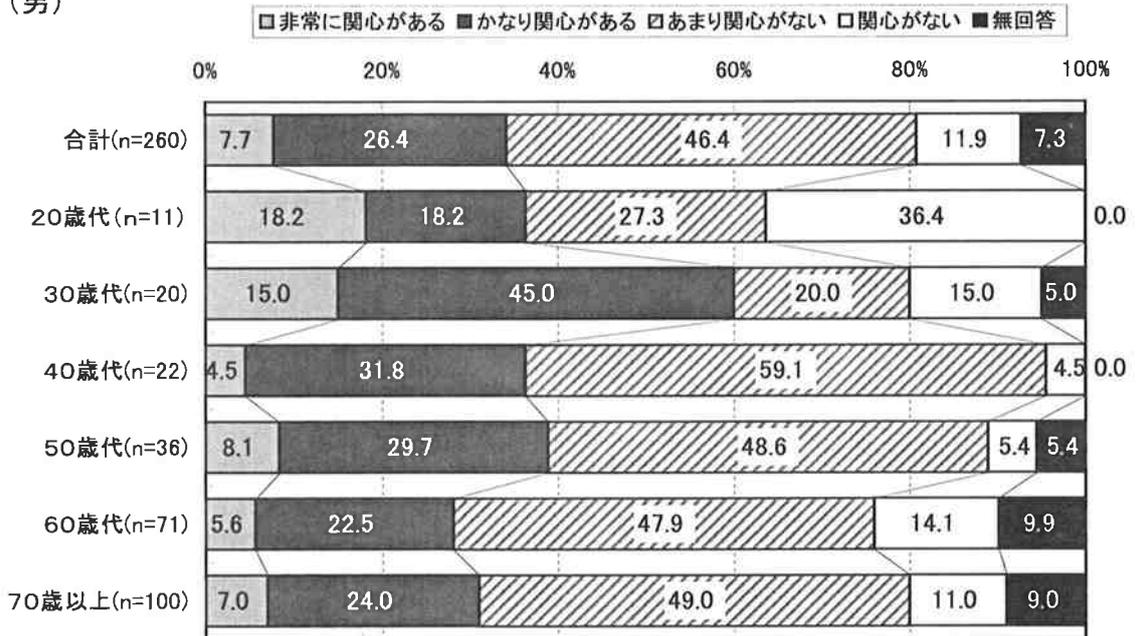
N=524

同和問題（部落差別問題）に関心をもっているかについてたずねたところ、「非常に関心がある」5.7%、「かなり関心がある」21.2%、「あまり関心がない」48.4%、「関心がない」14.3%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると、「非常に関心がある」又は「かなり関心がある」と回答した人の割合は9.6%減少し、「あまり関心がない」又は「関心がない」と回答した人の割合は1.3%増加しています。

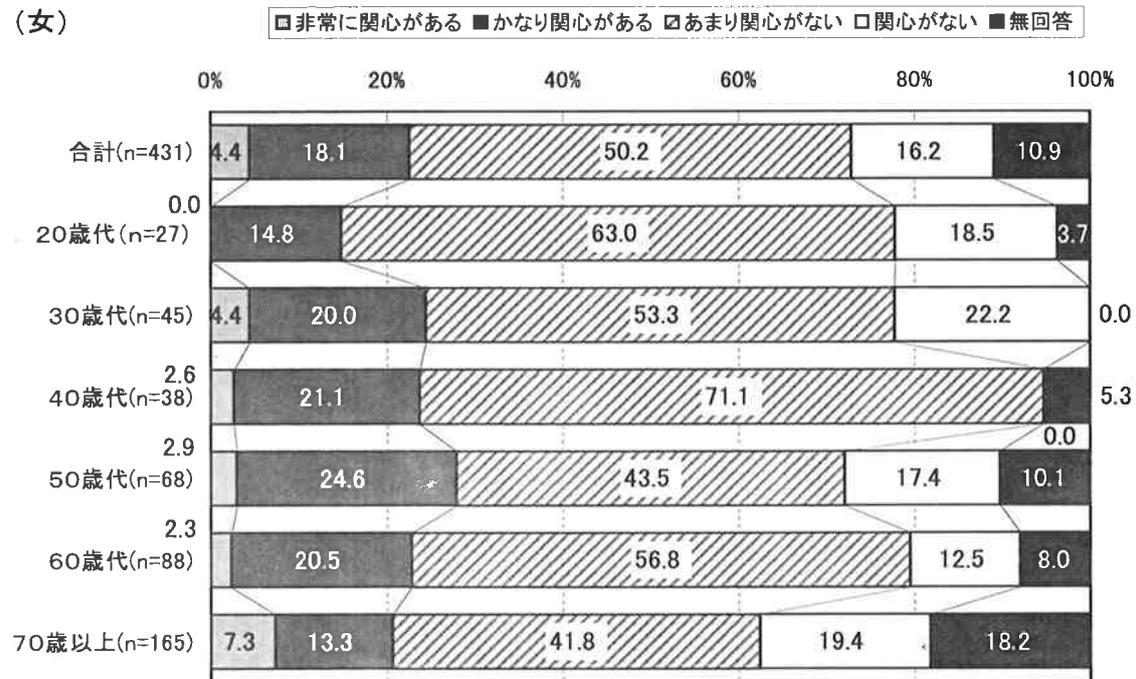
問19 同和問題(部落差別問題)に関心をもっていますか

(男)



N=260

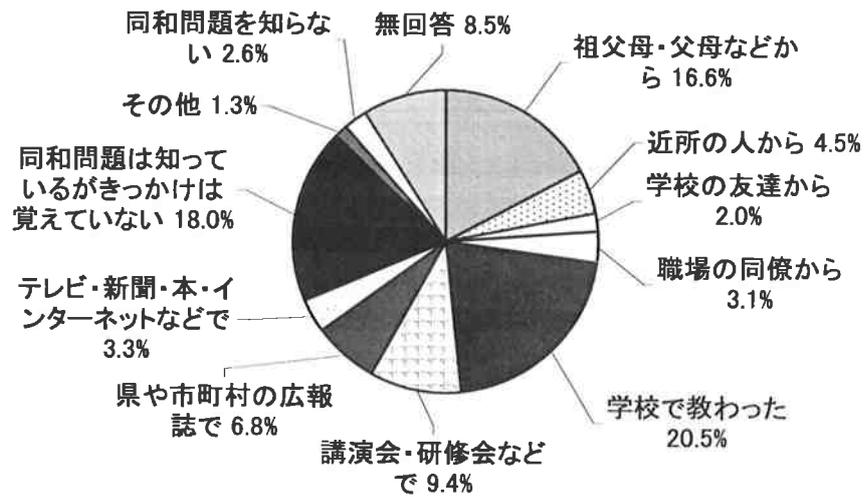
(女)



N=431

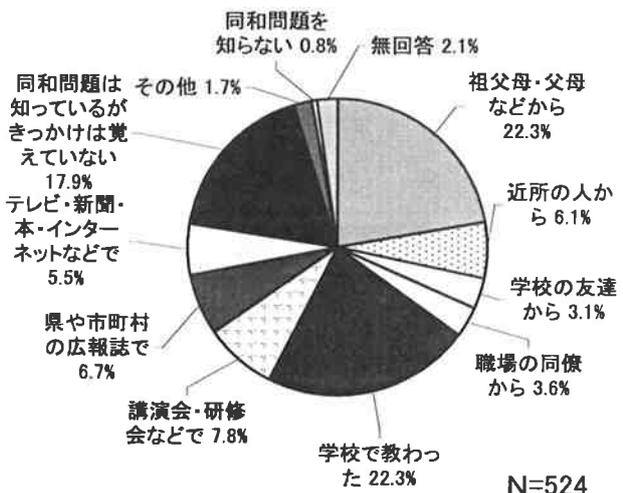
同和問題(部落差別問題)に関心をもっているかについて男女別にみると、「非常に興味がある」又は「かなり興味がある」と回答した人の割合は、男性34.1%に対し、女性22.5%となっています。男性では、30歳代が60.0%、女性では、50歳代が27.5%と高くなっています。

問20 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか



N=680

<H19年調査>



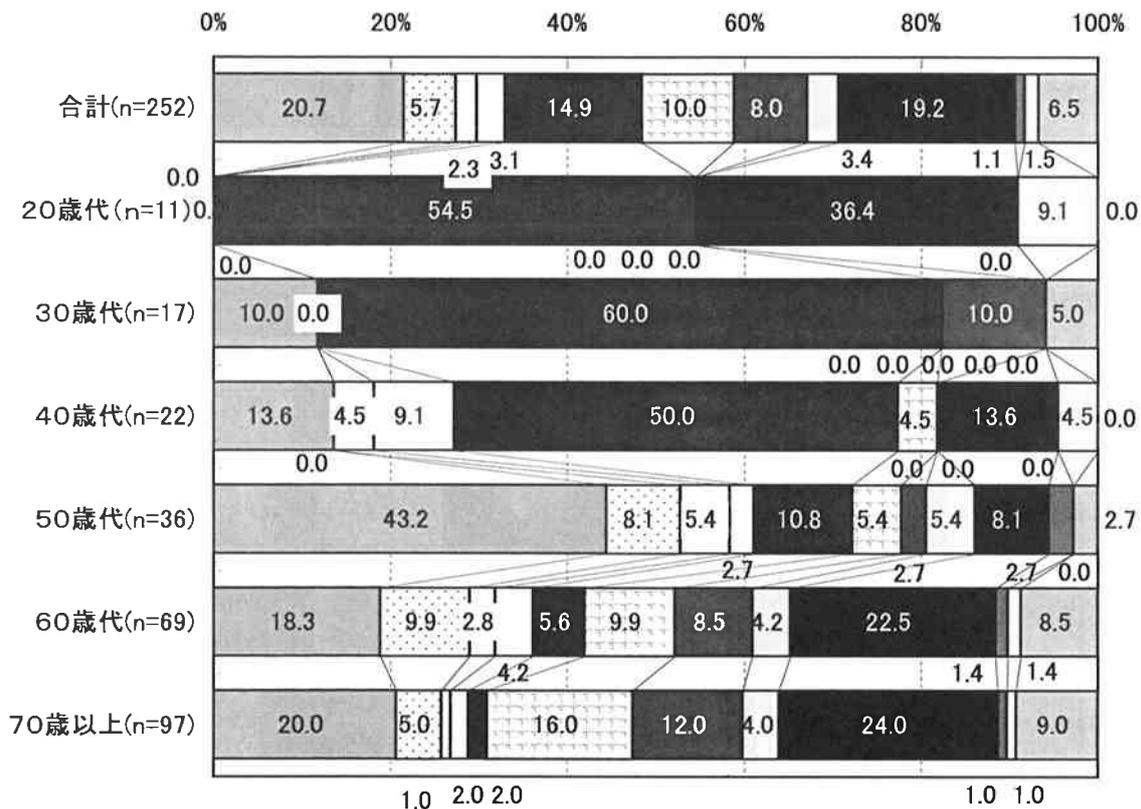
N=524

どのようにして同和問題や被差別部落(同和地区)があることを知ったかについてたずねたところ、「学校で教わった」20.5%、「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」18.0%、「祖父母・父母などから」16.6%の順となっています。前回(平成19年)調査に比べると、無回答が6.4%増加しています。

問20 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか

(男)

- 祖父母・父母などから
- 学校の友達から
- 学校で教わった
- 県や市町村の広報誌で
- 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない
- 同和問題を知らない
- 近所の人から
- 職場の同僚から
- 講演会・研修会などで
- テレビ・新聞・本・インターネットなどで
- その他
- 無回答



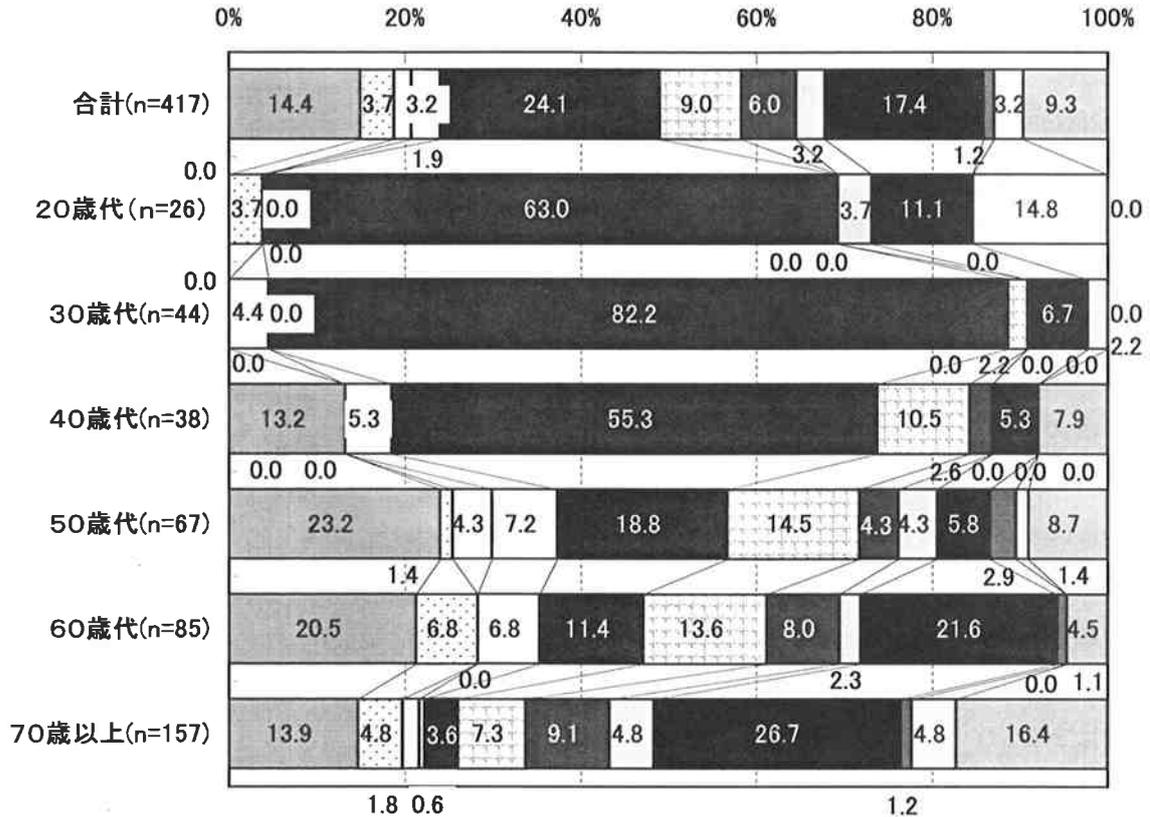
N=252

どのようにして同和問題や被差別部落(同和地区)があることを知ったかについて男女別にみところ、男性は、「祖父母、父母などから」20.7%、「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」19.2%、「学校で教わった」14.9%となっています。40歳代までは、学校で教わったと回答した人の割合が高いのに対して、50歳代は、「祖父母・父母などから」、60歳代以上は「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」と回答した人の割合が高くなっています。

問20 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか

(女)

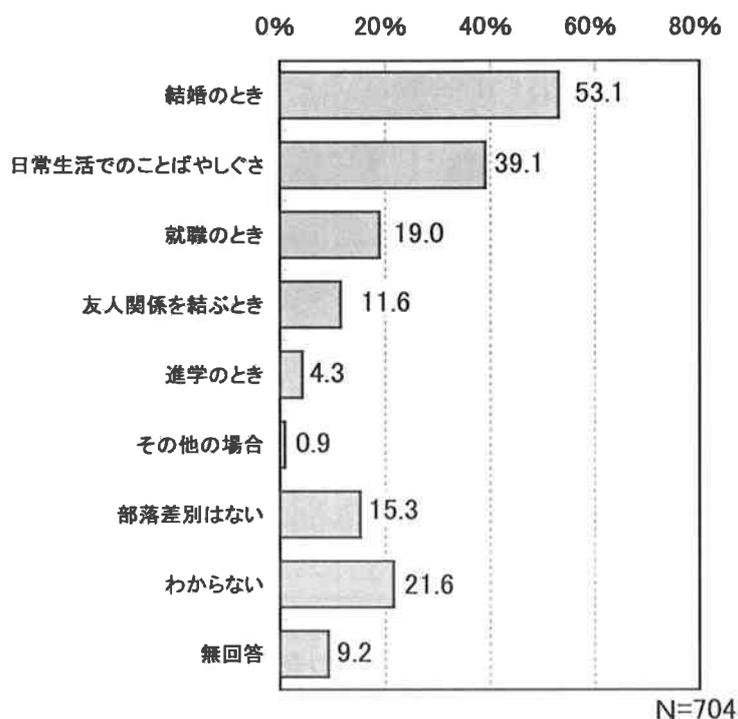
- 祖父母・父母などから
- 学校の友達から
- 学校で教わった
- 県や市町村の広報誌で
- 同和問題は知っているきっかけは覚えていない
- 同和問題を知らない
- 近所の人から
- 職場の同僚から
- 講演会・研修会などで
- テレビ・新聞・本・インターネットなどで
- その他
- 無回答



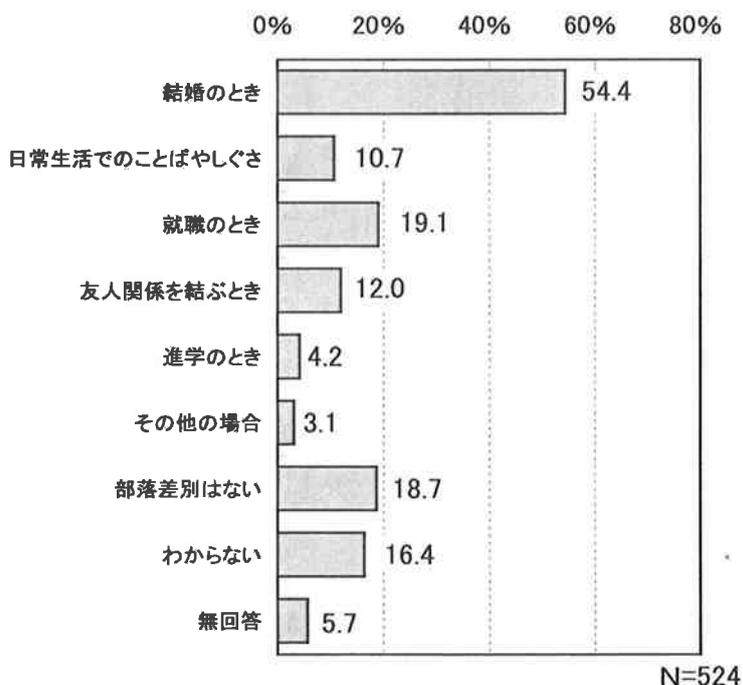
N=417

どのようにして同和問題や被差別部落(同和地区)があることを知ったかについて男女別にみたところ、女性についても年代別にみると男性と同じ傾向にありました。

問21 部落差別(同和問題)が起こっている場面はどのようなときでしょうか



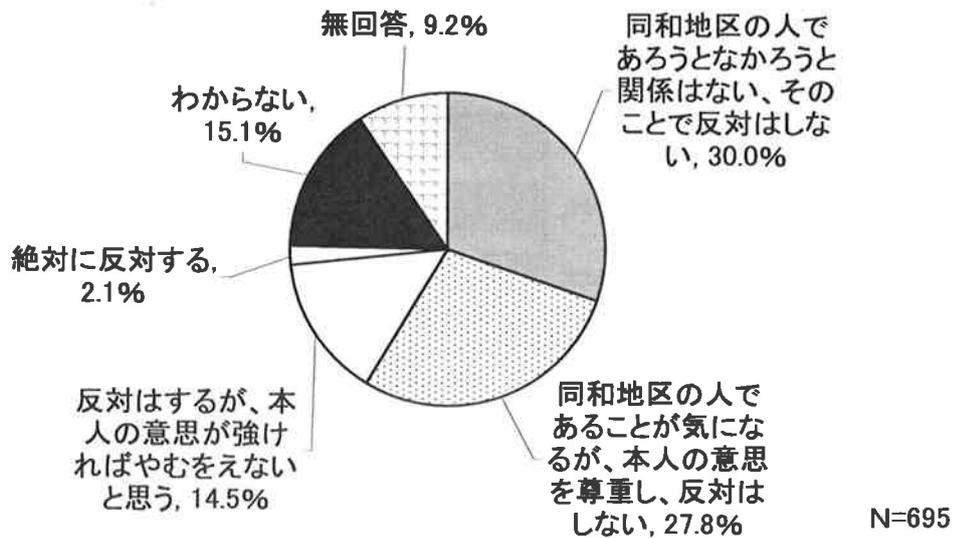
<H19年調査>



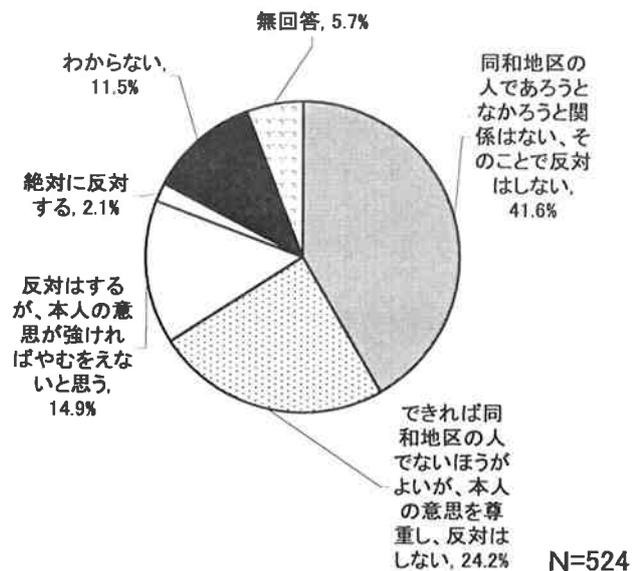
部落差別(同和問題)が起っている場面はどのようなときかについてたずねたところ、「結婚のとき」と回答した人の割合が53.1%と最も高く、「日常生活でのことばやしぐさ」39.1%、「就職のとき」19.0%と続いています。

前回(平成19年)調査に比べると、「日常生活でのことばやしぐさ」と回答した人の割合が大幅に増えています。

問22 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときに
どう考えるでしょうか



<H19年調査>



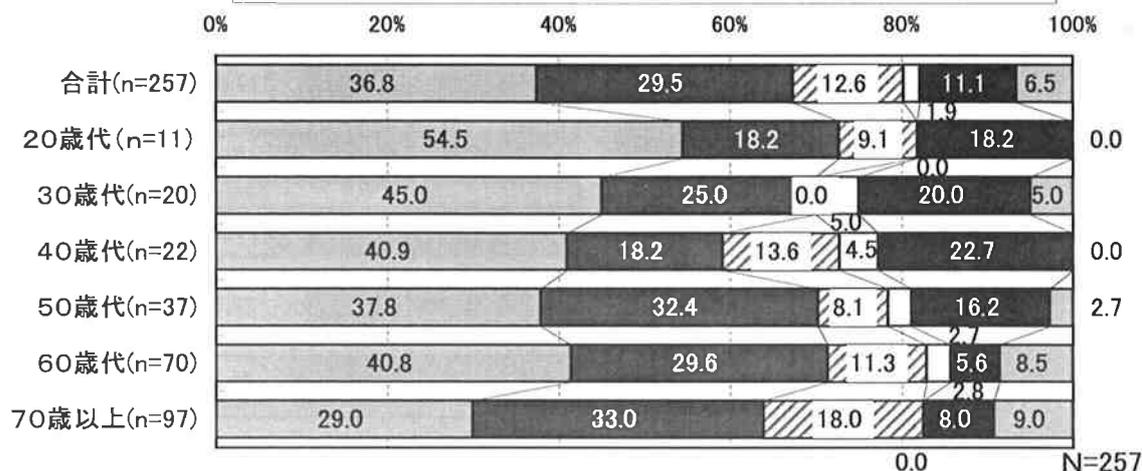
家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるかについてたずねたところ、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」30.0%、「同和地区の人であることが気にはなるが、本人の意思を尊重し、反対はしない」27.8%、「反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う」14.5%、「絶対に反対する」2.1%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合は11.6%減少し、「わからない」又は「無回答」と回答した人の割合は7.1%増加しています。

問22 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったとき、どう考えるでしょうか

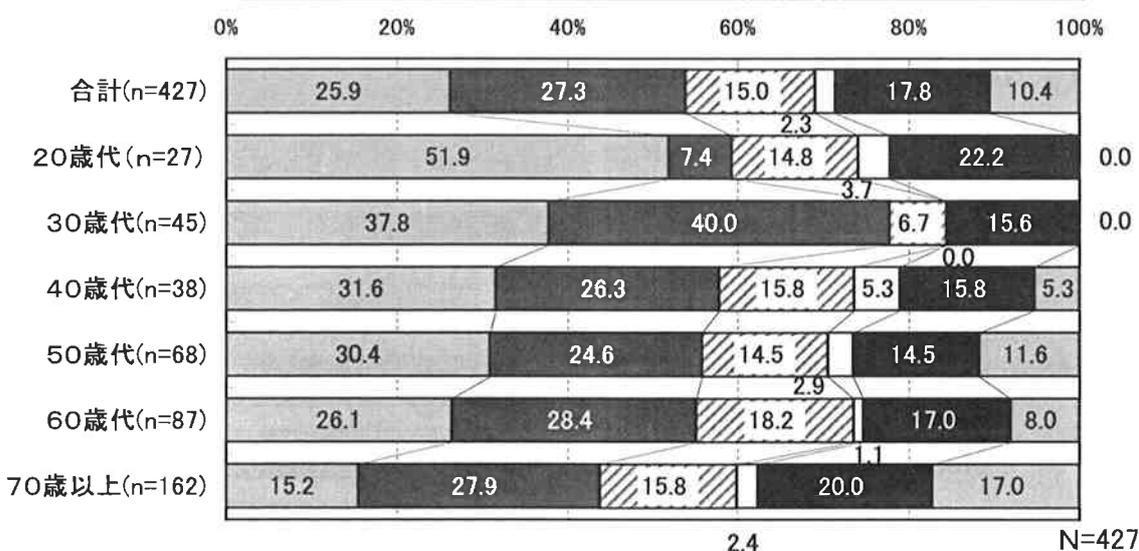
(男)

- 同和地区のひとであらうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない
- 同和地区の人であることが気にはなるが、本人の意思を尊重し、反対はしない
- ▨ 反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う
- 絶対に反対する
- わからない
- 無回答



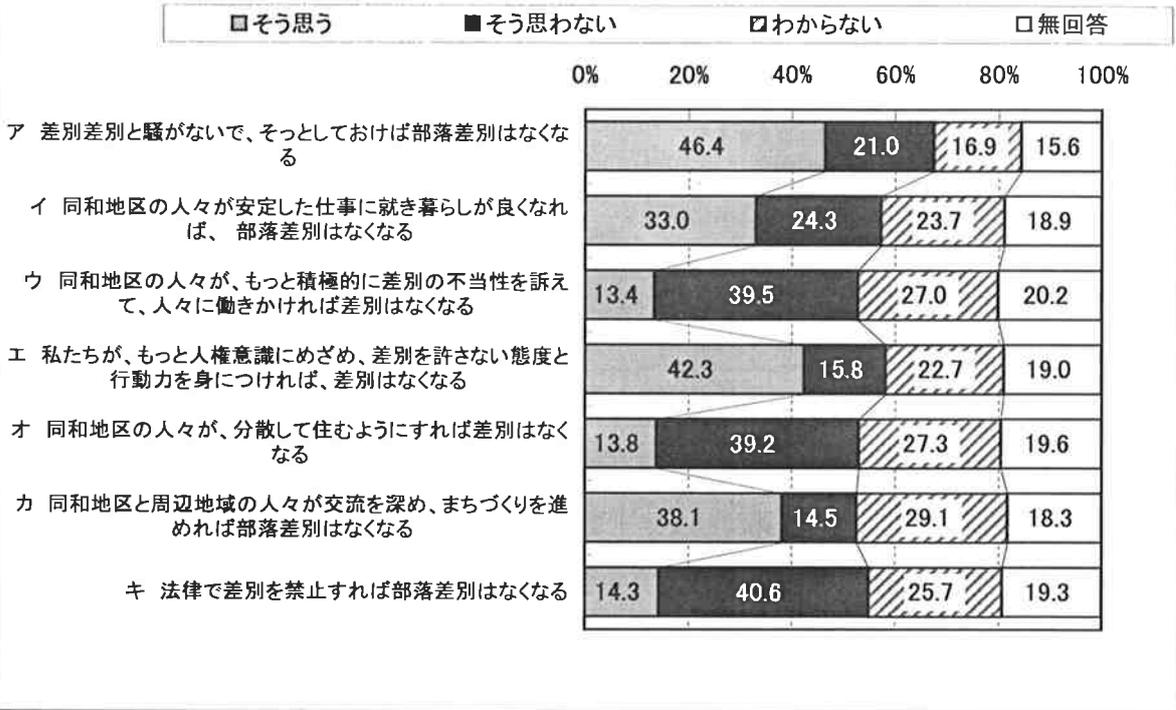
(女)

- 同和地区のひとであらうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない
- 同和地区の人であることが気にはなるが、本人の意思を尊重し、反対はしない
- ▨ 反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う
- 絶対に反対する
- わからない
- 無回答

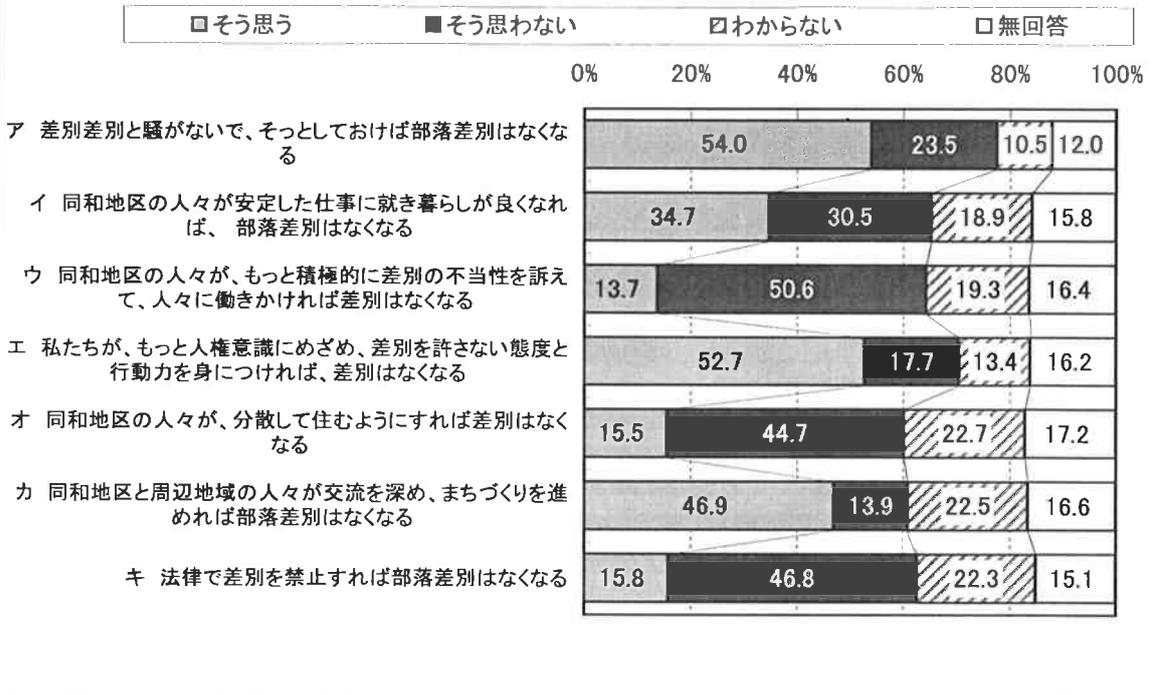


家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったとき、どう考えるかについて男女別にみると、「同和地区の人であらうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合は、男性36.8%に対し、女性25.9%となっています。男女共20歳代が男性54.5%、女性51.9%と高くなっています。

問23 部落差別をなくす方法についての下記意見について、
どう思いますか



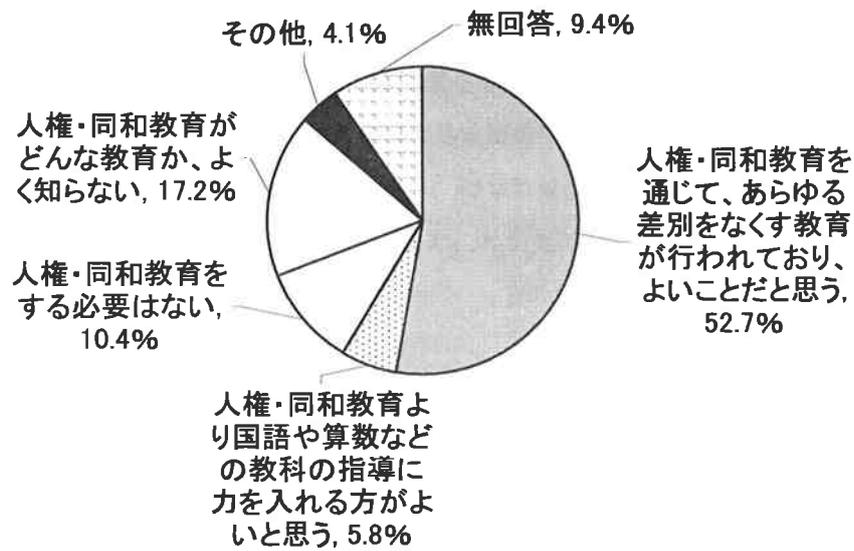
<H19年調査>



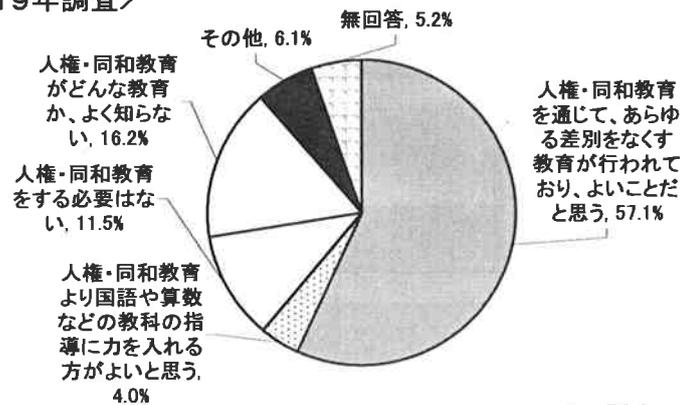
部落差別をなくす方法について意見をたずねたところ、「そう思う」と回答した人の割合は、「ア 差別差別と騒がないで、そっとしておけば部落差別はなくなる」が46.4%と最も高く、「エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる」42.3%と続いています。

前回（平成19年）調査に比べると、各設問とも「わからない」が増加しています。

問24 学校で「人権・同和教育」が行われているが、どのような考えですか



<H19年調査>



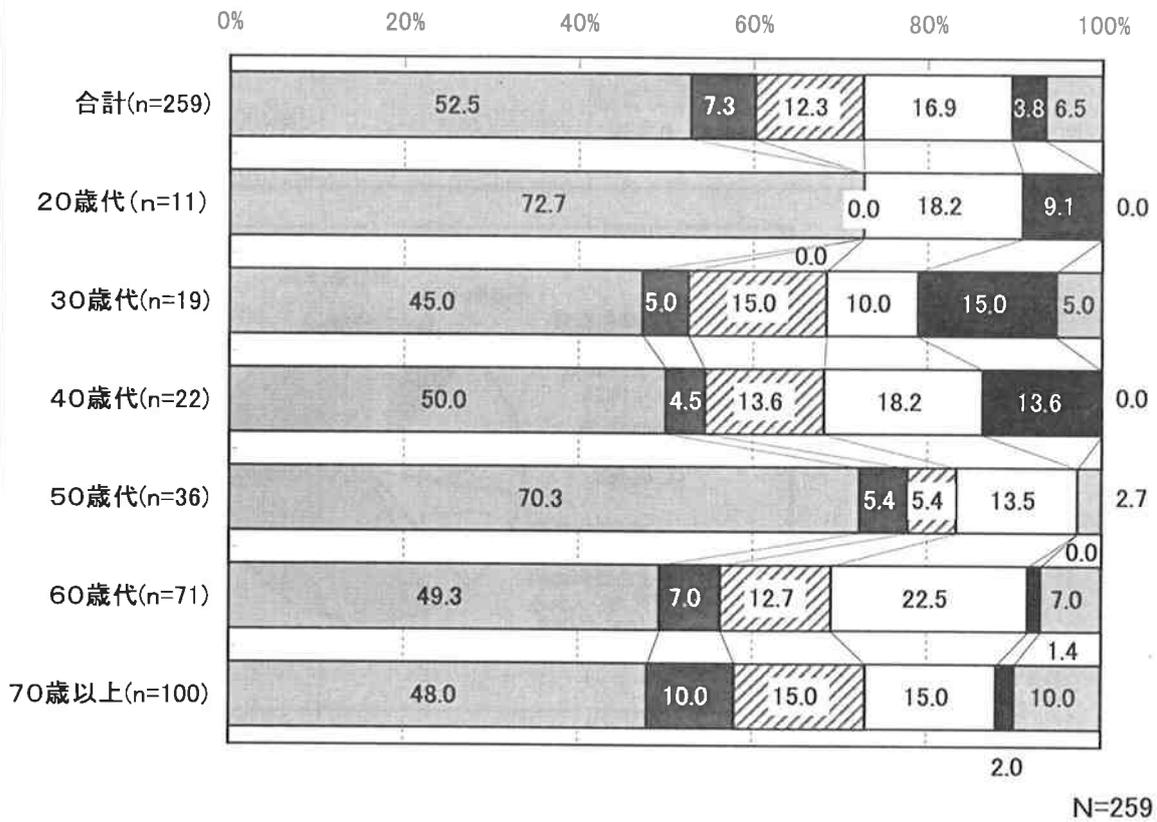
学校で「人権・同和教育」が行われているが、どう考えるかについてたずねたところ、「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」52.7%、「人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う」5.8%、「人権・同和教育を必要はない」10.4%、「人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない」17.2%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると、「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は4.4%減少しています。

問24 学校で「人権・同和教育」が行われているが、どのようなお考えですか

(男)

- 人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う
- 人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う
- ▣ 人権・同和教育をする必要はない
- 人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない
- その他
- 無回答

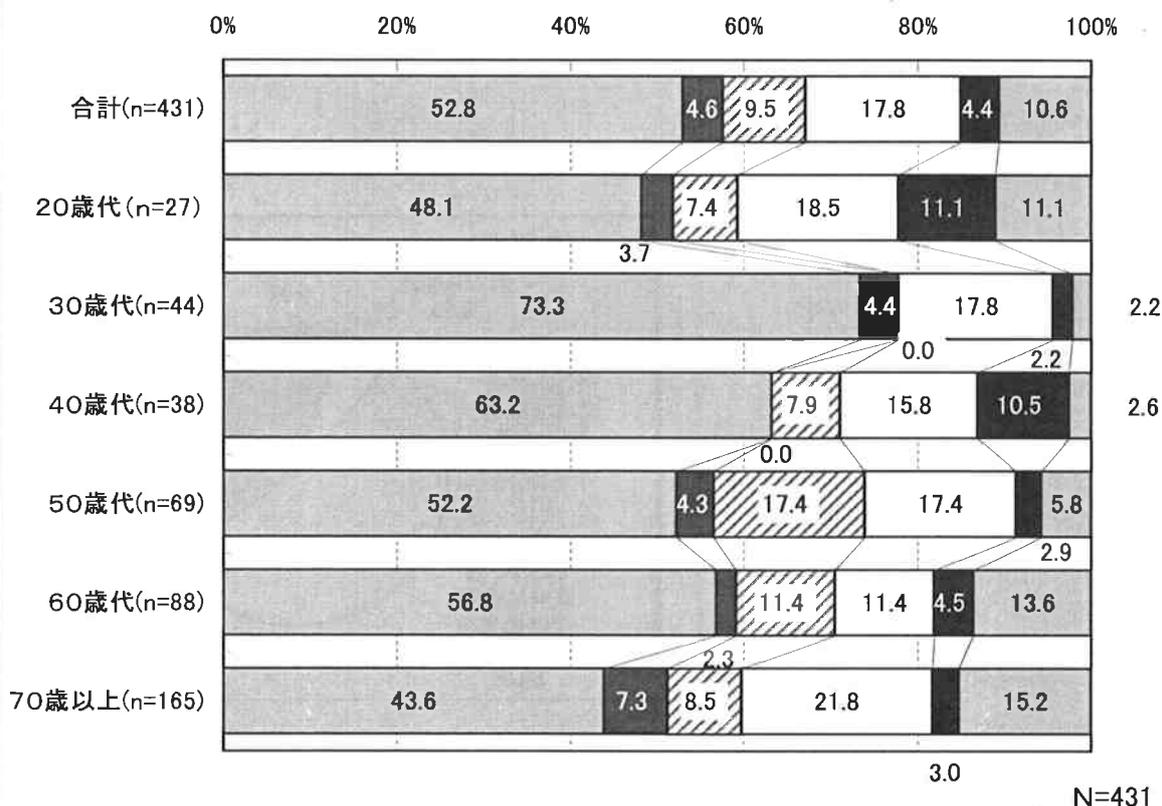


学校で「人権・同和教育」が行われているが、どう考えるかについて男女別にみところ、男性では、「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」52.5%、「人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない」16.9%、「人権・同和教育をする必要はない」12.3%となっています。「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は、20歳代が72.7%と最も高く、50歳代が70.3%と続いています。30歳代が45.0%と最も低くなっています。

問24 学校で「人権・同和教育」が行われているが、どのような
お考えですか

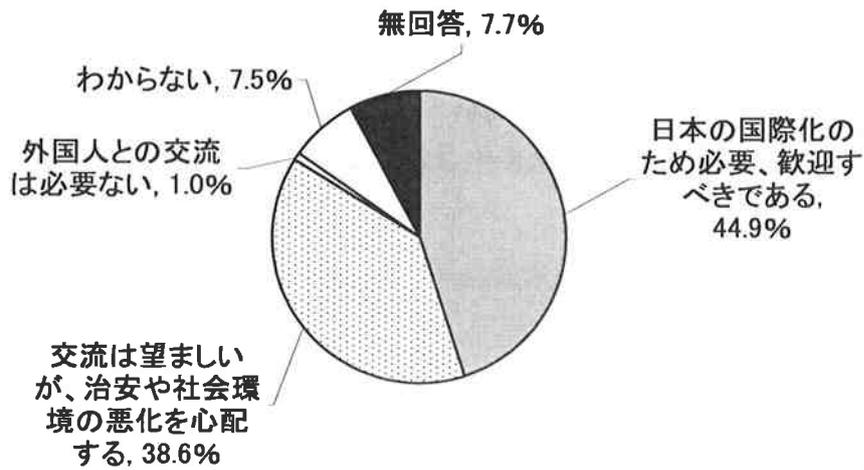
(女)

- 人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う
- 人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う
- ▨ 人権・同和教育をする必要はない
- 人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない
- その他
- 無回答



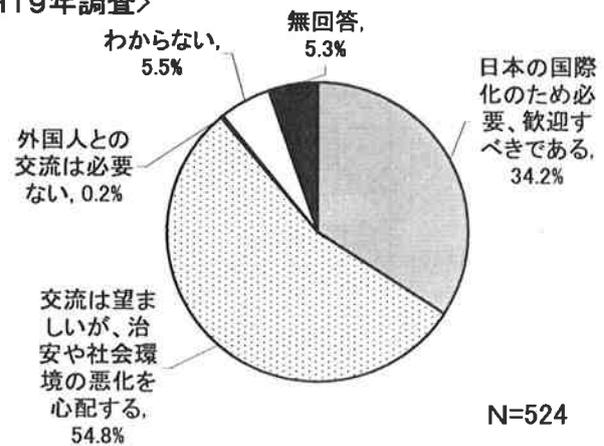
学校で「人権・同和教育」が行われているが、どう考えるかについて男女別にみたところ、女性では、「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」52.8%、「人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない」17.8%、「人権・同和教育をする必要はない」9.5%となっています。「人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は、30歳代が73.3%と最も高く、40歳代63.2%と続いています。70歳以上が43.6%と最も低くなっています。

問25 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることをどう思いますか



N=702

<H19年調査>

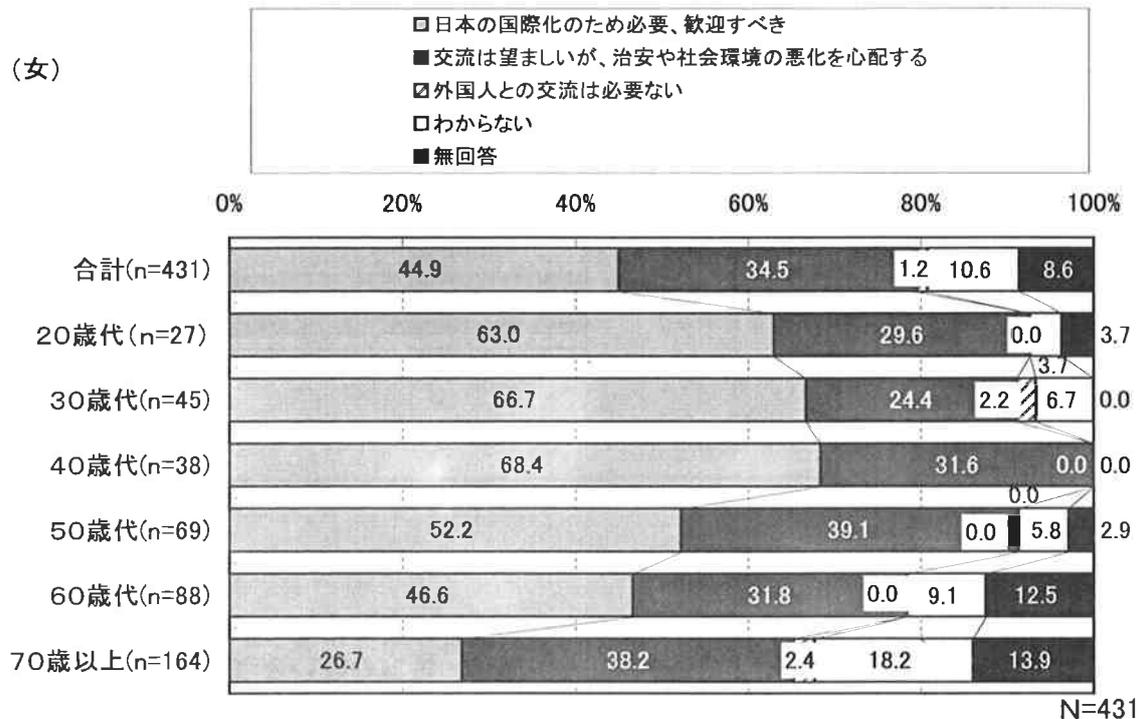
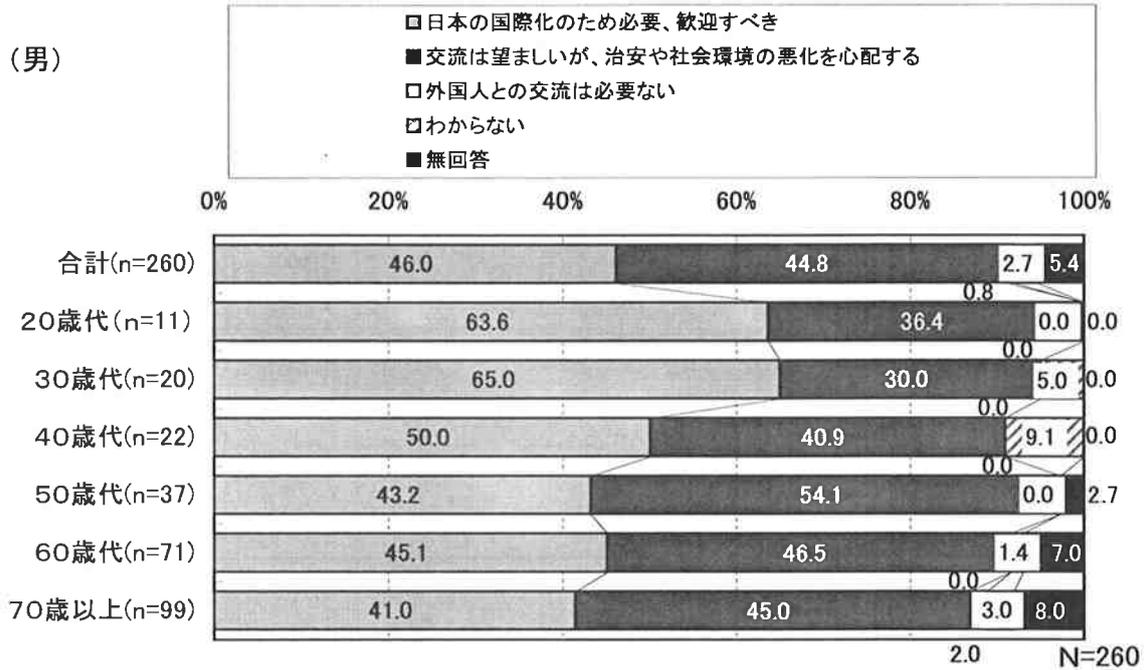


N=524

日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることをどう思うかについてたずねたところ、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」44.9%、「交流は望ましいが治安や社会環境の悪化を心配する」38.6%、「外国人との交流は必要ない」1.0%となっています。

前回（平成19年度）調査に比べると、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」と回答した人の割合は10.7%増加し、「交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する」は16.2%減少しています。

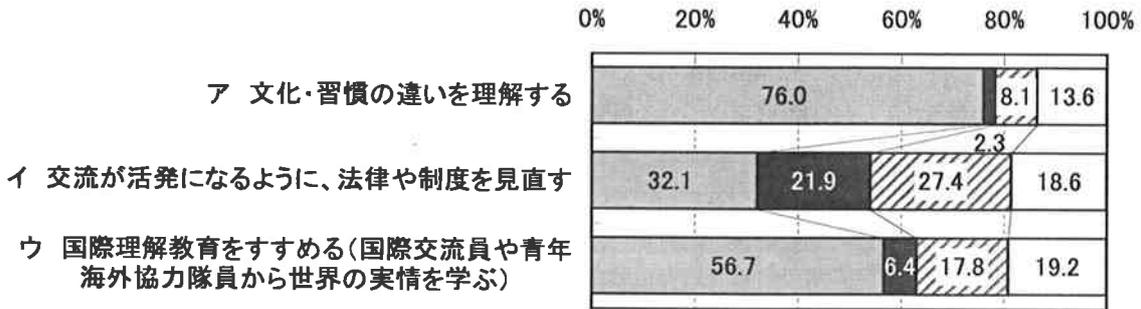
問25 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますか



日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることをどう思うかについて男女別にみたところ、「日本が国際化のため必要、歓迎すべき」と回答した人の割合は、男性46.0%に対し、女性44.9%となっています。男性では、30歳代が65.0%、女性では、40歳代が68.4%と高くなっています。

問26 日本に住む外国人の人権を守るための意見について、どのように
 思いますか

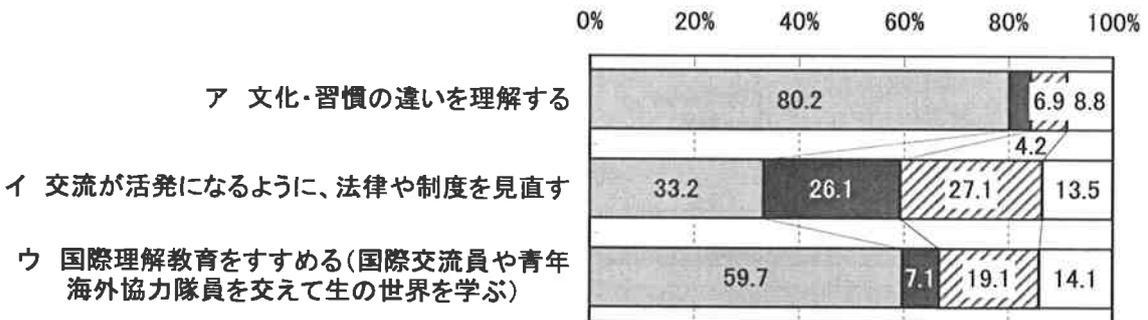
■ そう思う ■ そう思わない ▨ わからない □ 無回答



N=704

<H19年調査>

□ そう思う ■ そう思わない ▨ わからない □ 無回答

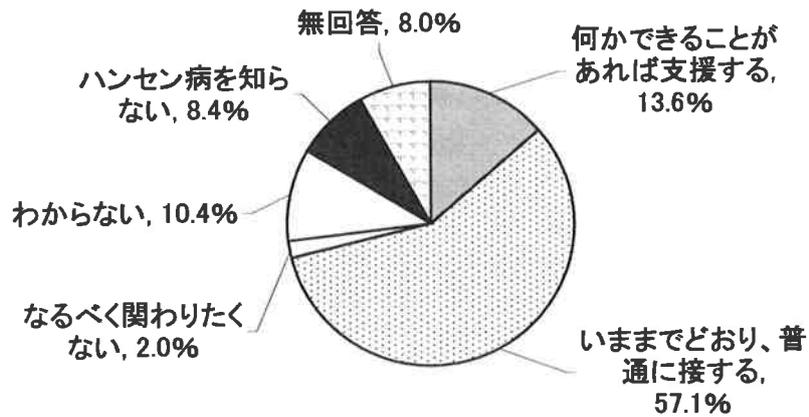


N=524

日本に住む外国人の人権を守るための意見についてどのように思うかたずねたところ、「そう思う」と回答した人の割合は、「ア 文化・習慣の違いを理解する」では76.0%、「イ 交流が活発になるように法律や制度を見直す」が32.1%、「ウ 国際理解教育をすすめる」が56.7%となっています。

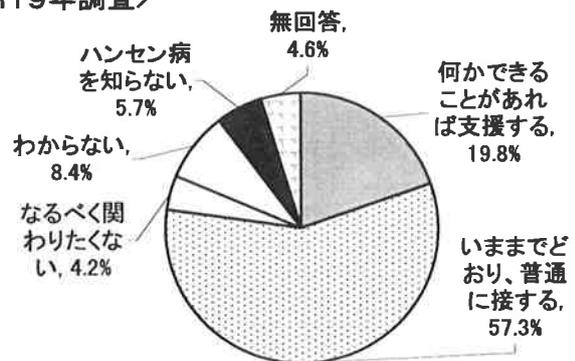
前回（平成19年）調査と比べると、「そう思う」と回答した人の割合が「ア 文化・習慣の違いを理解する」では4.2%、「イ 交流が活発になるように、法律や制度を見直す」では1.1%、「ウ 国際理解教育をすすめる（国際交流員や青年海外協力隊員から世界の实情を学ぶ）」では3.0%減少しています。

問27 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、
あなたはどうしますか



N=700

<H19年調査>



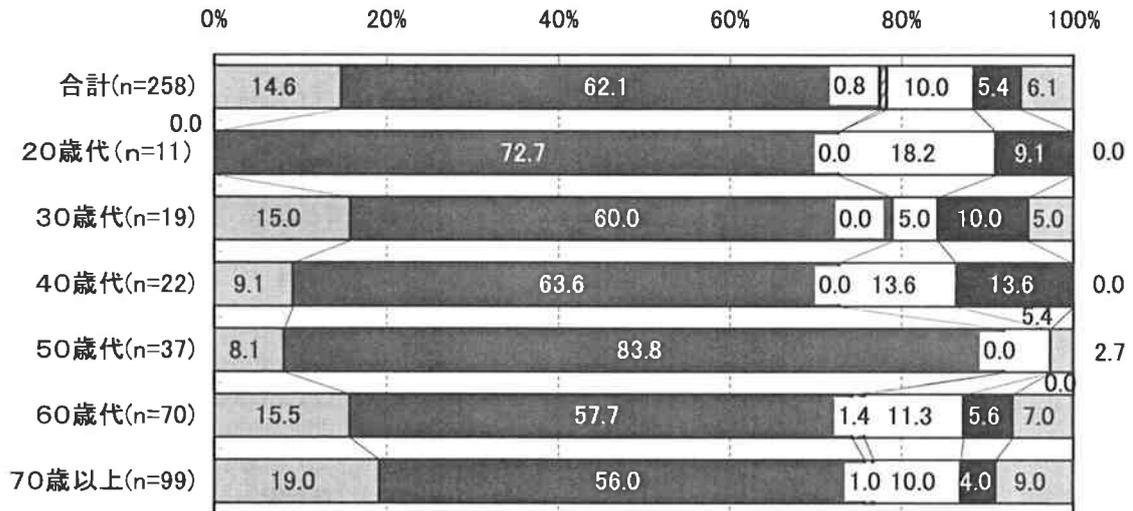
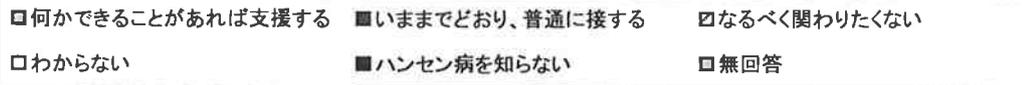
N=524

職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったらどうするかについてたずねたところ、「何かできることがあれば支援する」13.6%、「いままでどおり、普通に接する」57.1%、「なるべく関わりたくない」2.0%、「わからない」10.4%、「ハンセン病を知らない」8.4%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は6.2%減少しています。

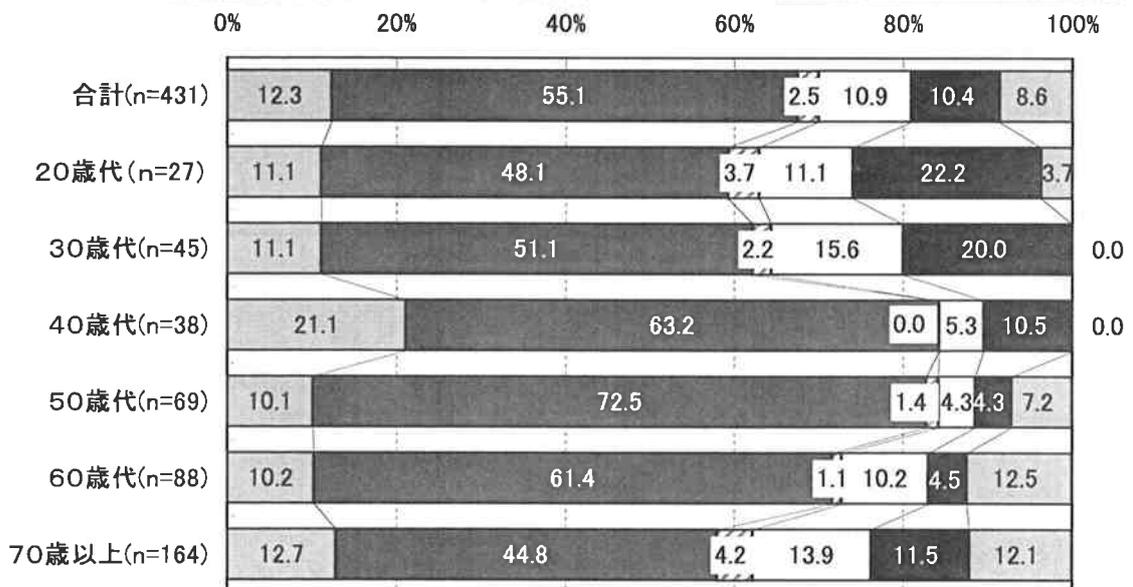
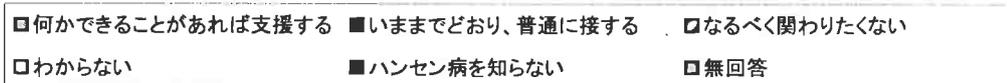
問27 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたは
どうしますか

(男)



N=258

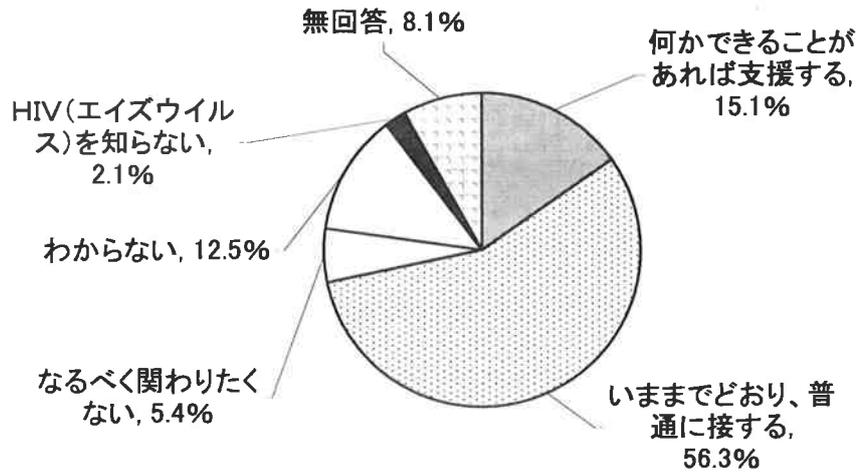
(女)



N=431

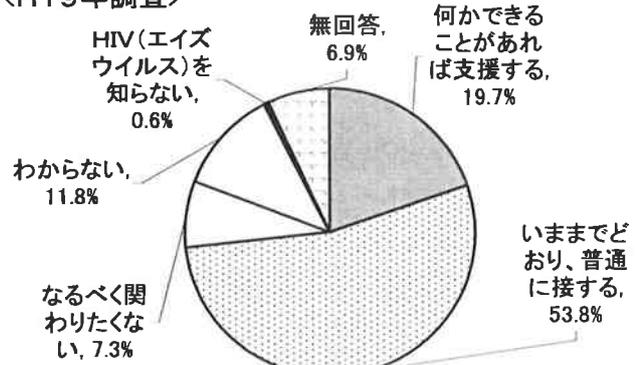
職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったらどうするかについて男女別にみたところ、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は、男性14.6%に対し、女性12.3%となっています。男性では、70歳以上が19.0%、女性では、40歳代が21.1%と高くなっています。

問28 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか



N=700

<H19年調査>

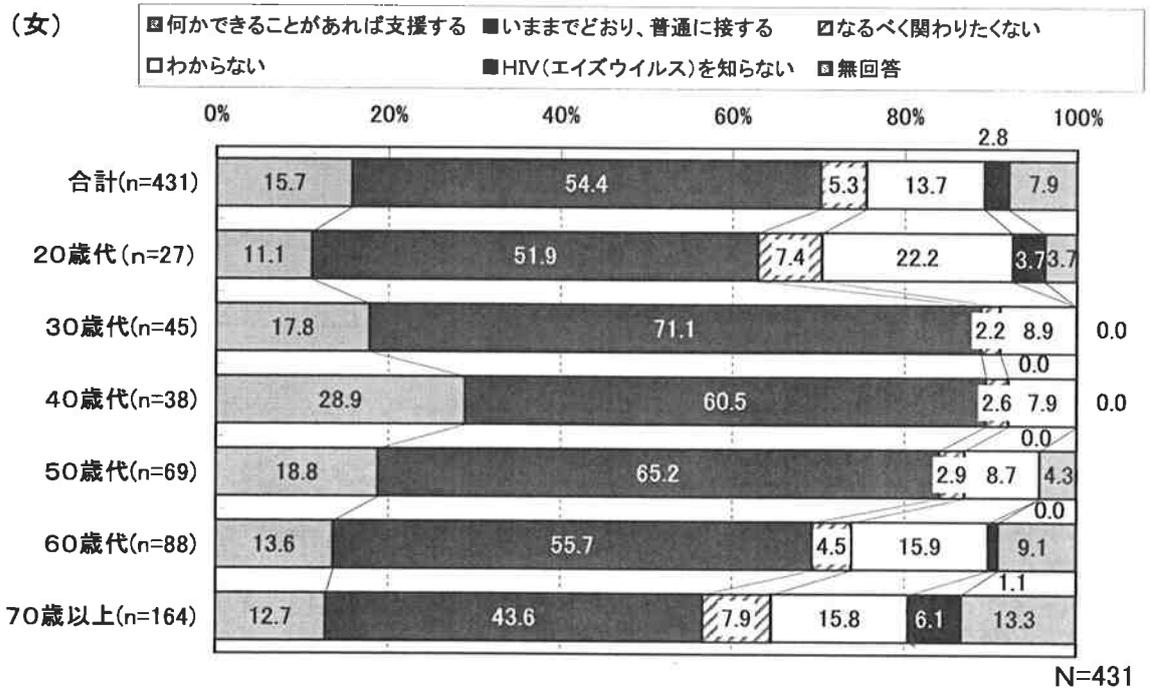
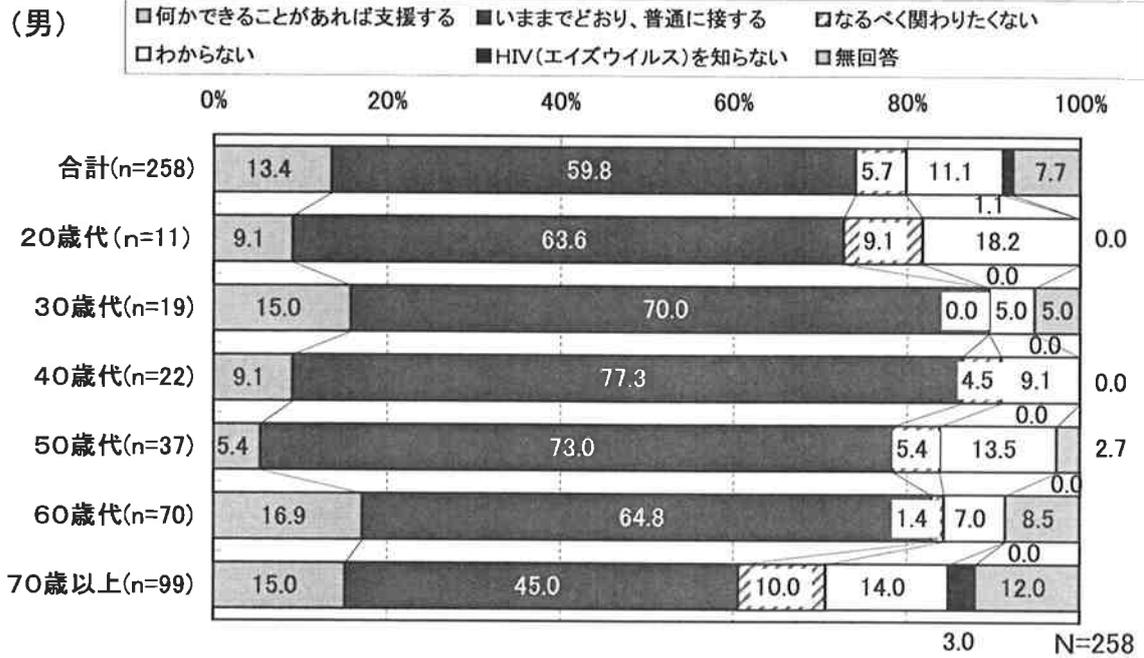


N=524

友人がHIV感染者と知った場合、どんな接し方をするかについてたずねたところ、「何かできることがあれば支援する」15.1%、「いままでどおり、普通に接する」56.3%、「なるべく関わりたくない」5.4%、「わからない」12.5%、「HIVを知らない」2.1%となっています。

前回（平成19年）調査に比べると「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は4.6%低くなっています。

問28 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか

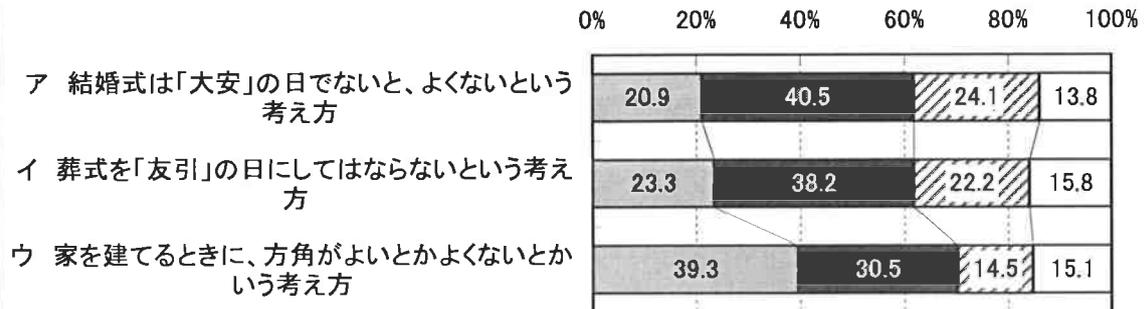


友人がHIV感染者と知った場合、どんな接し方をするかについて男女別にたずねたところ、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は、男性13.4%に対し、女性15.7%となっています。

男性では60歳代が16.9%、女性では40歳代が28.9%と高くなっています。

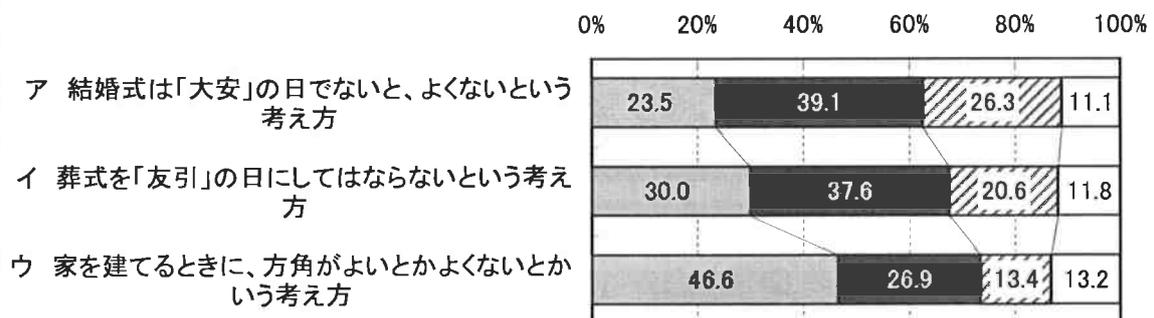
問29 日本に古くからある言い伝えや考え方についてのあなたの考え方についておたずねします

□この考え方は正しいと思う ■おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 □この考え方は間違っていると思う □無回答



<H19年調査>

□この考え方は正しいと思う ■おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 □この考え方は間違っていると思う □無回答



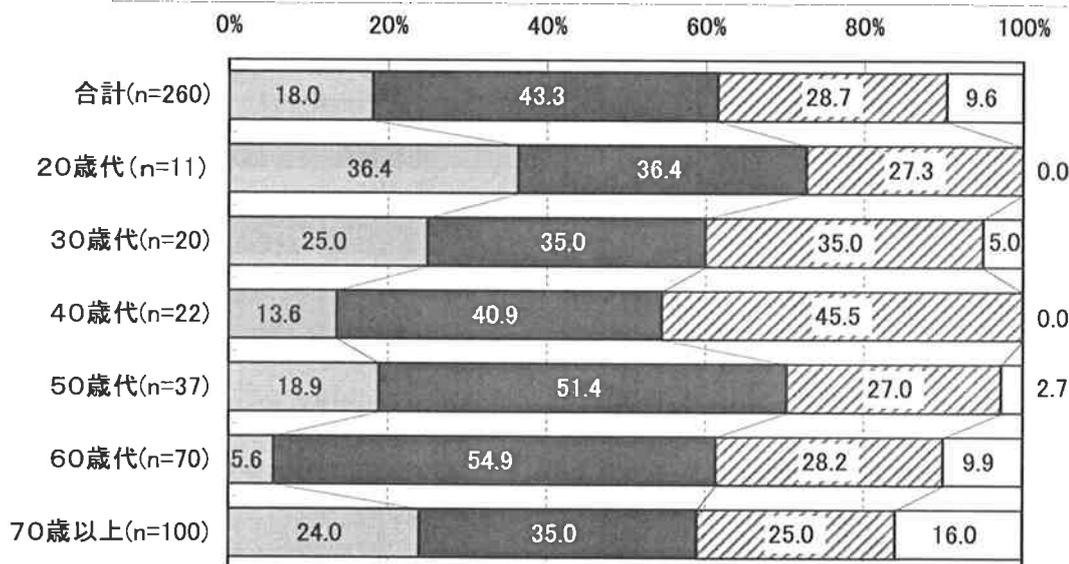
日本に古くからある言い伝えや考え方についてたずねたところ、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は、「ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方」では20.9%、「イ 葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方」23.3%、「ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方」39.3%となっています。

前回（平成19年）調査と比べると、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は、「ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方」では2.6%、「イ 葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方」では6.7%、「ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方」では7.3%減少しています。

問29ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方

(男)

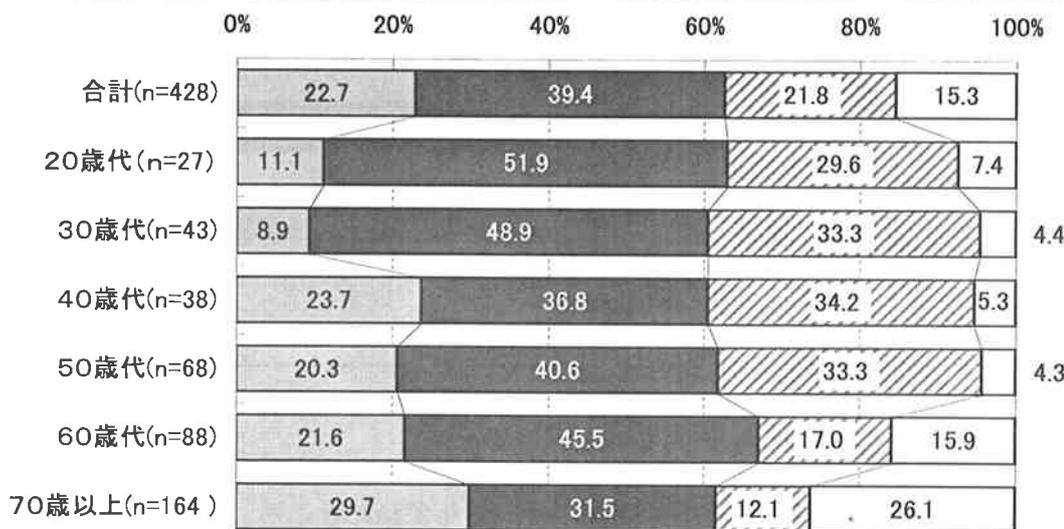
□この考え方は正しいと思う ■おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 □この考え方は間違っていると思う □無回答



N=260

(女)

□この考え方は正しいと思う ■おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 □この考え方は間違っていると思う □無回答



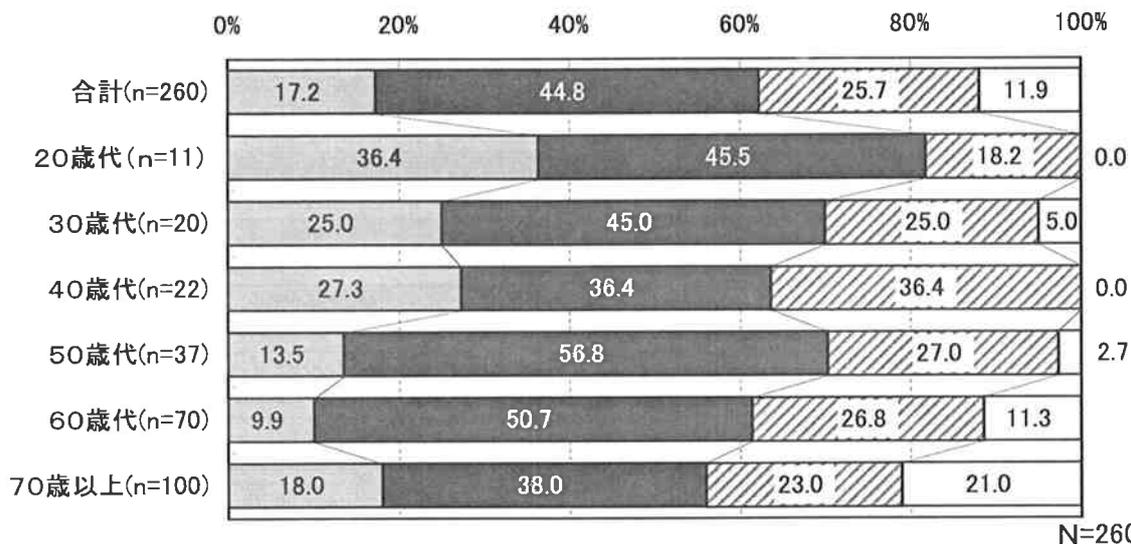
N=428

結婚式は「大安」の日でないとよくないという考え方について男女別にみたところ、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は、男性18.0%に対し、女性22.7%となっています。男性では、20歳代が36.4%、女性では、70歳以上が29.7%と高くなっています。

問29イ 葬式を「友引」の日にはならないという考え方

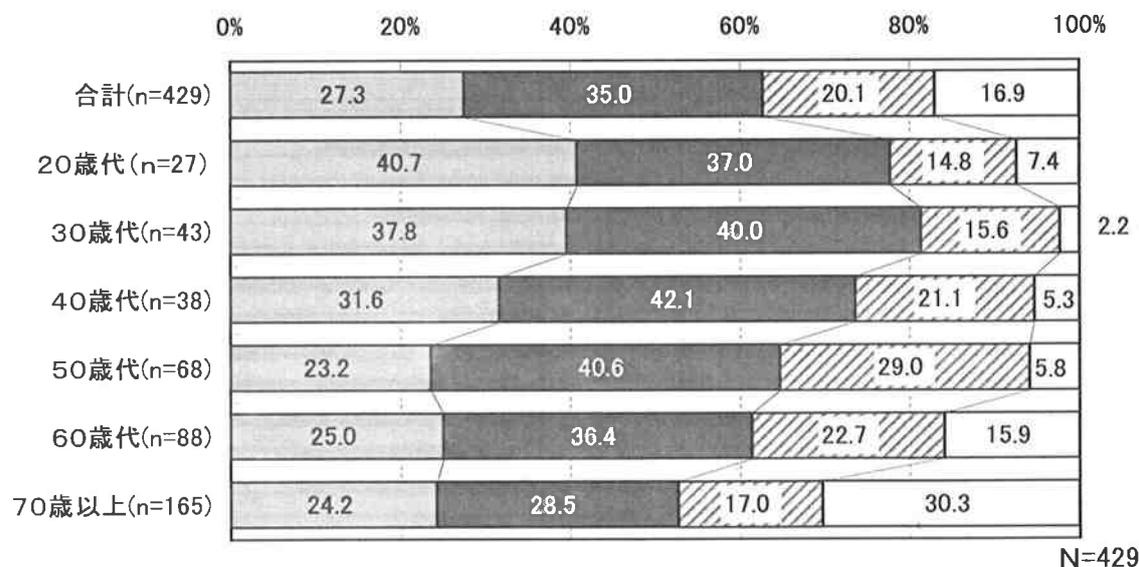
(男)

この考え方は正しいと思う おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 この考え方は間違っていると思う 無回答



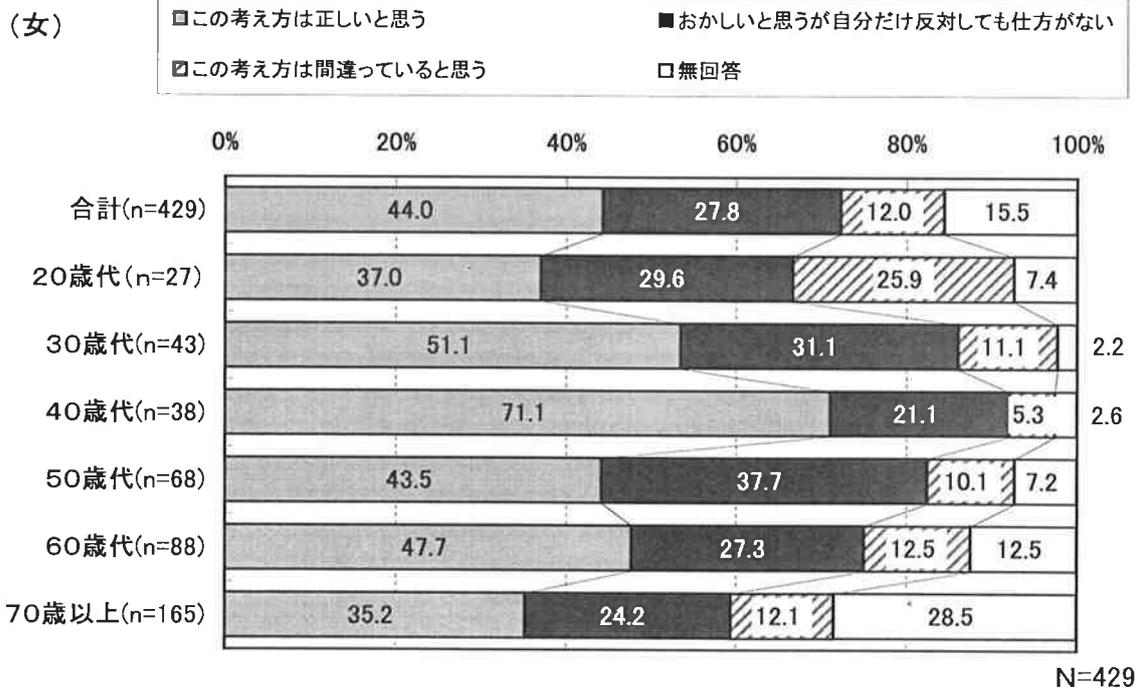
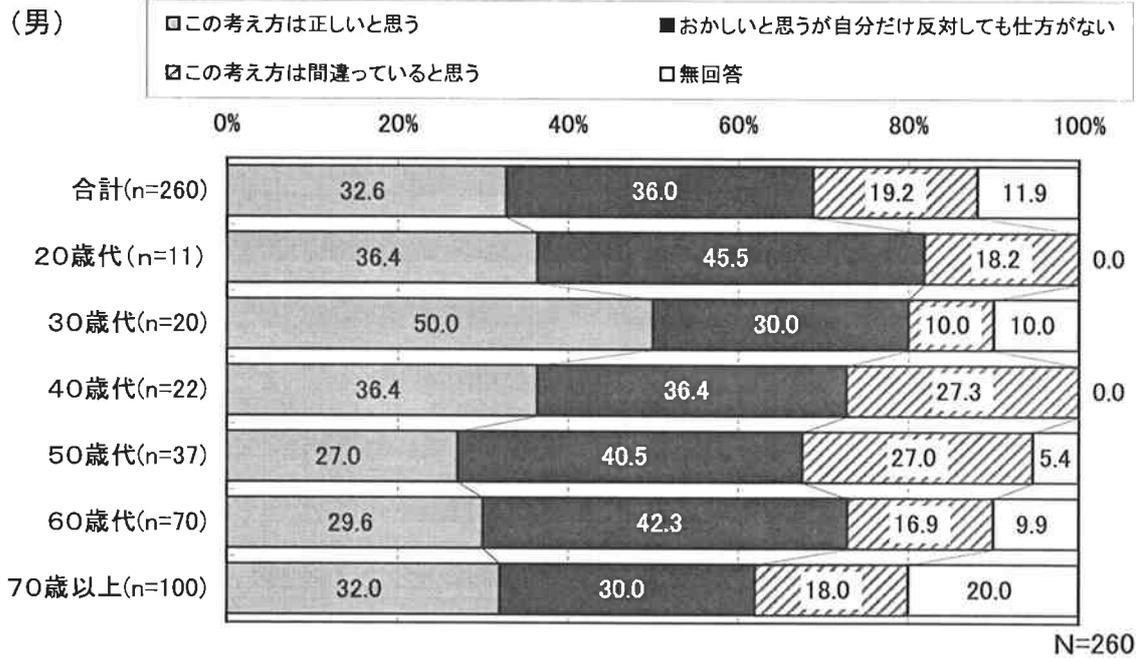
(女)

この考え方は正しいと思う おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない
 この考え方は間違っていると思う 無回答



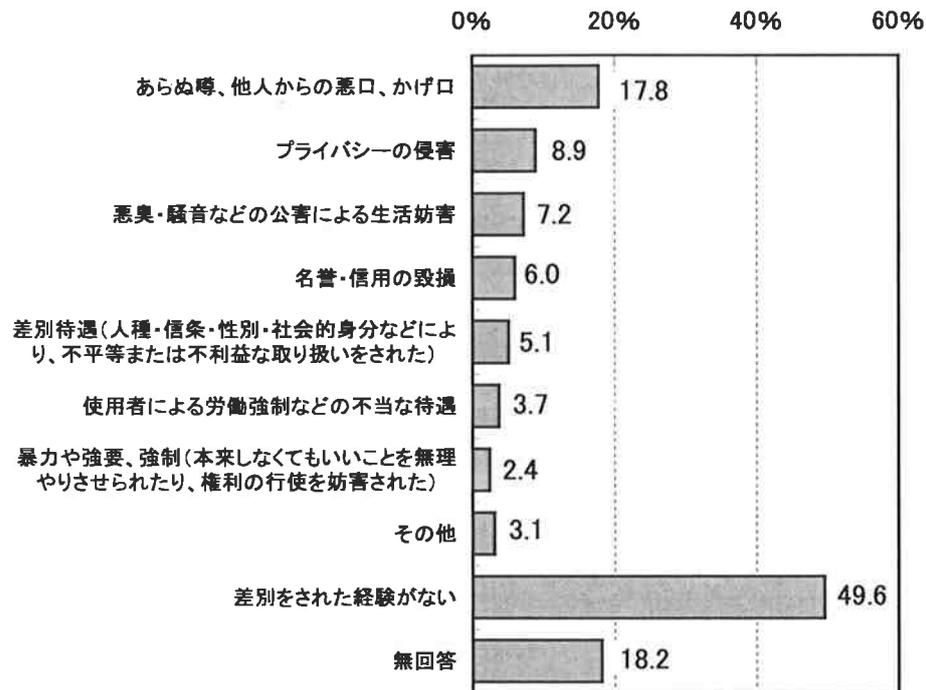
葬式を「友引」の日にはならないという考え方について男女別にみたところ、「この考え方は、正しいと思う」と回答した人の割合は、男性17.2%に対し、女性27.3%となっています。男女共に20歳代が男性36.4%、女性40.7%と高くなっています。

問29ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方



家を建てるときに、方角がよいとかよくないという考え方について男女別にみたところ、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は、男性32.6%に対し、女性44.0%となっています。男性では、30歳代が50.0%、女性では、40歳代が71.1%と高くなっています。

問30 最近(2, 3年)自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか

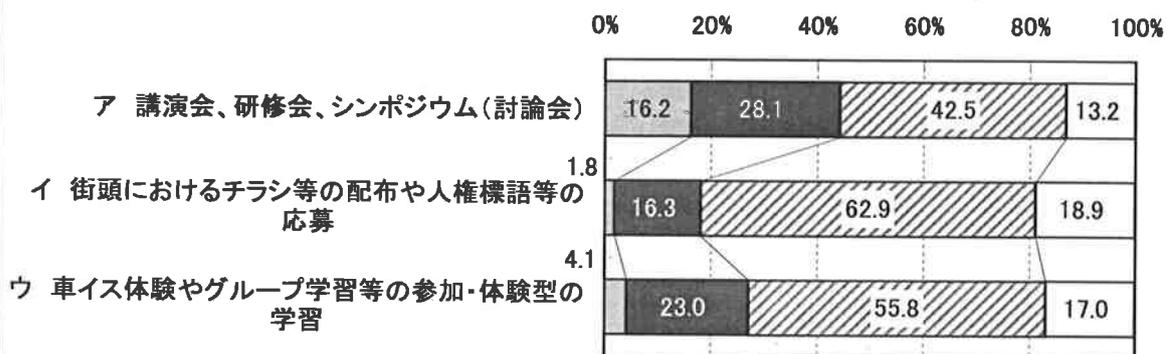


N=704

最近(2, 3年)自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかについてたずねたところ、「あらかぬ噂、他人からの悪口、かげ口」17.8%、「プライバシーの侵害」8.9%、「悪臭・騒音などの公害による生活妨害」7.2%、「名誉・信用の毀損」6.0%、「差別待遇」5.1%、「使用者による労働強制などの不当な待遇」3.7%、「暴力や強要、強制」2.4%となっています。

問31 県や市で実施している人権啓発活動に、どの程度参加していますか

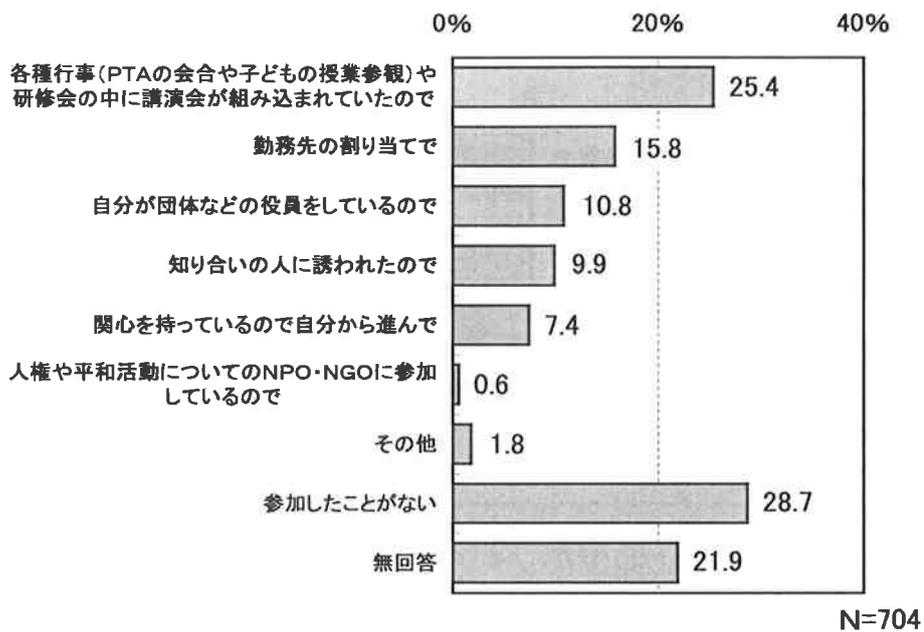
■ 何回も参加したことがある ■ 1. 2回参加したことがある ▨ 参加したことはない □ 無回答



N=704

県や市で実施している人権啓発活動にどの程度参加しているかについてたずねたところ、「何回も参加したことがある」又は「1. 2回参加したことがある」と回答した人の割合は、「ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会)」が44.3%、「イ 街頭におけるチラシ等配布や人権標語等の応募」が18.1%、「ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習」で27.1%となっています。

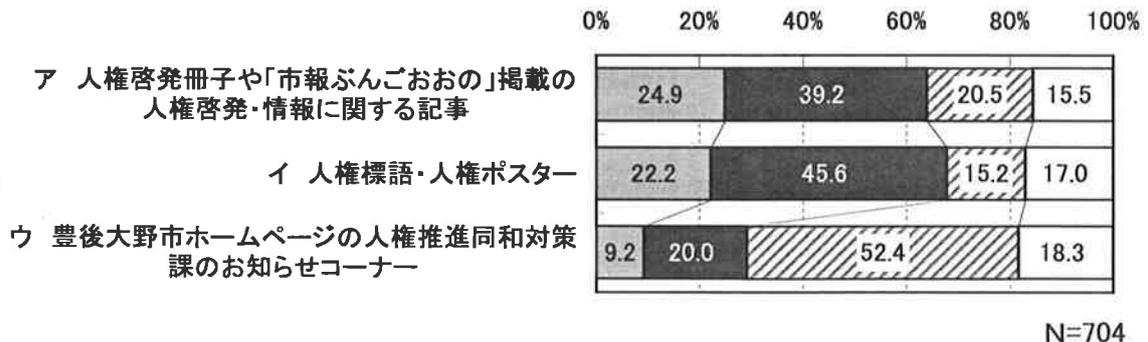
問32 人権問題の講習会や研修会に参加したきっかけは何ですか



人権問題の講習会や研修会に参加したきっかけについてたずねたところ、「各種行事や研修会の中に講演会が組み込まれていた」が25.4%と最も高く、「勤務先の割り当てで」15.8%、「自分が団体などの役員をしているので」10.8%、「知り合いの人に誘われたので」9.9%、「関心をもっているので自分から進んで」7.4%、「人権や平和活動についてのNPO・NGOに参加している」0.6%と回答しています。「参加したことがない」と回答した人の割合は28.7%となっています。

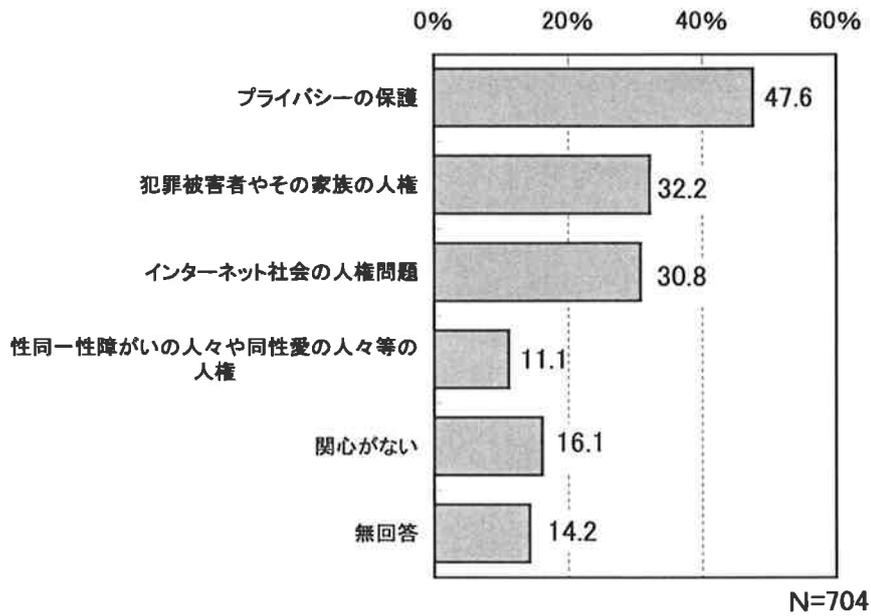
問33 次のことについて、あなたは見聞きしたことがありますか

■いつも読んでいる(見ている) ■たまに読んでいる(見ている)
 □読んでいない(見ていない) □無回答



いつも読んでいる（見ている）又はたまに読んでいる（見ている）と回答した人の割合は「ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事」が64.1%、「イ 人権標語・ポスター」67.8%、「ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課のお知らせコーナー」29.2%となっています。

問34 人権問題で関心のあるものは、何ですか



人権問題で関心のあるものについてたずねたところ、「プライバシーの保護」が47.6%と最も高く、「犯罪被害者やその家族の人権」32.2%、「インターネット社会の人権問題」30.8%、「性同一性障がいの人々や同性愛の人々等の人権」11.1%となっています。

第 3 部

調査結果のまとめと課題

調査結果のまとめと課題

1 女性の人権について

「家庭」「職場」「地域生活」における男女平等の実現状況について、男女ともに前回（平成19年）調査より増加しています。男女平等の実現に対する女性の人権意識の高まりはもとより、男性の関心も高まりつつあることから、今後、さらに男女平等の意識が高まっていくことが期待できます。一方で、男女平等の実現状況では、男女・年代間の意識の違いが生じていることがわかります。加えて、女性の人権上問題がある点として、「家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言」「地域や職場における性的いやがらせ」「職場における上司からのいじめ」などが前回（平成19年）調査より増加していることから、これまで進めてきた啓発事業に加え、家庭・職場・地域社会における男女平等社会実現のための環境整備を進めていく必要があります。

2 子どもの人権について

家庭や学校における子どもの状況について、「幸せな生活を過ごしているように思う」「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合が、前回（平成19年）調査より増加しています。特に子育て世代（30代～40代）の割合が高いことから、子どものおかれている環境がある程度整っていると考えられます。一方で、子どもの人権上特に問題がある点として、減少しているとはいえ「いじめ問題」が高率を占めており、また「家庭で親が虐待・体罰を行うこと」が前回（平成19年）調査より増加していることから、いじめや虐待・体罰防止のための啓発を進めていく必要があります。

また、虐待を知った場合の連絡先として、「子どもの通う学校・幼稚園・保育所（園）などに連絡する」と回答した人の割合が増加していることから、学校や保育所（園）への連絡体制を再確認するとともに、いじめや虐待・体罰を知った場合の行政や民生委員等の連絡先を地域住民に周知する必要があります。

3 高齢者の人権について

家庭や社会の中における高齢者の状況について、「高齢者自身も大切にされている」と感じており、前回（平成19年）調査と同様、高齢者のおかれている環境がある程度整っていると考えられます。一方で、高齢者の人権上特に問題がある点として、「病院や施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」が前回（平成19年）調査より増加していることから、市内の医療・施設の介護現場における現状の紹介や啓発が必要と思われます。加えて、老後の生活に不安や不便を感じている人が多いことから、高齢者が住み慣れた地域で不安や不便を解消し、安心して暮らしていけるよう、地域・家庭環境の整備が望まれます。

4 障がい者の人権について

法律や制度の上では、障がい者の人権が保障されていると回答した人の割合が、前回（平成19年）調査よりも増加しています。一方で、障がい者の人権問題に関心がない人が増加していること及び「人々の障がい者に対する理解が足りない」と回答した人が過半数にのぼることから、障がい者がおかれている現状を一層理解するために啓発を進めていく必要があります。

5 同和問題（部落差別問題）について

学校教育はもとより、講演会や研修会、公民館教室における人権学習の推進により、同和問題（部落差別問題）に対する理解が少しずつ深まっていると思われます。

しかしながら、同和問題（部落差別問題）が起こっている場面として、「日常生活での

ことばやしぐさ」と回答した人の割合が前回（平成19年）調査に比べかなり増加しています。「ことばやしぐさ」での差別が残存しているのがわかります。

部落差別をなくす方法については、「そっとしておけば部落差別はなくなる」と回答した人の割合が、前回（平成19年）調査に比べ減少し、一步一步改善されているとはいうものの、以前のような「寝た子を起こすな」といった考えが、まだ根強く残っていると思われる。

同和問題（部落差別問題）の解決のためには、これまで継続してきた同和問題の啓発に加え、同和問題を知るきっかけが若年層・高年層では異なることから、各世代に応じた啓発を進めることが重要であると同時に、市民の自主・自発的な協力が得られるよう取り組みを深化する必要があります。

6 人権・同和教育について

学校における人権・同和教育について、「あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合が過半数となっています。また、同和問題を知ったきっかけについて40代以下の世代の半数以上が「学校」と回答しているため、学校教育における人権・同和教育の一層の推進と市民への周知が望まれます。

7 外国人の人権について

外国人との交流が盛んになることについて、「歓迎すべきである」と回答した人の割合が、前回（平成19年）調査に比べ増加しています。国際交流等の進展により、外国人に対する理解が進んでいると考えられます。豊後大野市においても外国人との交流が活発になることも予測されます。今後も文化や習慣の違いを理解するための啓発を進めていく必要があります。

8 医療をめぐる人権について

ハンセン病の元患者やHIV（エイズウイルス）感染者に対して、「何かできることがあれば支援する」「いままでどおり、普通に接する」と答えた人の割合は7割以上となっており、病気に対してある程度の理解が進んでいると考えられます。一方で、前回（平成19年）調査に比べハンセン病の元患者やHIV（エイズウイルス）感染者と知った場合の接し方が「わからない」、ハンセン病やHIV（エイズウイルス）を「知らない」と回答した人の割合が増加しています。このことは、実際に患者と接する機会が少ないことや病気に対する関心が薄れつつあることが考えられます。病気を正しく理解して対応するとともに、感染者に対する偏見をなくすための啓発を進めていく必要があります。

9 言い伝えについて

六曜（「大安」や「友引」）に対する考え方について、「おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない」と回答した人の割合が、前回（平成19年）調査とほぼ同様の結果となっています。古くからの言い伝えや考え方が根強く人の意識に残る傾向があります。古くからの言い伝えや考え方を全て否定する必要はありませんが、なかには不条理な言い伝えや考え方があります。道理に合わないことを伝えたり、古い考え方に左右されないためにも、人権や科学に視点を置いた啓発が求められます。

10 啓発活動について

回答者のほぼ半数近くの人が講演会や研修会に参加しています。今後は、関心をもって自分から進んで参加する人や知り合いの人に誘われて参加する人が増えるような取り組みが必要と思われます。

市報や人権標語・ポスターを「いつも読んでいる」「たまに読んでいる」人が6割以上

となっていることから、さらに内容を工夫するとともに、ケーブルテレビなど家庭に浸透するメディアを有効に活用することが必要と思われます。

11 様々な人権問題について

回答者の約5割の人が「プライバシー保護」に関心を持っています。社会が複雑・多様化するなか、プライバシーの問題が一層顕在化することが予測されるため、プライバシー保護に関して正しく理解するための啓発を進めていく必要があります。

12 意識調査の設問について

今回の意識調査の設問について、「わからない」と回答した人が多く見受けられました。また「無回答」も多いこと及び人権問題状況の変化や市民の理解の深化などから、次回調査においては設問の量的、質的な見直しを検討することが必要と思われます。

13 人権全般に対する意識の状況について

前回（平成19年）調査に比べ回収率が低下しているものの、約半数の人から回答が寄せられたことは、人権に対する市民意識が高い傾向にあると思われます。

今後、さらに人権意識を高めていくためには、今回の意識調査の結果を基に、これまでの啓発のあり方を再検討し、より効果的な啓発を実施することが必要と思われます。

また、人権は家庭や社会など、人が活動する全領域において尊重される必要があることから、行政の各分野において連携を密にした取り組みを進めることはもとより、市民の各種啓発に協力する意識の醸成が必要と思われます。

第 4 部
年代別自由回答集

年代別自由回答集

※人権施策・人権教育に関するご意見、ご要望を掲載しています。

【20歳代】

男性

- 1 過度の主張は良くない。中立・中庸が一番。普通の教育をして分別のある考え方ができるようになればそれで良いと思う。

女性

- 1 アンケート…とても良い方法だと思います。“人権”ってむずかしいですが、世の中のすべての人が笑顔でいられる社会になるように、いろんな取り組みをしてほしい。
- 2 子どものいじめや差別をもっと大人や先生達がよく見て、理解出来るようになってもらいたい。

【30歳代】

男性

- 1 地域の中でいまだにある習慣などの意識の改革が難しい。年代間での意識の差が激しいと思うので、小さい頃から、学習を重ねて行ってほしい。時間がかかる。
- 2 学校で同和問題を聞くまで、その事は知らなかった。知らなければそういう差別もないような気がする。
- 3 子どもの頃からの教育を徹底して将来は（自分たちの子どもが大人になる頃には）、このようなアンケート自体しなくても良い社会にして欲しいです。
- 4 同じ人物が何度も講習会や研修会に参加していることについて不満を感じる。一般の人々が参加するよう呼びかけてもらいたい。一定の団体に対して動員をかけるのは、考え方の偏りが発生する原因になると思う。
- 5 同和問題に対する教育、講習会が多くなされているようであるが、今の若い世代、40歳以下ぐらいの年代では同和地区の人々に対する差別意識は全く無いと言えます。同和問題に時間やお金をかけるより、もっと必要な子ども虐待や高齢者が暮らしやすい町づくりに時間と金を使うべきであると思います。

女性

- 1 色々な地域を転々としていますが、豊後大野市ほど閉鎖的な所は初めてでした。子ども達は、宇宙人と言われたり、一年以上経っても「転校生」と言われ、子どもは泣いて帰りました。男女、同和、外国人、色々な差別もありますが、まず人を受け入れる相手を思いやる心が大切だと思います。
- 2 答えにくい問が多かった。人権教育は、学校で子どもの時からしっかりすることが大事だと思います。大人も学習すべきだと思うのですが、なかなか変わらないと思います。
- 3 学校における教育が重要であると思う。児童期から感覚的な理解が涵養できるように働きかけていただきたい。机上の知識として終わらないことが望まれる。また人権を大切にする意識だけでなく、侵害された時、立ち会った時にどのような対応、行動を選択できるのかについても学んでおくことが、社会の構成員、一市民として重要であると思う。
- 4 差別を受けた時、話を気軽に聞いてくれる窓口を設置してほしいです。窓口がある

のでしたら、分かり易くしてほしいです。

- 5 私が小学校の時に「道徳」の授業で人権問題や同和問題という言葉聞いた事はあったが、それが（同和）どういうものかというのは記憶に残っていないので、身近にそういう差別と無縁だったから記憶も残っていないのかなあとと思います。※私は、市外の出身です。
- 6 私の子どもが発達障がいと診断され、身近に障がい等の人権問題を考える機会ができました。正直、それまではどこか他人事と思っていたように感じます。現在、発達障がいに関してかなり理解が進んできたと思いますが、特に年配の方にはなかなか理解が浸透していないと思います。障がいの中でも発達障がいに関する啓発活動をもう少し力を入れていただけたらと思います。
- 7 私は県外から豊後大野市に転入してきたが、この土地のプライバシー意識の低さには驚いた。職場でも、スポーツクラブの集まりでも新しい人と見れば「住んでいる場所」「主人の職業」「子どもはいるのか」「両親はどこにいるのか」ずけずけと質問攻めして挙げ句のはてに、他県出身者だと分かる話題が合わない為、特に親しくもならず外国人扱い。豊後大野市は鎖国だと思う。風通しのよい社会づくりに努めるべきだ。
- 8 このアンケートをただけでも「人権」といっても幅広くいろいろなことがあることがわかりました。ハンセン病、同和問題のことは私もくわしくはわからないので、PTAなどで勉強できれば良いなと思いました。

【40歳代】

男性

- 1 一人一人の考え方や感情は変えられないが、差別する事が恥（罪悪）であるという意識を育ててほしい。気付かずに差別した事を人に指摘されたとき、素直に謝罪できる人を育てる方向も考えてほしい。
知らず知らずの内に自分も差別行為をしているのかもしれない。そういう気付かない内にやっけてしまいがちな差別行為に気付くような内容の教育を受けたいと思う。
人権学習等に参加する人達は、すでに人権意識を持っている人だと思う。参加しない（したがらない）人達を取り組む方法ってないのでしょうか。
- 2 男女問題について、女性の中には、家庭に入って子どもを育てたいという人もいるだろうし、女性全てが社会進出を望んでいるわけではないと思う。全ての人が満足するような答えは難しい。
子どもの人権にしても、学校の体罰等をメディアが取り上げて必要以上に問題視することが問題。親の責任をもっと問題視すべき。
同和問題について、今どきの若い人は部落とか知らないと思うが、同和教育等で知る事によって部落差別の意識が生まれはしないか。正しい理解は必要であるが、同和問題と表に出さなくても差別の中で整理した方が良さそうな気がする。
ハンセン病やエイズについては、普通に接してもうつらないという正しい知識は必要である。行政の取組みが足りないのではないか。
インターネットやメディアによる人権侵害は、法や罰則を強化する必要がある。また、報道の自由と言って人権を侵害していると思われる事は多い。
人権問題と言うより「人が人らしく」生きられるような論理や道徳を子どもの頃から身につける事が大切。
- 3 障がい者への理解、特に知的障がい者への理解が欠如しており精神障がい者の方と同様に考えられている。
- 4 知的障がい者を阻害する（学校の授業のゲーム等の時）例えば、3対3のゲーム。当然、知的障がい児のいるチームは、2人でパスを回して障がい児にはボールを回し

てもらえない。さわらせてもらえない状況をじっと見ている親の気持ちがわからんでしょう。

- 5 人権をお金儲けにしているエセ同和の行為をする方々がありますよね。とても残念に思います。本当に差別をなくすには、次の世代に引き継がないことも大事で、年寄りが子どもにあたえる情報は考えなければならないと思います。

女性

- 1 表面的な活動に終わらず、細部にまで行き届く啓発活動をお願いしたい。
- 2 学校のPTA行事や研修会で親対象の講演会はしょっちゅう行われているようですが、子どもに直接訴えかけるような、実体験を通しての講演会などがあると子どもの心にも響くのではないのでしょうか。最近、いじめ原因の自殺も増えてきているようなので、なんとか防止できたらと思います。
- 3 人権教育について、まず正しく知る事が第一歩だと思っています。そうした意味からも、豊後大野市の取り組んでいる人権学習を有り難いと思います。
- 4 人権問題と言いますが、その権利をたてに社会人としての義務をはたさない人もいます。まずは、義務をはたすことを優先的に考えるべきです。
人権教育に力を入れていることは良くわかっていますが、その効果は、どうなのでしょう。市では予定通りの行事をこなしたことで評価しているのではないですか。人権尊重を核心に持って差別の解消に取り組むことが必要でしょう。

【50歳代】

男性

- 1 啓発運動の話を良く聞くので、良い事だと思います。
- 2 社会通念、習慣、しきたりにまだ少しとらわれるところがありますので、もう一度社会通念などを考え直してみたいと思います。
- 3 小学校から教えるのはどうかと思う。ある程度、世の中がわかり出してから。つまり中学校から教えた方が良いのでは！同和問題以外にも人間としての差別をなくす、教育が必要と思います。
- 4 一般的に人権を主張するには、自覚と責任が伴う。日常、人に迷惑などかけている人が主張してもままならない。いわゆる人権施策、人権教育は…人として生きる道、道徳教育を重視することが一番大切だと思う。その教育の一環として、人権教育があるべきだ。
- 5 地域において、住民全員参加型の講習会を開けば良い。

女性

- 1 人権の講演会を開催したり、ポスター標語（人権）を募集したり、市としても積極的にとりくんでいると思えば大変いい事だと思います。
- 2 障がい者のことをもっと考えてほしいと思います。
- 3 人権は、大切な問題です。これからもっと考えていきたいです。
- 4 精神障がい者の相談や話し相手の出来る人をさがせる情報があれば、家族はとても助かると思います。

【60歳代】

男性

- 1 地道な教育・道徳が解消の方法だと思います。行政や地域でがんばりましょう！
- 2 小学校、中学と道徳教育をする事。

- 3 人権に関しての取組みは、素晴らしい。まず、啓発に始まり、皆さんが興味を自分のこととして考える様になった。問題は、苦しい人程外に出ないことであります。自分の幸せのために勇気をもって話し合いなどに参加していただきたい。又地区の人でもいつでも気軽におしゃべりする場を作ってあげたい。やっぱり、研修や講演に参加することです。
- 4 人権施策・教育の効果とか進捗をどのようにとらえていますか？何らかの指針や評価の方法を持っていますか？このアンケートを何に、どのように活かそうと考えていますか？メリハリのついた、予算集中型の行政を望みます。

女性

- 1 人権同和問題をくり返し取り上げることが差別に繋がると思います。そもそも大昔の話です。外国人を受け入れて共存していく時代。時代錯誤も甚だしい。
- 2 人権問題は非常に大事だと思うけれど、余り人権、人権は好ましくないと思う。特に同和問題は、頭の中にはみんな有ると思うが、それを公然と口や態度に出すか出さないかであると思う。
- 3 市においては同和問題よりも如何にして限界集落にならないよう、若い人達が生活できる地域を作ってくれる努力をお願いします。
- 4 まず家庭や学校での子どもへのしつけ。道徳。暖かい家庭には、子どもの時から思いやりなど教育が自然に身につくと思います。
- 5 学校における同和教育、今でも必要なのか疑問です。今の子にこの教育は寝た子を起こす様な気がします。こう言う事を思っている私は勉強不足なのでしょうか？障がい者に対して、例えば町などで見かけた時、“アッ”と思うその心、気持ち今思えば、その事がすでに差別なのではないか、そんな気がします。機会があれば、もっと勉強したいです。
- 6 公民館等の人権教育に関する講演会、研修会に参加する人は、いつも同じメンバーのよう。特に年令の高い人達は考えを変えるのが無理と思う。だから、小さい時から差別のない社会の大切さを植えつける事が一番と思う。学校教育の中でしっかりと身につけさせてほしい。
- 7 今の子どもや若い人達が部落差別を知ってるとは思えないのですが。人権問題は別ですが。
- 8 お互い尊重し合えば差別は無くなるのではないのでしょうか。差別する人は、人格が欠損していると思います。
- 9 自分のまわりでは余り差別したり、差別されたりしているような状況を見た事がないのでわかりません。同和地区という言葉も結婚してはじめて知りました。「同和」、「同和」と余り世間がとりたてて問題にしない方がいいのではないですか。年寄りは何もしゃべらなければ若い人は、何も知らないのですからね。
- 10 人権問題は、長期間に問題化されています。多面的に取り組まれています。いつごろに解決というのか明るい光りは見えない気がします。この問題が解決することはあるのですか？本当に良い結果が出るようお願いしたい。
- 11 多くの人権に関する講座などがあり、啓発活動をしています。全市民が参加する状態ではなく、穴がたくさんあるように思う。人間の心は見えづらいものです。いつ、どこでどんな心が飛び出すかわからない。特に環境によっては…。人との集まりの中で<小さな集まりで良い>気軽に話せる雰囲気づくり（リーダーが必要）が必要だと考える。たくさん小さな穴をひとつひとつつぶしていくしかないでしょう。そのためには、日頃の近所づき合いから始まり、小さな輪ができ、だんだん大きく広がっていくことを望みます。お茶のみ会（2人から始まり、3人、4人、10人と広がって

きたい)をしましょう。

[70歳代]

男性

- 1 人権・差別の問題は、いろいろな人の講談、講話、体験談等をお聞きして、頭では理解していても、いざ私の身になると考え通り行動できない弱さを持っているのではないかと不安がある。社会生活の会話の中でバカがとかバカ者とかバカを使う男性がかなり多い。習慣化しているようで何とも聞きづらい。あのバカかと発言する事がそのバカ呼ばわりされた人より自らは上等だと感じているらしい。普通の生活の中に差別感根強く同居している。人格を否定するバカという言葉を使わない運動をしたい、起こしたいと思います。
- 2 人権問題の中で同和問題を大きく取り上げることは、急にこれが解決出来るとは思わない。昔と違って最近、自然的に薄らいでいると感じています。
- 3 各地区でこれまで同和問題・人権学習会が開かれてきたが参加する人が同じメンバーである。参加する人は何回も、参加しない人は全く。こんなことでは深まらないと思う。行事消化型にならないようにお願いします。
- 4 今後も人権施策、人権教育に関する事は豊後大野市は積極的に取り組んでほしいと思う。
- 5 市報等による、人権問題等の論説をすること。
- 6 人は生きて行く上で人間は平等でなければなりません。人を差別する事は、大変悪いことです。犯罪をして刑務所から出所した人やエイズやハンセン病になった人は、あたたかくつつんでいかなければなりません。社会の弱者に対して良くしてあげたいです。又、子どもを虐待する人が居ましたら、すぐ注意します。三重、豊後大野市でも、社会を明るくし、色々困難に向かっている人を宜しく御指導をお願いします。豊後大野市は、こういう人権問題に取り組んでいる事はすばらしいです。
- 7 人を大切に社会こそ、一番大事だと思う。子ども(ひ孫)が喜んで、学校に行きたくなる学校生活こそ大事ではないでしょうか。小さいうちから、人権の芽を育ててほしいと願うものです。教師は、本気になって子どもの中に入って行き子ども真の叫びを知って欲しいと思います。
- 8 設問内容をもう少し、吟味した方が良いのではないのでしょうか。例えば、(小生、学校や職場から離れてかなり時間が経っているので)女性の人権(職場のこと)や子どもの人権(学校内でのこと)については、マスコミや人々からの伝聞でしか判断できません。つまり、そういったニュース・ソースに左右された回答となり、主体的なお答えができかねるようになります。
- 9 豊後大野市の人権施策、人権教育に関する事に対して、対応されている事に感謝しております。力強く推進してほしい。

女性

- 1 プライバシーの保護で住所などの表記ができない事など、何から何までプライバシーと言われ制限しすぎだと思います。同和(人権問題)は、やはり昔の方が伝えるから差別が生まれてしまう面も多いと思います。今の若い方は、気にしていない方が多いのではと思いますが…。
- 2 同和問題をあまり知らない人まで教える事は良くない事だと思う。
- 3 現在差別などないと思う。差別は昔の事と思っている。みんな平等な社会と私は思っている。
- 4 高齢者になると外出がむつかしくなってきたので、ケーブルテレビ等で放映してい

ただくと、少しでも勉強出来るのではないかと思います。アンケートを読むだけでも疲れしました。

- 5 子どもがあいさつをしない。
- 6 自分は、同和問題とか被差別地区があることを初めて知りましたが、これからも今の子どもにも新たに教えて行くのですか。家には、ひ孫が5才と2才がおります。この子らにも教えてどんなことに関心をもつようにとお考えですか？
- 7 人権問題に関する勉強は、良い事なので続けて欲しいです。
- 8 昔は大人が良く言っていた様ですが、今は大人も昔の様に余り口にする事はなくなっただと思います。差別と言う事を市をあげて「やいやい」言わない方が良いと思います。今は、私は差別と言う事、言葉すら聞きません。生まれた時は、みんな同じ赤ちゃんであり、人として何ら変わりありません。今の子どもたちは、そんな事何も知らないと思います。どうか大人がしっかりとその事を思いやってほしいです。
- 9 大人の人権、子どもの差別、声を大にして言うよりそっとしておいた方がいいと思います。言葉に出すより、今からの社会は遠い昔の話にした方がいいと思います。まして子ども達は「同和」と言う言葉は、知らないと思います。そこまで教える必要は無いと思います。
- 10 天は人の上に人を造らず、天は人の下に人を造らず、この考え方が良いと思います。福沢諭吉先生はえらいと思う。
- 11 部落差別はあまりないと思うが女一人暮らしになると何かにつけて差別的な行いをする方があります。日本社会の流れなのか、その人の意識なのかと時々思う事があります。
- 12 当事者（障がい者とか、同和地区などの）又は、その家族の願いやら、現状を参考になさり、市の行事計画をたてて頂けたらうれしいと思います。地域の実状もいろいろとちがいもあると考えられるので、豊後大野市の現状の上に計画して頂くとよいと思います。一律の考え方より実状にあった施策、教育であってほしいと思います。

第 5 部
単 純 集 計 表

豊後大野市人権に関する市民意識調査
単純集計表

問1 性別

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男	261	37.1
2	女	433	61.5
	無回答	9	1.3
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問2 年齢

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	20歳代	38	5.4
2	30歳代	65	9.2
3	40歳代	60	8.5
4	50歳代	106	15.1
5	60歳代	159	22.6
6	70歳以上	271	38.5
	無回答	5	0.7
	合計	704	100

問3 女性の人権問題に関心があるか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	非常に関心がある	58	8.2
2	かなり関心がある	268	38.1
3	あまり関心がない	307	43.6
4	関心がない	46	6.5
	無回答	22	3.1
	無効	3	0.4
	合計	704	100

問4<1> 男女平等の実現状況(家庭では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	293	41.6
2	やや女性に不利益だと思う	308	43.8
3	女性に不利益だと思う	73	10.4
	無回答	30	4.3
	合計	704	100

問4<2> 男女平等の実現状況(職場では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	228	32.4
2	やや女性に不利益だと思う	310	44.0
3	女性に不利益だと思う	49	7.0
	無回答	116	16.5
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問4<3> 男女平等の実現状況(地域生活では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	280	39.8
2	やや女性に不利益だと思う	330	46.9
3	女性に不利益だと思う	60	8.5
	無回答	32	4.5
	無効	2	0.3
	合計	704	100

問5 女性の人権上、問題があると思われること

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	職場における男女の給与等の差別待遇	380	54.0
2	家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など	273	38.8
3	地域や職場における性的いやがらせ	184	26.1
4	職場における上司からのいじめ	156	22.2
5	女性のヌード写真など掲載した雑誌・新聞やアダルトビデオなどが氾らんしている	231	32.8
6	その他	49	7.0
	無回答	131	18.6
	無効	1	0.1

問6 ア 女性は結婚する方が幸せになれる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	155	22.0
2	そう思わない	59	8.4
3	いちがいいにはいけない	383	54.4
4	わからない	20	2.8
	無回答	85	12.1
	無効	2	0.3
	合計	704	100

問6 イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	100	14.2
2	そう思わない	227	32.2
3	いちがいいにはいけない	271	38.5
4	わからない	13	1.8
	無回答	92	13.1
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問6 ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	241	34.2
2	そう思わない	101	14.3
3	いちがいいにはいけない	251	35.7
4	わからない	20	2.8
	無回答	88	12.5
	無効	3	0.4
	合計	704	100

問6 エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	274	38.9
2	そう思わない	108	15.3
3	いちがいいにはいけない	233	33.1
4	わからない	7	1.0
	無回答	81	11.5
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問7 女性が社会のあらゆる分野で平等になるために、早急に取り組んでほしいもの

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男性を優先する社会通念、習慣、しきたりを改める	316	44.9
2	自治委員、審議会委員など各種委員に女性を登用する	234	33.2
3	女性が安定した職業につけるようにする	407	57.8
4	雇用や職場における昇格、昇進などの男女格差をなくす	315	44.7
5	保育所や介護サービスなどを充実させる	438	62.2
6	学校教育や生涯学習の場で男女平等についての学習を充実させる	187	26.6
7	男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる	494	70.2
8	その他	15	2.1
	無回答	35	5.0
	無効	7	1.0

問8 子どもに関する人権問題に関心をもっているか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	非常に関心がある	140	19.9
2	かなり関心がある	333	47.3
3	あまり関心がない	167	23.7
4	関心がない	18	2.6
	無回答	45	6.4
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問9<1> 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか(家庭の中)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	幸せな生活を過ごしているように思う	183	26.0
2	だいたい幸せなように思う	363	51.6
3	あまり幸せではないように思う	61	8.7
4	幸せではないように思う	7	1.0
5	わからない	61	8.7
	無回答	26	3.7
	無効	3	0.4
	合計	704	100

問9<2> 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか(学校の中)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	幸せな生活を過ごしているように思う	112	15.9
2	だいたい幸せなように思う	344	48.9
3	あまり幸せではないように思う	53	7.5
4	幸せではないように思う	6	0.9
5	わからない	133	18.9
	無回答	55	7.8
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問10 子どもの人権上、問題があると思うことはどのようなことか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと	466	66.2
2	いじめを見て見ぬふりをする	421	59.8
3	学校で教師が体罰をおこなうこと	62	8.8
4	家庭で親が虐待・体罰をおこなうこと	369	52.4
5	進学・就職等の選択での子どもの意見を無視すること	162	23.0
6	多様な能力を評価せずに、学力評価を優先すること	328	46.6
7	テレビやテレビゲーム・マンガなどで殺人、暴力的な場面が多いこと	364	51.7
8	児童売・買春がおこなわれていること	182	25.9
9	その他	16	2.3
10	わからない	51	7.2
	無回答	36	5.1
	無効	7	1.0

問11 近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、どのような行動をとると思うか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	市役所や民生・児童委員などに連絡する	475	67.5
2	その子どもに事情を聞いてみる	198	28.1
3	その子どもの祖父母や親戚に連絡をする	195	27.7
4	その子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する	597	84.8
5	近所の人と相談する	241	34.2
6	警察に連絡する	221	31.4
7	そうしたことに、まったくかかわらない	22	3.1
8	その他	13	1.8
	無回答	61	8.7

問12 高齢者の人権問題に関心をもっているか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	非常に関心がある	140	19.9
2	かなり関心がある	311	44.2
3	あまり関心がない	169	24.0
4	関心がない	15	2.1
	無回答	65	9.2
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問13<1> 家庭の中では、どうだと思うか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	165	23.4
2	まあたいせつにされていると思う	336	47.7
3	あまりたいせつにされていないと思う	90	12.8
4	たいせつにされていないと思う	13	1.8
5	わからない	42	6.0
	無回答	58	8.2
	合計	704	100

問13<2> 社会の中では、どうだと思うか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	138	19.6
2	まあたいせつにされていると思う	338	48.0
3	あまりたいせつにされていないと思う	113	16.1
4	たいせつにされていないと思う	9	1.3
5	わからない	46	6.5
	無回答	60	8.5
	合計	704	100

問14 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えるか (MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	経済的に自立が困難なこと	446	63.4
2	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	237	33.7
3	悪徳商法や詐欺の被害者になることが多いこと	279	39.6
4	家庭内での生活において嫌がらせや虐待を受けること	72	10.2
5	病院や施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	346	49.1
6	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	217	30.8
7	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること	477	67.8
8	転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること	278	39.5
9	その他	19	2.7
10	わからない	44	6.3
	無回答	71	10.1
	無効	3	0.4

問15 障がい者に関する人権問題に関心をもっているか (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	非常に関心がある	114	16.2
2	かなり関心がある	342	48.6
3	あまり関心がない	152	21.6
4	関心がない	11	1.6
	無回答	83	11.8
	無効	2	0.3
	合計	704	100

問16<1> 法律や制度の上では、どうだと思うか (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	保障されていると思う	153	21.7
2	まあ保障されていると思う	323	45.9
3	あまり保障されていないと思う	98	13.9
4	保障されていないように思う	7	1.0
5	わからない	65	9.2
	無回答	58	8.2
	合計	704	100

問16<2> 現実の日常生活では、どうだと思うか (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	114	16.2
2	まあたいせつにされていると思う	331	47.0
3	あまりたいせつにされていないと思う	103	14.6
4	たいせつにされていないと思う	14	2.0
5	わからない	83	11.8
	無回答	59	8.4
	合計	704	100

問17 障がい者の人権上、問題があると思うことはどのようなことか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	結婚問題で周囲が反対すること	253	35.9
2	就職、職場で不利な扱いをすること	330	46.9
3	差別的な言動をすること	239	33.9
4	悪徳商法の被害者が多いこと	64	9.1
5	アパートなどの住宅への入居が困難なこと	191	27.1
6	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	124	17.6
7	じろじろ見られたり避けられたりすること	227	32.2
8	人々の障がい者に対する理解が足りないこと	390	55.4
9	その他	4	0.6
10	わからない	71	10.1
	無回答	72	10.2
	無効	1	0.1

問18 職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思うか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	賛成	186	26.4
2	どちらかといえば賛成	99	14.1
3	特に気にしない	328	46.6
4	反対	9	1.3
5	その他	14	2.0
	無回答	64	9.1
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問19 同和問題(部落差別問題)に関心をもっているか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	非常に関心がある	40	5.7
2	かなり関心がある	149	21.2
3	あまり関心がない	341	48.4
4	関心がない	101	14.3
	無回答	71	10.1
	無効	2	0.3
	合計	704	100

問20 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、
どのようにしてか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	祖父母・父母などから	117	16.6
2	近所の人から	32	4.5
3	学校の友達から	14	2.0
4	職場の同僚から	22	3.1
5	学校で教わった	144	20.5
6	講演会・研修会などで	66	9.4
7	県や市町村の広報誌で	48	6.8
8	テレビ・新聞・本・インターネットなどで	23	3.3
9	同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	127	18.0
10	その他	9	1.3
11	同和問題を知らない	18	2.6
	無回答	60	8.5
	無効	24	3.4

問21 部落差別(同和問題)が起こっている場面はどのようなときか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	進学するとき	30	4.3
2	就職するとき	134	19.0
3	友人関係を結ぶとき	82	11.6
4	結婚するとき	374	53.1
5	日常生活でのことばやしぐさ	275	39.1
6	その他の場合	6	0.9
7	部落差別はない	108	15.3
8	わからない	152	21.6
	無回答	65	9.2

問22 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときに
どう考えるか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない	211	30.0
2	同和地区の人であることが気になるが、本人の意思を尊重し、反対はしない	196	27.8
3	反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う	102	14.5
4	絶対に反対する	15	2.1
5	わからない	106	15.1
	無回答	65	9.2
	無効	9	1.3
	合計	704	100

問23 ア 差別差別と騒がないで、そっとしておけば部落差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	327	46.4
2	そう思わない	148	21.0
3	わからない	119	16.9
	無回答	110	15.6
	合計	704	100

問23 イ 同和地区の人々が安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、
部落差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	232	33.0
2	そう思わない	171	24.3
3	わからない	167	23.7
	無回答	133	18.9
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問23 ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に
働きかければ、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	94	13.4
2	そう思わない	278	39.5
3	わからない	190	27.0
	無回答	142	20.2
	合計	704	100

問23 エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動を身につければ、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	298	42.3
2	そう思わない	111	15.8
3	わからない	160	22.7
	無回答	134	19.0
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問23 オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	97	13.8
2	そう思わない	276	39.2
3	わからない	192	27.3
	無回答	138	19.6
	無効	1	0.1
	合計	704	100

問23 カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば部落差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	268	38.1
2	そう思わない	102	14.5
3	わからない	205	29.1
	無回答	129	18.3
	合計	704	100

問23 キ 法律で差別を禁止すれば部落差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	101	14.3
2	そう思わない	286	40.6
3	わからない	181	25.7
	無回答	136	19.3
	合計	704	100

問24 学校で「人権・同和教育」が行われているが、どのような考えか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	人権・同和教育を通じて、あらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う	371	52.7
2	人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う	41	5.8
3	人権・同和教育をする必要はない	73	10.4
4	人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない	121	17.2
5	その他	29	4.1
	無回答	66	9.4
	無効	3	0.4
	合計	704	100

問25 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、
どう思うか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	日本の国際化のため必要、歓迎すべきである	316	44.9
2	交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する	272	38.6
3	外国人との交流は必要ない	7	1.0
4	わからない	53	7.5
	無回答	54	7.7
	無効	2	0.3
	合計	704	100

問26 ア 文化・習慣の違いを理解する

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	535	76.0
2	そう思わない	16	2.3
3	わからない	57	8.1
	無回答	96	13.6
	合計	704	100

問26 イ 交流が活発になるように、法律や制度を見直す

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	226	32.1
2	そう思わない	154	21.9
3	わからない	193	27.4
	無回答	131	18.6
	合計	704	100

問26 ウ 国際理解教育をすすめる(国際交流員や青年海外協力隊員
から世界の実情を学ぶ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	399	56.7
2	そう思わない	45	6.4
3	わからない	125	17.8
	無回答	135	19.2
	合計	704	100

問27 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、どうするか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何かできることがあれば支援する	96	13.6
2	いままでどおり、普通に接する	402	57.1
3	なるべく関わりたくない	14	2.0
4	わからない	73	10.4
5	ハンセン病を知らない	59	8.4
	無回答	56	8.0
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問28 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をするか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何かできることがあれば支援する	106	15.1
2	いままでどおり、普通に接する	396	56.3
3	なるべく関わりたくない	38	5.4
4	わからない	88	12.5
5	HIV(エイズウイルス)を知らない	15	2.1
	無回答	57	8.1
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問29 ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	147	20.9
2	おかしいとは思いますが自分だけ反対しても仕方がない	285	40.5
3	この考え方は間違っていると思う	170	24.1
	無回答	97	13.8
	無効	5	0.7
	合計	704	100

問29 イ 葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	164	23.3
2	おかしいとは思いますが自分だけ反対しても仕方がない	269	38.2
3	この考え方は間違っていると思う	156	22.2
	無回答	111	15.8
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問29 ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	277	39.3
2	おかしいとは思いますが自分だけ反対しても仕方がない	215	30.5
3	この考え方は間違っていると思う	102	14.5
	無回答	106	15.1
	無効	4	0.6
	合計	704	100

問30 最近(2、3年)自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	あらぬ噂、他人からの悪口、かけ口	125	17.8
2	名誉・信用の毀損	42	6.0
3	悪臭・騒音などの公害による生活妨害	51	7.2
4	差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取り扱いをされた)	36	5.1
5	暴力や強要、強制(本来しなくてもいいことを無理やりさせられたり、権利の行使を妨害された)	17	2.4
6	使用者による労働強制などの不当な待遇	26	3.7
7	プライバシーの侵害	63	8.9
8	その他	22	3.1
9	差別をされた経験がない	349	49.6
	無回答	128	18.2

問31 ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	114	16.2
2	1・2回参加したことがある	198	28.1
3	参加したことはない	299	42.5
	無回答	93	13.2
	合計	704	100

問31 イ 街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	13	1.8
2	1・2回参加したことがある	115	16.3
3	参加したことはない	443	62.9
	無回答	133	18.9
	合計	704	100

問31 ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	29	4.1
2	1・2回参加したことがある	162	23.0
3	参加したことはない	393	55.8
	無回答	120	17.0
	合計	704	100

問32 人権問題の講習会や研修会に参加したきっかけは

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	関心を持っているので自分から進んで	52	7.4
2	勤務先の割り当てで	111	15.8
3	自分が団体などの役員をしているので	76	10.8
4	知り合いの人に誘われたので	70	9.9
5	各種行事(PTAの会合や子どもの授業参観)や研修会の中に講演会が組み込まれていたため	179	25.4
6	人権や平和活動についてのNPO・NGOに参加しているため	4	0.6
7	その他	13	1.8
8	参加したことがない	202	28.7
	無回答	154	21.9

問33 ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおの」掲載の人権啓発・人権情報に関する記事

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	175	24.9
2	たまに読んでいる(見ている)	276	39.2
3	読んでいない(見ていない)	144	20.5
	無回答	109	15.5
	合計	704	100

問33 イ 人権標語・人権ポスター

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	156	22.2
2	たまに読んでいる(見ている)	321	45.6
3	読んでいない(見ていない)	107	15.2
	無回答	120	17.0
	合計	704	100

問33 ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	65	9.2
2	たまに読んでいる(見ている)	141	20.0
3	読んでいない(見ていない)	369	52.4
	無回答	129	18.3
	合計	704	100

問34 人権問題で関心のあるもの

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	プライバシーの保護	335	47.6
2	犯罪被害者やその家族の人権	227	32.2
3	インターネット社会の人権問題	217	30.8
4	性同一性障がいの人々や同性愛の人々等の人権	78	11.1
5	関心がない	113	16.1
	無回答	100	14.2

第 6 部
参 考 资 料

人権問題 に関する 市民意識調査

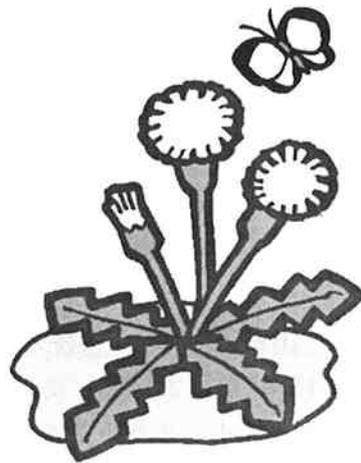
調査へのご協力をお願い

豊後大野市政の推進につきましては、日頃からご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、豊後大野市では、市民のみなさんの人権が尊重される、差別や偏見のない住みよい社会をつくるため様々な取組みを行っています。このたび、皆さんの人権問題に関するご意見を調査し、今後の施策に役立てさせていただくこととしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

回答は、8月31日までに裏面の要領によりご返答ください。



豊後大野市

人権問題に関する市民意識調査

平成 23 年 8 月

■調査のお願い

1. この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、市民のみなさまに、人権問題についてのお考えをお聞きするものです。
2. この調査は、市民のみなさんの中から、無作為に 1,500 名の方を選び、調査票をお送りしています。
3. 無記名でお答えいただき、結果は統計的に処理しますので、個人の回答内容が外部に漏れたり、あなた自身にご迷惑をかけることはいっさいありません。
4. この調査は、個人の秘密を厳守し上記目的以外に使用することはありません。

■記入上の注意

1. あて名の方ご本人のお考えや、感じておられることをお答えください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで、あてはまるものの番号に、○印をつけてください。
3. ご記入いただきました調査票については、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成 23 年 8 月 31 日までに近くのポストにご投函ください。

(注) 文字が小さい、読みづらい場合は、拡大版調査票をお渡ししますのでご連絡ください。

この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。

豊後大野市 生活環境部 人権推進同和対策課 人権推進同和対策係

〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200番地

電 話 0974-22-1001 (内2315)

FAX 0974-22-1079

問5 女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つ選んでください。

1. 職場における男女の給与等の差別待遇
2. 家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など
3. 地域や職場における性的いやがらせ
4. 職場における上司からのいじめ
5. 女性のヌード写真など掲載した雑誌・新聞やアダルトビデオなどが氾らんしている
6. その他（具体的に記入してください：_____）

問6 結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうか。アからエについて、1から4のあてはまる番号を1つ選んでください。

	そう思う	そう思わない	ないちがいはいえ	わからない
ア 女性は結婚する方が幸せになれる	1	2	3	4
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4
ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである	1	2	3	4
エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである	1	2	3	4

問7 あなたは、今後、女性が社会のあらゆる分野で平等になるために、早急に取り組んでほしいものは何ですか。次の中から4つ選んでください。

1. 男性を優先する社会通念、習慣、しきたりを改める
2. 自治委員、審議会委員など各種委員に女性を登用する
3. 女性が安定した職業につけるようにする
4. 雇用や職場における昇格、昇進などの男女格差をなくす
5. 保育所や介護サービスなどを充実させる
6. 学校教育や生涯学習の場で男女平等についての学習を充実させる
7. 男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる
8. その他（具体的に記入してください：_____）

☆ 次は、子どもの人権についておたずねします

問8 あなたは子どもに関する人権問題に関心をもっていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. かなり関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問9 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください。〈1〉・〈2〉それぞれ1つずつ選んでください。

〈1〉家庭の中では、どうだと思えますか。

1. 幸せな生活を過ごしているように思う
2. だいたい幸せなように思う
3. あまり幸せではないように思う
4. 幸せではないように思う
5. わからない

〈2〉学校の中では、どうだと思えますか。

1. 幸せな生活を過ごしているように思う
2. だいたい幸せなように思う
3. あまり幸せではないように思う
4. 幸せではないように思う
5. わからない

問10 子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から4つ選んでください。

1. 仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと
2. いじめを見て見ぬふりをすること
3. 学校で教師が体罰をおこなうこと
4. 家庭で親が虐待・体罰をおこなうこと
5. 進学・就職等の選択での子どもの意見を無視すること
6. 多様な能力を評価せずに、学力評価を優先すること
7. テレビやテレビゲーム・マンガなどで殺人、暴力的な場面が多いこと
8. 児童売・買春がおこなわれていること
9. その他（具体的に記入してください：_____）
10. わからない

問11 近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、あなたはどのような行動をとると思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 市役所や民生・児童委員などに連絡する
2. その子どもに事情を聞いてみる
3. その子どもの祖父母や親戚に連絡をする
4. その子どもの通う学校・幼稚園・保育所（園）などに連絡する
5. 近所の人と相談する
6. 警察に連絡する
7. そうしたことに、まったくかかわらない
8. その他（具体的に記入してください：_____）

☆ 高齢者の人権についておたずねします

問12 あなたは高齢者の人権問題に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. かなり関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問13 今の高齢者がおかれている状況をどう感じているか、次の〈1〉・〈2〉から1つずつ選んでください。

〈1〉 家庭の中では、どうだと思えますか。

1. たいせつにされている思う
2. まあたいせつにされている思う
3. あまりたいせつにされていないと思う
4. たいせつにされていないと思う
5. わからない

〈2〉 社会の中では、どうだと思えますか。

1. たいせつにされている思う
2. まあたいせつにされている思う
3. あまりたいせつにされていないと思う
4. たいせつにされていないと思う
5. わからない

問14 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますか。次の中から4つ選んでください。

1. 経済的に自立が困難なこと
2. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
3. 悪徳商法や詐欺の被害者になることが多いこと
4. 家庭内での生活において嫌がらせや虐待を受けること
5. 病院や施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
6. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること
8. 転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること
9. その他（具体的に記入してください：_____）
10. わからない

☆ 障がい者の人権についておたずねします

問15 あなたは障がい者に関する人権問題に関心をもっていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. かなり関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問16 今の障がい者の人権が保障されていると思いますか。〈1〉・〈2〉それぞれ1つずつ選んでください。

〈1〉法律や制度の上では、どうだと思いますか。

1. 保障されていると思う
2. まあ保障されていると思う
3. あまり保障されていないと思う
4. 保障されていないように思う
5. わからない

〈2〉現実の日常生活では、どうだと思いますか。

1. たいせつにされていると思う
2. まあたいせつにされていると思う
3. あまりたいせつにされていないと思う
4. たいせつにされていないと思う
5. わからない

問17 あなたは、障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。いくつでも選んでください。

1. 結婚問題で周囲が反対すること
2. 就職・職場で不利な扱いをすること
3. 差別的な言動をすること
4. 悪徳商法の被害者が多いこと
5. アパートなど住宅への入居が困難なこと
6. スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと
7. じろじろ見られたり避けられたりすること
8. 人々の障がい者に対する理解が足りないこと
9. その他（具体的に記入してください：_____）
10. わからない

問18 もし、あなたが、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. 特に気にしない
4. 反対
5. その他（具体的に記入してください：_____）

☆ 同和問題（部落差別問題）についておたずねします

問19 あなたは同和問題（部落差別問題）に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. かなり関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

問20 あなたが同和問題や被差別部落（同和地区）があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか。1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 祖父母・父母などから | 2. 近所の人から |
| 3. 学校の友達から | 4. 職場の同僚から |
| 5. 学校で教わった | 6. 講演会・研修会などで |
| 7. 県や市町村の広報誌で | 8. テレビ・新聞・本・インターネットなどで |
| 9. 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない | |
| 10. その他（具体的に記入してください：_____） | |
| 11. 同和問題を知らない | |

問28 もし、あなたの友人がHIV（エイズウイルス）感染者と知った場合、どんな接し方をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 何かできることがあれば支援する
2. いままでどおり、普通に接する
3. なるべく関わりたくない
4. わからない
5. HIV（エイズウイルス）を知らない

☆ 人権問題全般についておたずねします

問29 日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですか。次のア～ウについてあてはまる番号を1つ選んでください。

	この考え方 は正しい と思う	分 か け な い 反 対 し て も 仕 方 だ ら な い お か し い と 思 う が 自 ら は し ら な い	この考え方 は間違っ ていると 思う
ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方	1	2	3
イ 葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方	1	2	3
ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方	1	2	3

問30 あなたは、最近（2, 3年）ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。いくつでも選んでください。

1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用の毀損
3. 悪臭・騒音などの公害による生活妨害
4. 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取り扱いをされた）
5. 暴力や強要、強制（本来しなくてもいいことを無理やりさせられたり、権利の行使を妨害された）
6. 使用者による労働強制などの不当な待遇
7. プライバシーの侵害
8. その他（具体的に記入してください：_____）
9. 差別をされた経験がない

問31 現在、大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施しています。あなたはこのような啓発活動についてどの程度参加したことがありますか。次のア～ウについてあてはまる番号を1つ選んでください。

	何回も参加したことがある	1・2回参加したことがある	参加したことはない
ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会)	1	2	3
イ 街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募	1	2	3
ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習	1	2	3

問32 あなたが、人権問題の講習会や研修会に参加されたきっかけは何ですか。次の中にあてはまるものがあつたら、いくつでも選んでください。

1. 関心を持っているので自分から進んで
2. 勤務先の割り当てで
3. 自分が団体などの役員をしているので
4. 知り合いの人に誘われたので
5. 各種行事（PTAの会合や子どもの授業参観）や研修会の中に講演会が組み込まれていた
6. 人権や平和活動についてのNPO・NGOに参加している
7. その他（具体的に記入してください：_____）
8. 参加したことがない

問33 次のア～ウの項目について、あなたは見聞きしたことがありますか。それぞれについて、次の1から3の中からあてはまる番号を1つ選んでください。

	いつも読んでいる (見ている)	たまに読んでいる (見ている)	読んでいない (見ていない)
ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事	1	2	3
イ 人権標語・人権ポスター	1	2	3
ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー	1	2	3

問34 下記の中の人権問題で関心のあるものについていくつでも選んでください。

1. プライバシーの保護
2. 犯罪被害者やその家族の人権
3. インターネット社会の人権問題
4. 性同一性障がいの人々や同性愛の人々等の人権
5. 関心がない

※豊後大野市の人権施策・人権教育に関するご意見、ご要望がありましたら下の空欄に自由にお書きください。

アンケートはこれで終了です。長時間にわたりご協力、誠にありがとうございました。

人権問題に関する市民意識調査
報 告 書

平成24(2012)年3月

編修・発行 豊後大野市 人権推進同和対策課
〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200番地
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-1079
